KAWAI

DIGITAL PIANO

CN350GP

取扱説明書

このたびは、KAWAIデジタルピアノCN350GPをご購入
くださいまして、誠にありがとうございます。
本楽器を存分にお楽しみいただき、末永くご愛用いただ
くためにも、この取扱説明書をよくお読みになり、
大切に保管してくださいますようお願い申し上げます。

■ 付属品（お確かめ下さい）

☐ 保証書
☑ 取扱説明書（本書）
☐ カワイデジタルピアノ　ユーザー登録のご案内
☐ クラシカルピアノコレクション（楽譜集）
☐ 高低自在椅子
☐ 電源コード
☐ ヘッドホン
☐ ヘッドホンフック
☐ スタンド組立図
☐ ACアダプター

はじめに

■ 取扱説明書について

はじめに、取扱説明書（本書）の「ご使用前の準備」（8ページ）からお読みください。各部の名称と機能や、電源コードの接続や電源の入れ方を説明しています。

取扱説明書では、CN350GPをすぐお使いできるよう基本的な演奏ガイドから、様々な機能を使いこなすための操作まで説明しています。また付録にはCN350GPの組立方法や音色一覧などの資料を見ることができます。

■ 表記について

この取扱説明書では、操作方法を簡潔に説明するために、[　]で囲まれた文字は、ボタン名を表し、[コンサートピアノ]ボタン、のように表記します。

■ 本製品の特徴

本格的なピアノタッチを実現

弱打から強打まで繊細な表現が可能なグランドピアノに近い弾き心地と優れた連打性能を備えたレスポンシブ・ハンマー・アクションIII（RHIII）鍵盤を搭載。さらに、優れた吸湿性と象牙の風合いを備えた象牙調仕上げ（アイボリータッチ）により、汗がついても滑りにくく心地よいタッチの感触が得られます。また、弱く弾いたときに感じられるアコースティックピアノ特有のクリック感を再現するレットオフフィールも搭載、細やかなタッチの感触まで余すことなく再現します。

カワイコンサートグランドピアノEX の音を余すことなく再現する、『88鍵ステレオサンプリング』

世界最高峰のピアノコンクールであるショパン国際ピアノコンクールで実際に使用したカワイコンサートグランドピアノEXの音から、88個の鍵盤一つ一つを丁寧に録音した秀逸のピアノ音を搭載、弱打から強打までのスムーズな音色変化や、和音の濁りが少なく減衰に伸びのあるリアルなピアノ音を再現することに成功しました。

また、ダンパーペダルを踏んだときの響板やフレームの響きを再現した「ダンパーレゾナンス」や、弾いた鍵盤の音程の関係によって発生する弦の共鳴を再現した「ストリングレゾナンス」など、グランドピアノの音の響きをディテールまで表現する性能を備えています。

グランドピアノ のペダルの踏み心地を再現する、『Grand Feel Pedal System』

CN350GPは、「グランド フィール ペダル システム」を搭載しています。グランドピアノに3本あるペダル“ダンパーペダル / ソステヌートペダル / ソフトペダル”これら全てのペダルの踏み心地を忠実に再現、グランドピアノに大きく近づきました。（ダンパー・ペダルは、ハーフペダルに対応しています。）

簡単に、お好みのピアノの状態へ調整可能な『コンサートチューナー』

CN350GPは、調律師が行う様々なピアノの調整を簡単に行う事が出来る「コンサートチューナー」機能を搭載しています。ダンパーペダル時の共鳴音（ダンパーレゾナンス）の音量や、グランドピアノで鍵盤が戻る時に発生する特有の音（キーアクションノイズ、キーオフエフェクト）の音量調整が可能です。これらの設定は、本体に保存することによりいつでも再現することが可能です。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。表示と意味は下記のようになっています。

■ 本体に表示されているマークについて

製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。

注意
感電の危険あり
本体をあけるな

このマークは感電の危険があることを警告しています。

このマークは注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。

■ 警告と注意、記号表示について

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

△記号は注意(用心してほしい)を促す内容があることを告げるものです。

⃠記号は禁止(行ってはいけない)の行為であることを告げるものです。

●記号は強制(必ず実行してほしい)したり、指示する内容があることを告げるものです。

⚠ 警告

100V 以外禁止

電源は必ずAC100Vを使う

電圧の異なる電源を使用しないでください。発火の恐れがあります。

付属の電源コードは本機でのみ使用する

付属の電源コード以外を本機で使用しないでください。付属の電源コードを他の機器で使用しないでください。

コードを
傷つけない

電源コードは無理に曲げたり、重いものを乗せたり、熱いものを近づけたり、傷つけたりしない

コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

分解禁止

本機を分解、修理、改造しない

水濡れ禁止

水がかかる場所で使用したり、水に濡らす(つける,かける,こぼす)等しない

漏電によって、感電や発火の原因になります。

濡れ手禁止

水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

異常が起こった場合、故障した場合は即座に電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜く

不安定な場所に置かない

怪我や破損の恐れがあります。

異物を入れない

本機の内部に異物を入れないようにする

水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

ヘッドホンは大音量で長時間使用しない

　聴力低下の原因になる恐れがあります。

本機を落としたり、強い衝撃を加えない

　怪我および破損の恐れがあります。

⚠ 注意

電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

　コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

長時間使用しない時は　必ず電源プラグを抜く

　落雷時に火災の原因になります。

使用禁止

本機を次のような所では使用しない

- **窓際など直射日光の当たる場所**
- **暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所**
- **戸外など極端に温度の低い場所**
- **極端に湿度の高い場所**
- **砂やホコリの多い場所**
- **振動の多い場所**

　故障の原因になります。

コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う

　本機や接続機器の故障の原因になります。

電源は必ず付属のACアダプターを使用する

　付属のACアダプターは本機専用ですので他の機器で使用しないでください。

ACアダプターに布団をかぶせたり、こたつの中で使用しない

説明書を読む

組立作業は必ず本書の「CN350GPの組み立て方(111ページ)**」を読んで行う**

　正しく組み立てないと落下、破損、怪我のおそれがあります。

　また、ネジなどはゆるみを定期的に点検し、必要に応じて締めなおしてください。

組立作業や移動作業は必ず2人で行い、取り扱いに十分注意する

　重量物のため、本機を移動するときは水平に持ち上げるようにし、手をはさんだり、足の上に落とさないよう十分注意してください。

鍵盤蓋で指などをはさまないよう注意する

　鍵盤蓋はゆっくり閉めてください。勢いよく閉めると指をはさみ、けがの原因になります。

本機の上に乗ったり、圧力を加えない

　変形したり、倒れる恐れがあり、故障やけがの原因になります。

イスは次のように使用しない

- **イスを不安定な場所に置かない**
- **イスで遊んだり、踏み台にしない**
- **イスには2人以上で座らない**
- **イスの高さ調節は、イスから降りて行う(調節機能付きの場合)**
- **イス組立時、ネジをしっかり締める**

　イスが倒れたり、指をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。長時間使用してイスのボルトがゆるんだ場合は、付属のスパナで締め直してください。

ベンジンやシンナーで本機を拭かない

　色落ちや、変形の原因になります。清掃するときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。

■ お手入れについて

本体	乾いた柔らかい布で拭いてください。
ペダル	表面が汚れた場合、乾いた食器洗い用スポンジで拭くと綺麗になります。布ではかえって曇ってしまう場合があります(ゴールドのペダルのみ)。サビ落し用の磨き剤ややすり等は使用しないでください。

■ 保証書について

　本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行って下さい。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。

　保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管ください。

■ 修理について

　万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡ください。弊社連絡先は取扱説明書の裏表紙に記載してあります。

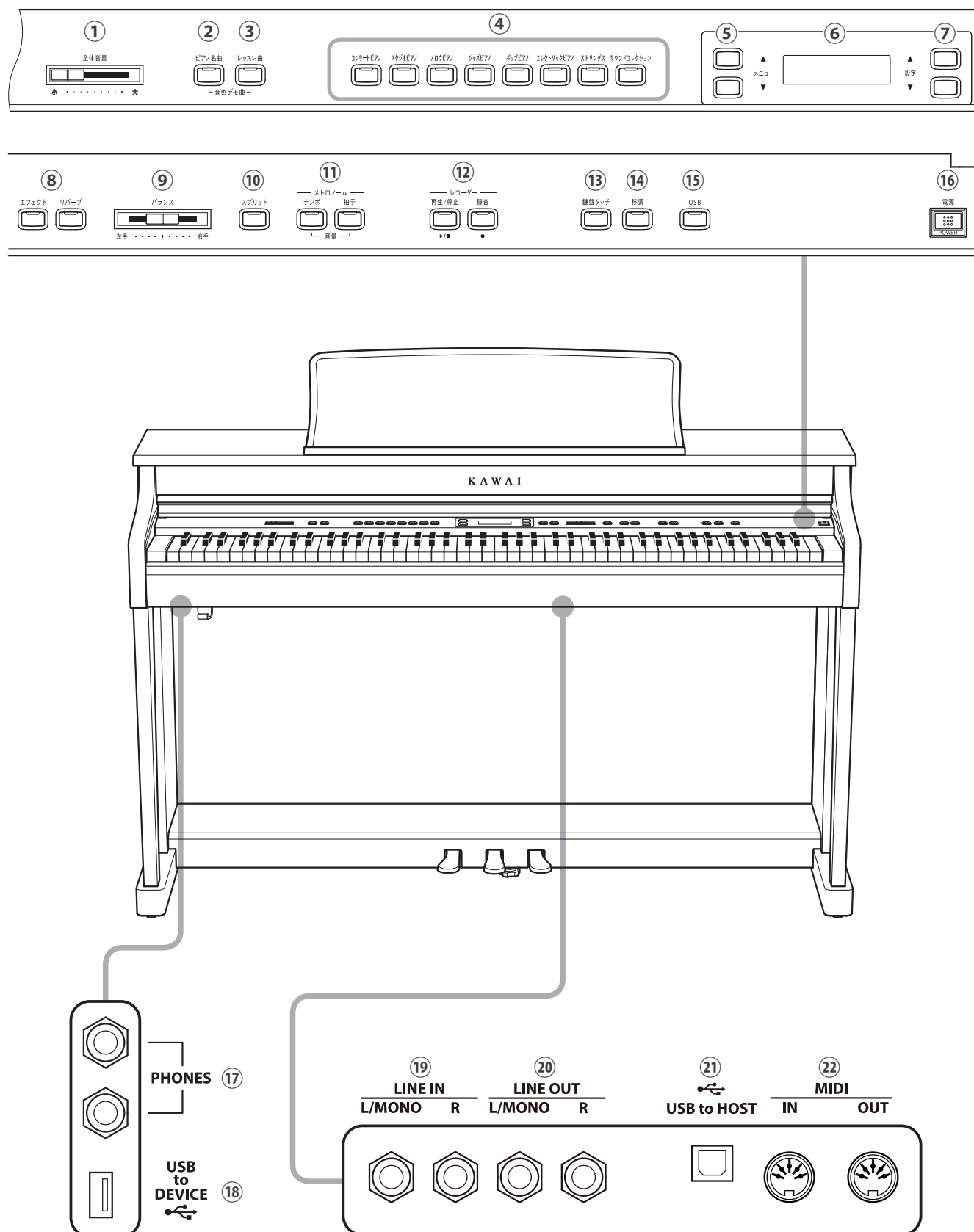
目次

様々な設定を操作する

付録

* CN350GPのMIDIに関する詳細情報、および操作に関する説明については下記のカワイホームページよりPDF マニュアルをダウンロードしてご覧ください。
http://www.kawai.co.jp

各部の名称とはたらき

①
全体音量
小
大
②
③
ピアノ名曲
レッスン曲
音色デモ曲
④
コンサートピアノ
スタジオピアノ
メロウピアノ
ジャズピアノ
ポップピアノ
エレクトリックピアノ
ストリングス
サウンドコレクション
⑤
⑥
⑦
メニュー
設定
⑧
エフェクト
リバーブ
⑨
バランス
左手
右手
⑩
スプリット
⑪
メトロノーム
テンポ
拍子
音量
⑫
レコーダー
再生/停止
録音
⑬
鍵盤タッチ
⑭
移調
⑮
USB
⑯
電源
POWER
KAWAI
PHONES ⑰
USB to DEVICE ⑱
⑲
LINE IN
L/MONO
R
⑳
LINE OUT
L/MONO
R
㉑
USB to HOST
㉒
MIDI
IN
OUT

① [全体音量] スライダー
内蔵スピーカーやヘッドホンから出力される音量を調整します。

※ラインアウトには効きません。PA機器等に接続して使用する場合、ラインアウトの音量はそのままに内蔵スピーカーの音量を調節できます。ラインアウトの音量変更については69ページを参照してください。

② [ピアノ名曲] ボタン
クラシカルピアノコレクションモード及びリスニングコレクションモードに入る際に使用します。

③ [レッスン曲] ボタン
レッスンモードに入る際に使用します。

④ 音色ボタン
音色を選択するボタンです。1つの音色ボタンに、複数の音色が割り当てられており、再度同じボタンを押すことで他の音色が選べます。

押されたボタンに赤のランプが点灯し、選ばれた音色名がディスプレイに表示されます。

⑤ [メニュー] ボタン
設定や機能の設定など様々な場面で使用します。

⑥ ディスプレイ
音色名を表示したり、いろいろな機能を使うときに値や状態などを表示したりします。

※ディスプレイには、あらかじめ保護用の透明シートが貼り付けてありますので、はがしてからご使用ください。

⑦ [設定] ボタン
表示内容を画面単位で前の画面や次の画面へ移動したり、値の変更など様々な場面で使用します。

⑧ [エフェクト] / [リバーブ] ボタン
エフェクト、リバーブ機能の選択、またはオン/オフを設定します。

⑨ [バランス] スライダー
デュアル演奏、スプリット演奏などの際に使用し、音のバランスを調整します。

⑩ [スプリット] ボタン
スプリット演奏、4ハンズモード（連弾演奏）を使う際に使用します。

⑪ [テンポ] / [拍子] ボタン
メトロノーム音を鳴らしたり、テンポ設定を変更することができます。

⑫ [再生/停止] / [録音] ボタン
レコーダーの録音/再生に使います。

⑬ [鍵盤タッチ] ボタン
鍵盤を弾く強さと音量の関係を設定します。

⑭ [移調] ボタン
弾き方を変えずに簡単に移調することができます。

⑮ [USB] ボタン
USBモードに入る際に使用します。

⑯ [電源] スイッチ
電源をオン/オフするスイッチです。ご使用後は必ず電源を切ってください。

※CN350GPは節電のため、自動的に電源をオフするオートパワーオフ機能を備えています。（→101ページ）

⑰ [PHONES（ホーンズ）] 端子
ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンは2つまで接続できます。

⑱ [USB to DEVICE（ユーエスビーデバイス）] 端子
USBメモリーやUSBフロッピーディスクドライブを接続する端子です。保存されている曲を再生したり、CN350GPで録音した曲をUSBメモリーに保存することもできます。

⑲ [LINE IN（ラインイン）] 端子
他の電子楽器やオーディオ機器などの出力端子とこの端子を接続すると、CN350GPの内蔵スピーカーからそれぞれの機器の音を出力することができます。

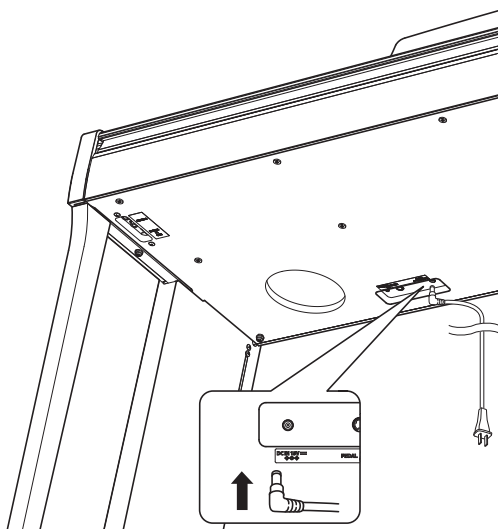
⑳ [LINE OUT（ラインアウト）] 端子
CN350GPの音を他の外部機器（アンプ、ステレオ）などで聴いたり、オーディオ機器などに録音する場合に使用する出力端子です。

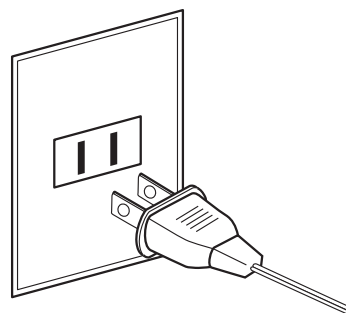
㉑ [USB to HOST（ユーエスビーホスト）] 端子
市販のUSBケーブルでコンピュータと接続すると、MIDIデバイスとして認識され通常のMIDIインターフェイスと同様にMIDIメッセージを送受信することができます。

㉒ [MIDI IN / OUT（ミディインアウト）] 端子
MIDI規格に対応している楽器と接続する端子です。

電源を入れる / アジャスターの調整

1. ACアダプターを本体に接続する

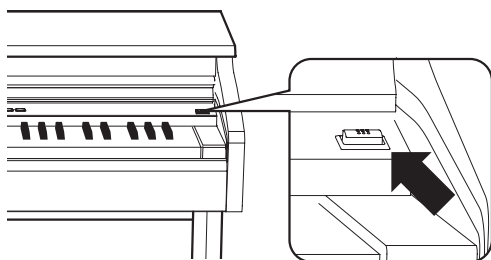
付属のACアダプターを、本体底面に差し込みます。

2. 電源コードをコンセントに接続する

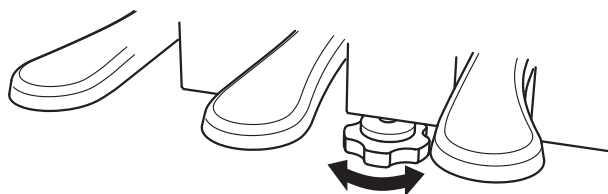
電源コードをAC100V のコンセントに差し込みます。

3. 電源を入れる

［電源］スイッチを押して電源をオンにします。

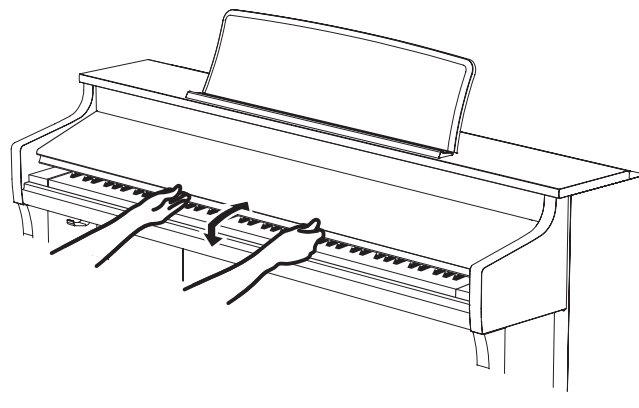
［電源］スイッチを押すと音色ボタンの［コンサートピアノ］が点灯し、LCD ディスプレイに「コンサートグランド1」と表示されます。

ｺﾝｻｰﾄ ｸﾞﾗﾝﾄﾞ1

電源を切るときは、もう一度［電源］スイッチを押します。画面の表示が消え、ボタンも消灯します。

■ アジャスターを調整する

ペダル土台にはアジャスターがついています。アジャスターが浮いた状態で使用すると、ペダル土台を破損する恐れがあります。必ずアジャスターが床についた状態でご使用下さい。

鍵盤蓋を開ける / 閉める

■ 鍵盤蓋を開ける

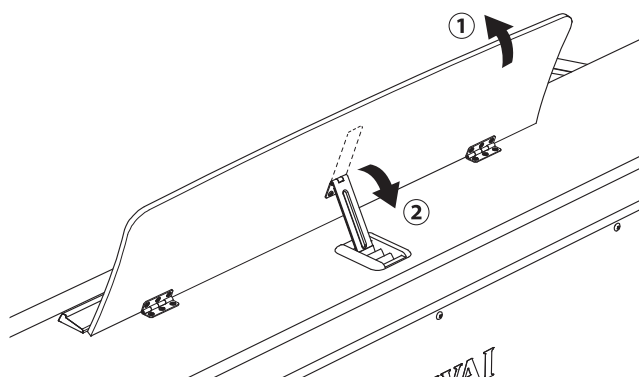
取っ手を両手で軽く持ち上げ、奥に押し込みます。

■ 鍵盤蓋を閉める

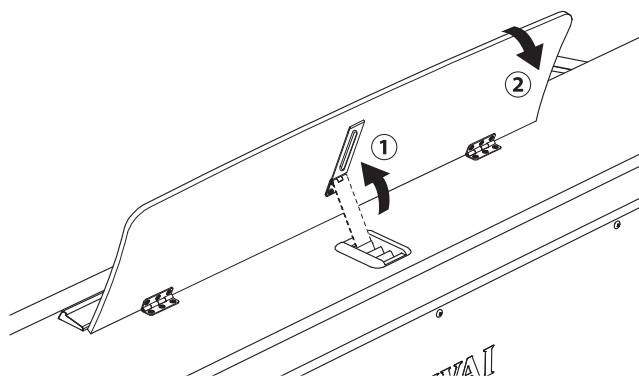
取っ手を両手でゆっくりと手前に引き、下へ静かに降ろします。

* 鍵盤蓋はゆっくり閉めてください。勢いよく閉めると指をはさみ、けがの原因になります。

譜面立てを利用する

■ 譜面立てを起こす / 角度を調整する

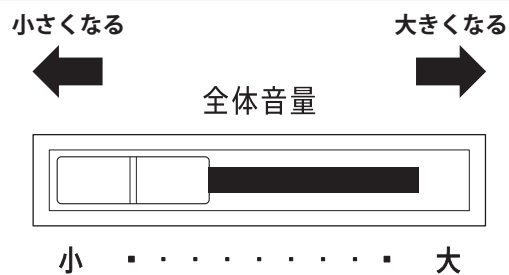
① 譜面台を手前に起こします。
② 譜面台金具を金具ホルダーのお好みの場所に設置します。
（角度は3段階に調整することができます。）

■ 譜面立てを倒す

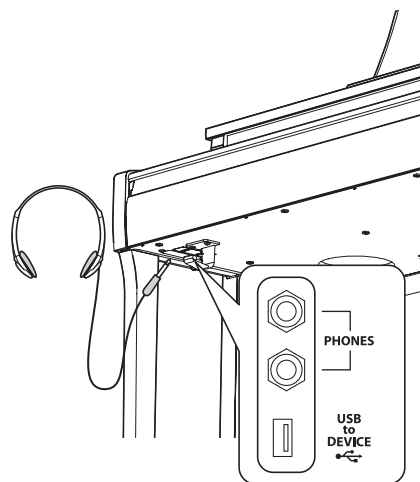
① 金具を起こします。
② 譜面立てをゆっくりと倒します。

音量を調整する / ヘッドホンを使う

■ 音量を調整する

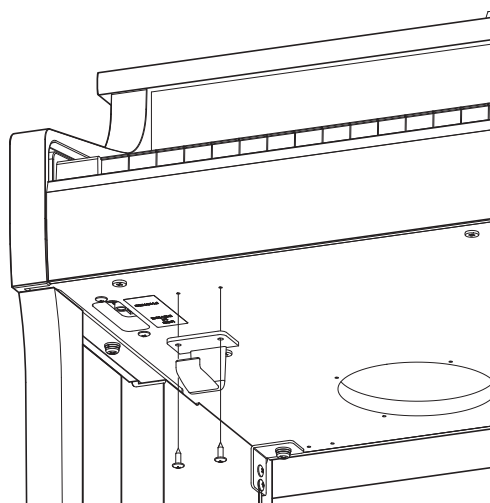
本体右にある［全体音量］スライダーで音量を調整します。右側に動かすと音量が大きくなり、左側に動かすと小さくなります。

実際に鍵盤を弾いて音を鳴らしながら、音量を調節してください。

* ［全体音量］スライダーでは［LINE OUT］端子の出力レベルは調整できません。ラインアウト音量設定（69ページ）にて行ってください。

■ ヘッドホンを使う

ヘッドホンを［PHONES］端子に差し込みます。ヘッドホンを接続すると、本体スピーカーからは音が出なくなります。

■ ヘッドホンフックを使う

ヘッドホンを使わないときは、ヘッドホンフックにヘッドホンをかけておくことができます。

ヘッドホンフックを使用する場合は図のように取り付けてください。

いろいろな音色を楽しむ

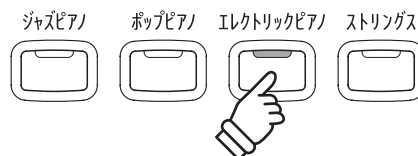
CN350GPにはたくさんの音が内蔵されていますので、さまざまな音楽に合わせた音で演奏を楽しむことができます。この内蔵されている音を「音色」といいます。音色はそれぞれ音色ボタンに割り当てられています。

電源ON時は「コンサートピアノ/コンサートグランド１」の音色が選ばれています。

1. 音色ボタンを押して音色を選ぶ

選んだ音色ボタンが点灯し、そのボタンに割り当てられている音色が鳴ります。鍵盤を弾いてみましょう。

ディスプレイには、現在選ばれている音色名が表示されます。

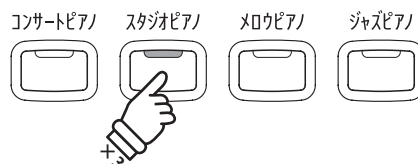
クラシック E.ピアノ

例：［エレクトリックピアノ］ボタンを選びます。

2. 音色を変更する

他の音色ボタンを押すと、そのボタンに割り当てられている音色が鳴ります。

また選択されている音色と同じ音色ボタンを押すと、そのグループ内の次のバリエーションが選ばれます。

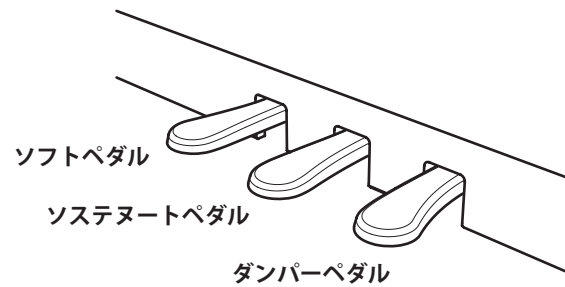
スタジオ グランド 1

スタジオ グランド 3

例：［スタジオピアノ］ボタンを3回押して「スタジオグランド3」を選びます。

［設定］ボタンを押すと順番に音色を変更することができます。

一方の［設定］ボタンを押しながら他方の［設定］ボタンを押すことで、次のカテゴリーに移動することができます。

ペダルを使う

ペダルにはダンパーペダル / ソステヌートペダル / ソフトペダルがあります。これらはピアノ演奏のときに使われ、次のようなはたらきがあります。

■ ダンパーペダル（右のペダル）

このペダルを踏んで演奏すると鍵盤から手を離しても音が切れずに長く響かせることができます。

踏み具合により余韻の長さを調節することができます（ハーフペダル対応）。

■ ソステヌートペダル（中央のペダル）

鍵盤を押した後、指を離す前にこのペダルを踏むと、そのとき押さえていた鍵盤の音のみに余韻を与えます。従って、このペダルを踏んだ後に押した別の鍵盤の音は、通常通り発音します。

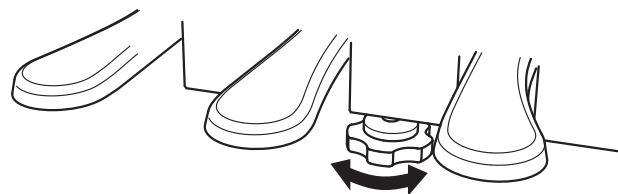
■ ソフトペダル（左のペダル）

音量がわずかに下がると同時に音の響きがやわらかくなります。

［エフェクト］ボタン を押してロータリーが選ばれている時は、踏むたびにスピード（Slow / Fast）を切り替えます。

* 音色によっては効果がわかりにくいものもあります。

■ アジャスターについて

アジャスターが浮いた状態で使用すると、ペダル土台を破損する恐れがあります。必ずアジャスターが床についた状態でご使用下さい。

■ ペダルのお手入れについて

表面が汚れた場合、乾いた食器洗い用スポンジで拭くと綺麗になります。布ではかえって曇ってしまう場合があります（ゴールドのペダルのみ）。シルバーペダルは、布で拭いても問題ありません。サビ落し用の磨き剤ややすり等は使用しないでください。

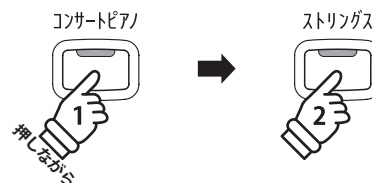
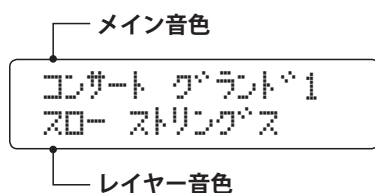
■ グランドフィールペダルシステムについて

CN350GPのペダルにはグランドフィールペダルシステムが搭載されています。3本のペダルそれぞれがよりグランドピアノEXに近い踏み心地となっています。

2つの音色を重ねる（デュアル）

　デュアル演奏とは2つの音色を重ね合わせる機能です。2つの音色が同時に発音されメロディーをデュエットさせたり、同系統の音色を混ぜて厚みのある音を作り出すことで音楽表現の幅が広がります。

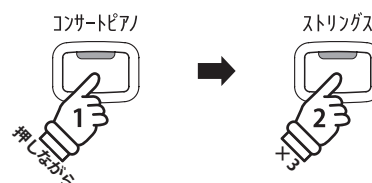
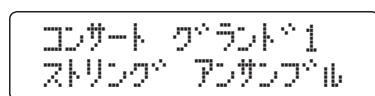
1. デュアル演奏に入る

　組み合わせたい音色の片方（メイン音色）を選び、その音色ボタンを押しながら、もう一方の音色ボタンを押して重ねる音色（レイヤー音色）を選びます。
　両方のボタンが点灯し、選ばれた音色名がディスプレイに表示されます。

（例）［コンサートピアノ］ボタンを押しながら［ストリングス］ボタンを押して、コンサートグランド1とスローストリングスを組み合わせます。

2. デュアル演奏での音色変更

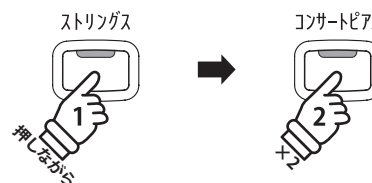
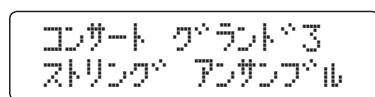
　レイヤー音色のバリエーションを変更する：

　メイン音色の音色ボタンを押しながら、レイヤー音色の音色ボタンを繰り返し押して、バリエーションを選びます。

ｺﾝｻｰﾄ ｸﾞﾗﾝﾄﾞ1
ｽﾄﾘﾝｸﾞ ｱﾝｻﾝﾌﾞﾙ

（例）［コンサートピアノ］ボタンを押しながら［ストリングス］ボタンを3回押して、スローストリングスをストリングアンサンブルに変更します。

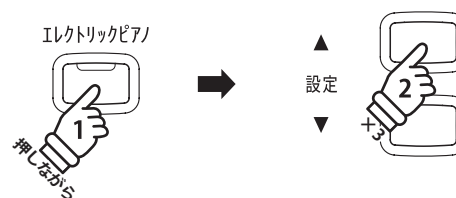
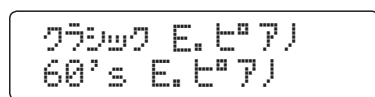
　メイン音色のバリエーションを変更する：

　レイヤー音色の音色ボタンを押しながら、メイン音色の音色ボタンを繰り返し押して、バリエーションを選びます。

ｺﾝｻｰﾄ ｸﾞﾗﾝﾄﾞ3
ｽﾄﾘﾝｸﾞ ｱﾝｻﾝﾌﾞﾙ

（例）［ストリングス］ボタンを押しながら［コンサートピアノ］ボタンを2回押して、コンサートグランド1をコンサートグランド3に変更します。

　同じボタンの音色を重ねる：

　音色ボタンを押しながら、［設定］ボタンを押して、バリエーションを選びます。

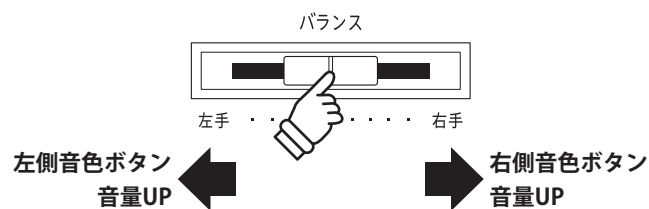
ｸﾗｼｯｸ E.ﾋﾟｱﾉ
60's E.ﾋﾟｱﾉ

（例）［エレクトリックピアノ］ボタンを押しながら［設定▲］ボタンを3回押して、クラシックE.ピアノと60'sエレクトリックピアノを重ねます。

* これらの設定はスタートアップセッティングに記憶することができます。（→74ページ）

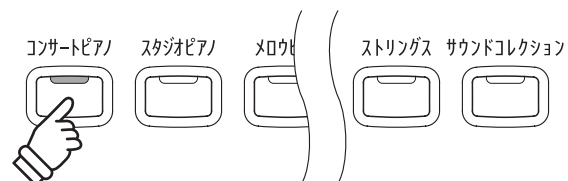
2つの音色を重ねる（デュアル）

3. デュアルの音量バランスを調節する

　スライダーを利用して、2つの音色の音量バランスを調節することができます。

* 音量バランスの設定はスタートアップセッティングに記憶することができます。（→74ページ）
* キーセッティングメニューの「レイヤーオクターブシフト」でレイヤー音色のオクターブを変更することができます。（→99ページ）
* キーセッティングメニューの「レイヤーダイナミクス」でレイヤー音色のタッチ変化の幅を変更することができます。（→100ページ）

4. デュアル演奏を終了する

　デュアル演奏の解除は、音色ボタンのいずれかを1つ押します。

　押した音色が選択されると同時にデュアル演奏の設定が解除されます。

コンサート グランド1

2つの音色を並べる（スプリット）

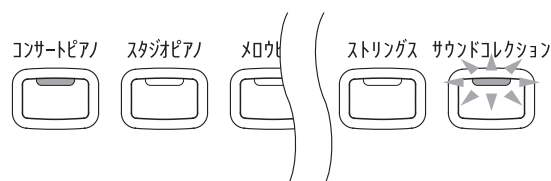
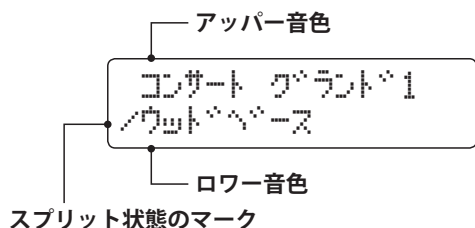
スプリット演奏とは鍵盤を左右2つに分け、別々の音色を設定し演奏をすることです。低音側でベースパートを、高音側でメロディーパートを演奏したりすることができます。また鍵盤が分かれる位置を「スプリットポイント」といいます。

1. スプリット演奏に入る

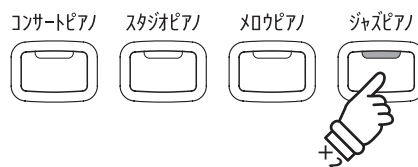
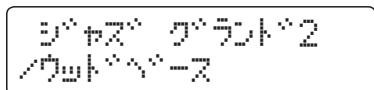
［スプリット］ボタン を押します。

［スプリット］ボタンが点灯し、鍵盤の音色がスプリットポイントで分割されます。

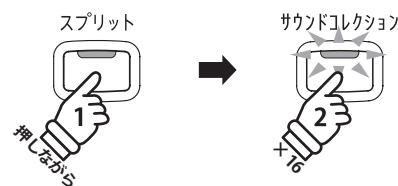
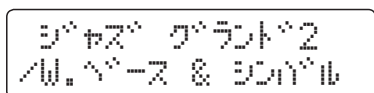
* スプリットポイントの初期値はC4（ド）に設定されています。

点灯している音色ボタンは、［スプリット］ボタンを押す前に選ばれている高音側の音色（アッパー音色）、点滅している音色ボタンは、低音側の音色（ロワー音色）です。

* 初期状態では、ロワー音色はウッドベースに設定されています。

2. 高音側・低音側の音色変更

高音側の音色（アッパー音色）は、音色ボタンを押して変更します。

ジャズ グランド2
/ウッドベース

（例）［ジャズピアノ］ボタンを2回押して、ジャズグランド2を選びます。

低音側の音色（ロワー音色）は、［スプリット］ボタンを押しながら音色ボタンを押して変更します

（例）［スプリット］ボタンを押しながら［サウンドコレクション］ボタンを3回押して、W.ベース & シンバルを選びます。

* これらの設定はスタートアップセッティングに記憶することができます。（→74ページ）
* キーセッティングメニューの「ロワーオクターブシフト」でロワー音色のオクターブを変更することができます。（→97ページ）
* キーセッティングメニューの「ロワーペダルセッティング」でロワー音色にペダルが効くか効かないかを設定することができます。（→98ページ）

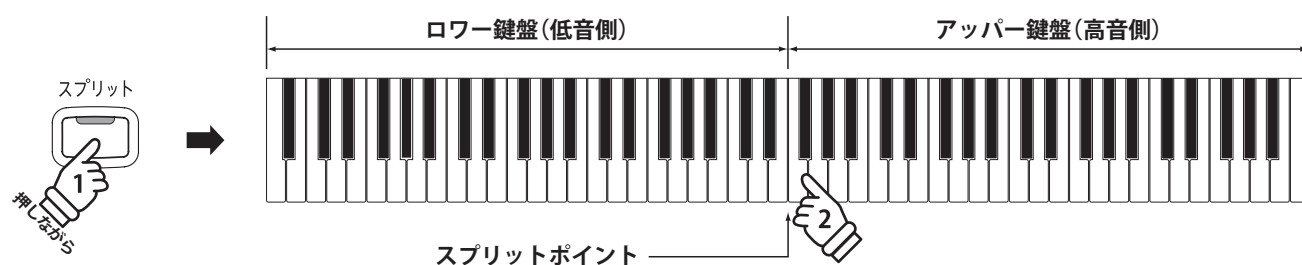
2つの音色を並べる（スプリット）

3. スプリットポイントの変更

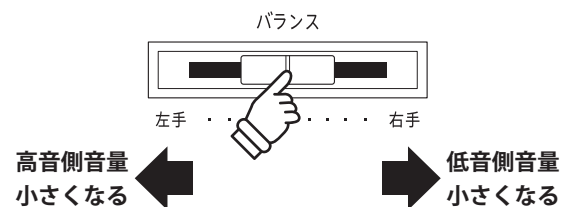
スプリットポイントを変更したい場合は、［スプリット］ボタンを押しながら鍵盤を押します。押した鍵盤が高音側の最低音になります。

スプリットポイントを設定すると、押した鍵盤の音名がディスプレイに表示されます。

```
 ｽﾌﾟﾘｯﾄ ﾎﾟｲﾝﾄ
= F4
```

（例）［スプリット］ボタンを押しながらF4（ファ）の鍵盤を押して、スプリットポイントをF4（ファ）に設定します。

4. スプリットの音量バランスを調整する

スライダーを利用して、2つの音色の音量バランスを調節することができます。

* 音量バランスの設定はスタートアップセッティングに記憶することができます。（→74ページ）

5. スプリット機能をオフにする

スプリット演奏を解除する時は、再度［スプリット］ボタンを押します。

［スプリット］ボタンが消灯し、通常の演奏状態に戻ります。

```
ｼﾞｬｽﾞ ｸﾞﾗﾝﾄﾞ2
```

連弾演奏する（4ハンズモード）

　スプリットポイントを境にして右側と左側に鍵盤を分け、それぞれ同じ音域で演奏することができるので、2台のピアノのように連弾演奏を楽しむことができます。 初期状態の設定では、通常の演奏時に対して、右側の鍵盤の音程は2オクターブ下がり、左側の鍵盤の音程は2オクターブ上がります。鍵盤が分かれる位置を「スプリットポイント」といいます。

* 4ハンズモードはベーシックセッティング（73ページ）からでも入ることができます。

1. 4ハンズモードに入る

　［スプリット］ボタンを押しながらダンパーペダル（右ペダル）とソフトペダル（左ペダル）を踏みます。
　［スプリット］ボタンが点滅し、4ハンズモードに入ります。

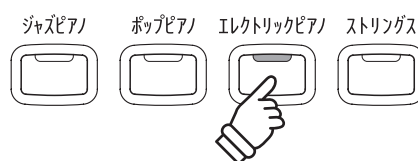
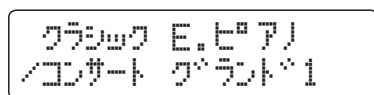
* 初期状態ではスプリットポイントはF4（ファ）に設定されており、鍵盤はE4（ミ）とF4（ファ）の間で分割されます。

* 初期状態では、アッパー、ロワー音色ともにコンサートグランド1に設定されています。

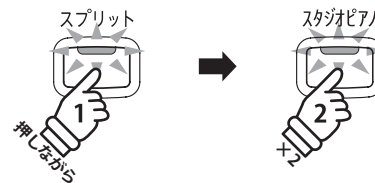
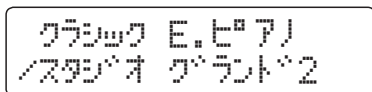
　ディスプレイ上段に右側の音色（アッパー音色）、下段に左側の音色（ロワー音色）が表示されます。

2. 右側・左側の音色変更

　右側の音色（アッパー音色）は、音色ボタンを押して変更します。

ｸﾗｼｯｸ E.ﾋﾟｱﾉ
/ｺﾝｻｰﾄ ｸﾞﾗﾝﾄﾞ1

（例）［エレクトリックピアノ］ボタンを押して、クラシック E. ピアノを選びます。

　左側の音色（ロワー音色）は、［スプリット］ボタンを押しながら音色ボタンを押して変更します

ｸﾗｼｯｸ E.ﾋﾟｱﾉ
/ｽﾀｼﾞｵ ｸﾞﾗﾝﾄﾞ2

（例）［スプリット］ボタンを押しながら［スタジオピアノ］ボタンを2回押して、スタジオグランド2を選びます。

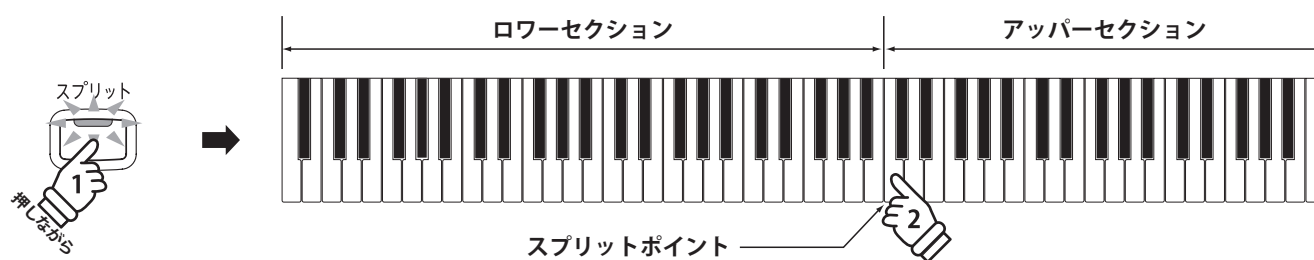
* 4ハンズモードの設定はスタートアップセッティングに記憶することができます。（→74ページ）

連弾演奏する（4ハンズモード）

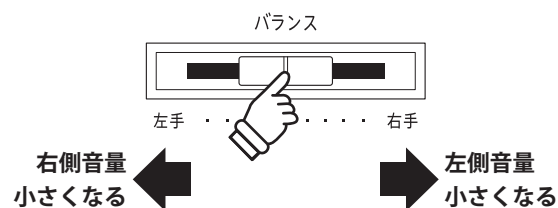
3. スプリットポイントの変更

　スプリットポイントを変更したい場合は、［スプリット］ボタン を押しながら鍵盤を押します。押した鍵盤が右側の最低音になります。
　スプリットポイントを設定すると、押した鍵盤の音名がディスプレイに表示されます。

```
 スプリットポイント
= C5
```

（例）［スプリット］ボタンを押しながらC5（ド）の鍵盤を押して、スプリットポイントをC5（ド）に設定します。

4. 4ハンズモードの音量バランスを調整する

　スライダーを利用して、2つの音色の音量バランスを調節することができます。

* 音量バランスの設定はスタートアップセッティングに記憶することができます。（→74ページ）

5. 4ハンズモードを抜ける

　4ハンズモードを抜ける時は、再度［スプリット］ボタンを押します。
　［スプリット］ボタンが消灯し、通常の演奏状態に戻ります。

```
 クラシック E.ピアノ
```

音に効果を加える

CN350GPは、効果（リバーブ/エフェクト）を加えて音の表情を変えることができます。これらの効果は、予め推奨の設定が音色ごとに用意されていますが、好みに合わせて変更することができます。

これらの変更内容は、スタートアップセッティングに記憶することができます（→74ページ）。

1 リバーブ

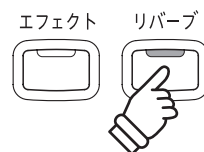
リバーブを加えると、音に残響効果が加わりコンサートホールで演奏しているような深みのある美しい響きが得られます。CN350GPは6種類のリバーブを用意しています。

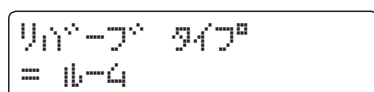
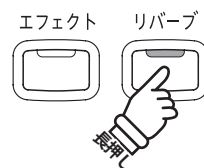
■ リバーブの種類

種類	効果
ルーム	室内で演奏しているような残響効果が得られます。
ラウンジ	ラウンジやロビーで演奏しているような残響効果が得られます。
スモールホール	小規模なホールで演奏しているような残響効果が得られます。
コンサートホール	大規模なホールで演奏しているような残響効果が得られます。
ライブホール	ライブホールやステージで演奏しているような残響効果が得られます。
カテドラル	大聖堂で演奏しているような残響効果が得られます。

1. リバーブのオン/オフ

［リバーブ］ボタンを押して点灯させると残響効果がかかり、画面に現在選択されているリバーブの種類が表示されます。

再度［リバーブ］ボタンを押すと消灯し、残響効果は解除されます。

2. リバーブの変更画面へ入る

［リバーブ］ボタンを長押しするとリバーブ変更画面が表示されます。

リバーブ タイプ
= ルーム

ピアノを演奏する

3. リバーブの変更

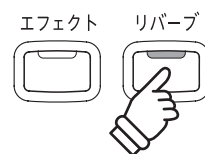
リバーブ変更画面が表示されている間に［設定］ボタンを押すと、リバーブの種類が切り替わります。

```
ﾘﾊﾞｰﾌﾞ ﾀｲﾌﾟ
= ﾙｰﾑ
```

```
ﾘﾊﾞｰﾌﾞ ﾀｲﾌﾟ
= ｽﾓｰﾙ ﾎｰﾙ
```

（例）［設定▲］ボタンを2回押して、ルームをスモールホールに変更します。

［リバーブ］ボタンを押すか、そのまましばらくすると通常音色画面に戻ります。

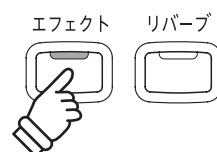
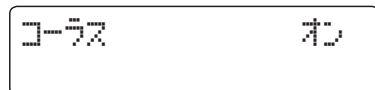
* 変更内容は、音色ごとに設定されます。
* 各音色の変更内容は、電源を切るまで保持されます。
* 各音色の変更内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。（→74ページ）

2 エフェクト

リバーブ以外にも音にさまざまな効果を加えることができます。エフェクトは、音に奥行き感や厚みを加える効果です。
CN350GPは13種類のエフェクトを用意しています。

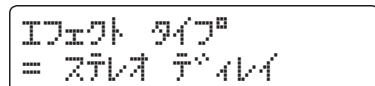
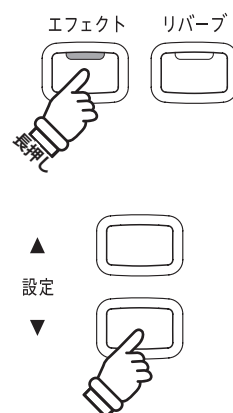
■ エフェクトの種類

種類	効果
コーラス	音にピッチのゆらぎをもつ音を合わせることにより、音に広がりを加えます。
クラシックコーラス	ビンテージのエレピに適したコーラスです。
ステレオディレイ	反射音を左右同時に出力します。
ピンポンディレイ	反射音を左右交互に出力します。
トリプルディレイ	反射音を中央、右、左と順に出力します。
トレモロ	音に"ゆらぎ"を与える効果です。
クラシックトレモロ	ビンテージのエレピに適したトレモロです。
フェイザー	位相変調を行い音にうねりを与えます。
ロータリー1	ロータリー(回転式)スピーカーを使って得られる効果です。 ソフトペダル(左のペダル)を押すことによって回転の速さを切り換えることができます。
ロータリー2	ロータリー1に少しの歪を加えた効果です。
ロータリー3	ロータリー1にコーラスを加えた効果です。
フェイザー+アンプ	アンプによる音の変化を再現し、フェイザーと組み合わせた効果です。
オートパン+アンプ	アンプによる音の変化を再現し、音の聞こえる位置を周期的に変化させるオートパンと組み合わせた効果です。

1. エフェクトのオン/オフ

［エフェクト］ボタンを押して点灯させるとエフェクト効果がかかり、画面に現在選択されているエフェクトの種類が表示されます。
再度［エフェクト］ボタンを押すと消灯しエフェクト効果は解除されます。

2. エフェクトの種類を変更する

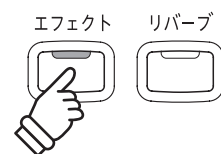
［エフェクト］ボタンを長押しするとエフェクト変更画面が表示されます。

エフェクト タイプ
= ステレオ ディレイ

［設定］ボタンを押すと、エフェクトの種類が切り替わります。

音に効果を加える

［エフェクト］ボタンを押すか、そのまましばらくすると通常音色画面に戻ります。

* 変更内容は、音色ごとに設定されます。

* 各音色の変更内容は、電源を切るまで保持されます。

* 各音色の変更内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。（→74ページ）

パネル・ロック

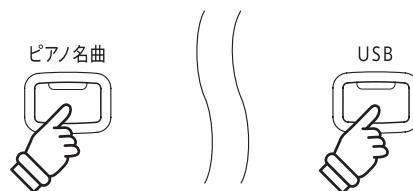
パネル・ロックは、演奏中の誤操作を防止する為に、鍵盤とペダル以外のボタンの機能を一時的にロックすることができます。

1. パネル・ロックをオンにする

［ピアノ名曲］ボタンと［USB］ボタンを同時に押して、パネル・ロックをONにします。

パネルロックオンのメッセージ画面が表示され、パネルのボタンがロックされます。

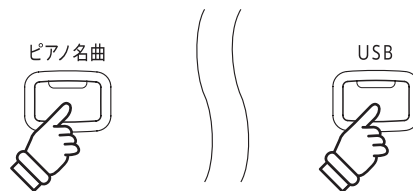
パネル・ロックがONになっているときパネルボタンを操作すると、次の画面が表示されます。

パネル ロック
ピアノメイキョク+USB

* 電源をオフにしてもパネルロックは解除されません。

2. パネル・ロックを解除する

［ピアノ名曲］ボタンと［USB］ボタンを、再度同時に押します。

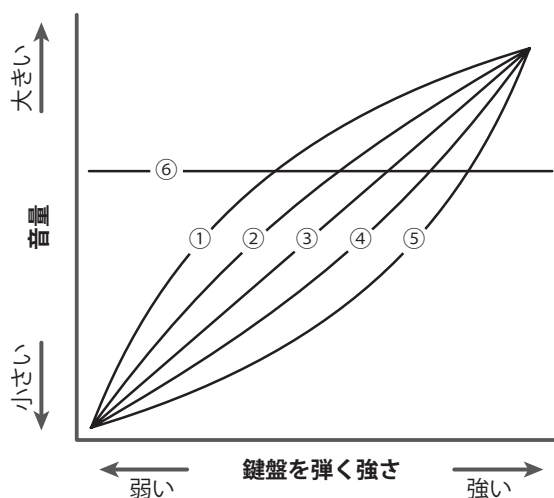
パネルロックオフのメッセージ画面が表示され、ロックが解除されます。

パネル ロック
オフ

タッチカーブ

ピアノでは鍵盤を弾く力をだんだん強くしていくと、音量もだんだん大きくなっていきます。この鍵盤を弾く強さと音量との関係を表したものをタッチカーブと呼びます。

CN350GPでは、8種類のタッチカーブを搭載しています。

■ タッチカーブの種類

種類	効果
ライト＋	弱いタッチで弾いても大きな音がでます。
ライト	小さなお子様や、オルガンプレーヤー向きのタッチカーブです。
ノーマル	アコースティックピアノと同程度のタッチで音量が変化します。
ヘビー	強いタッチで弾かないと大きな音が出ません。
ヘビー＋	指の力の強い人向きのタッチカーブです。
オフ	タッチの強弱に関わらず一定の音量で発音します。
ユーザー1/2	ユーザーが入力したタッチによりタッチカーブが作成されます。

①	ライト＋
②	ライト
③	ノーマル
④	ヘビー
⑤	ヘビー＋
⑥	オフ

■ タッチカーブの設定を変更する

［鍵盤タッチ］ボタンを押しながら［設定］ボタンを押してタッチカーブの種類を選びます。

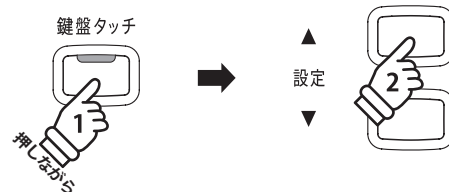
［鍵盤タッチ］ボタンが点灯し、ディスプレイに現在選ばれているタッチカーブの種類が表示されます。

```
タッチカーブ
= ライト
```

ここで選択したタッチカーブは、［鍵盤タッチ］ボタンのランプが点灯時に有効になります。

［鍵盤タッチ］ボタンを押して消灯させると、ノーマルに設定されます。

* タッチカーブの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* タッチカーブの設定内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。（→74ページ）

ユーザータッチカーブの作成

　ユーザータッチカーブ作成機能とは、ユーザーの鍵盤を弾く指の力に合わせて、自動的にタッチカーブを作成する機能です。

1. ユーザータッチカーブ作成モードに入る

（前ページからの続き）
　ユーザータッチカーブを作成する場合は、ユーザー1またはユーザー2を表示させ、［録音］ボタンを押します。

タッチカーブ
= ユーザー2　→ロクオン

エンソウカイシ
ジャクダ → キョウダ

2. ユーザータッチカーブを作成する

　演奏します。このとき適当な鍵盤を使って弱打から強打まで弾いてください。
　演奏が終わりましたら、［再生/停止］ボタンを押します。
「アナライズコンプリート」と画面に表示されたら作成完了です。

　音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。

エンソウシュウリョウシタラ
テイシボタンヲ オス。

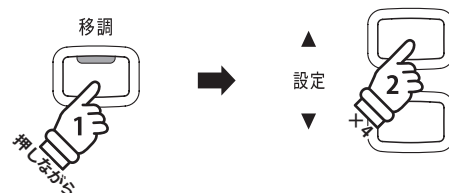
アナライズ
コンプリート

移調する（トランスポーズ）

トランスポーズとは半音単位で調を変えることです。キー（調）の異なる楽器とのアンサンブル演奏や歌の伴奏をするときに、弾く鍵盤を変えずに簡単に移調できます。

■ 鍵盤を移調する（キー トランスポーズ）：方法1

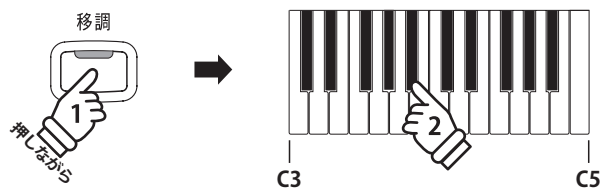
［移調］ボタンを押しながら、［設定］ボタンを押して調節します。

移調する値がディスプレイに表示され、移調がオンになります。

（例）［移調］ボタンを押しながら、［設定▲］ボタンを4回押して移調を+4にし、音程を4半音上げます。

* 半音単位、上下1オクターブずつ（-12〜+12）の範囲で設定できます。
* 2つの［設定］ボタンを同時押しすると、移調の値は0にリセットされます。

■ 鍵盤を移調する（キー トランスポーズ）：方法2

［移調］ボタンを押しながら、C3（ド）〜C5（ド）の鍵盤を押して指定します。

移調する値がディスプレイに表示され、移調がオンになります。

（例）［移調］ボタンを押しながら、A#3（ラ#）鍵盤を押して移調を-2にし、音程を2半音下げます。

* C3（ド）からC5（ド：-12〜+12）の範囲で設定できます。

■ 鍵盤の移調（キー トランスポーズ）のオン/オフ

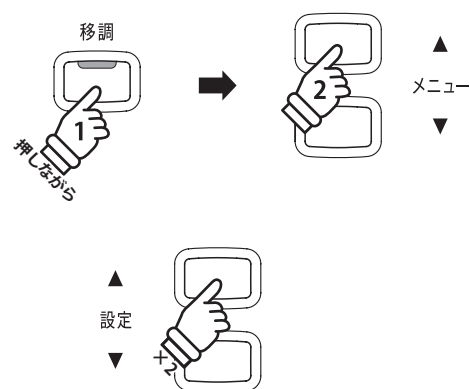
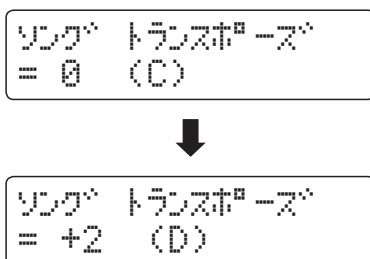
［移調］ボタンを押して、鍵盤の移調をオン/オフすることができます。

［移調］ボタンを消灯させると、鍵盤の移調がオフされます。

* 指定した鍵盤の移調の値は［移調］ボタンを消灯した後も、電源を切るまで保持されますので、その都度設定する必要はありません。
* 指定した鍵盤の移調の値は、スタートアップセッティングに保存することができます。（→74ページ）

USBから再生されるソング（SMFファイル）、内部レコーダーのソングを移調することができます。（音色デモ曲を移調することはできません。）

■ 曲を移調する（ソング トランスポーズ）

　［移調］ボタンを押しながら、［メニュー］ボタンを押して、ソング トランスポーズを選びます。

　ソング トランスポーズ画面が表示されている間に［設定］ボタンを押して調節します。

（例）ソング トランスポーズ画面で［設定▲］ボタンを2回押して移調を+2にし、音程を2半音上げます。

* 半音単位、上下1オクターブずつ（-12〜+12）の範囲で設定できます。
* 2つの［設定］ボタンを同時押しすると、移調の値は0にリセットされます。
* 曲を選ぶと、移調の値は0にリセットされます。

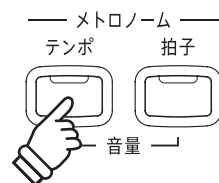
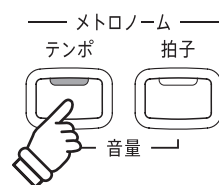
メトロノームを使う

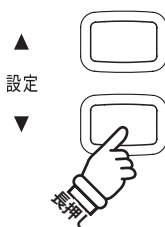
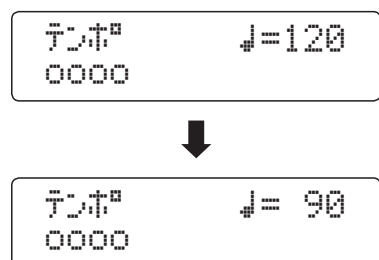
メトロノームを鳴らしてテンポを正しく練習したり、曲にあったリズムを加えて演奏を楽しむことができます。通常のメトロノーム音による拍子の他、ドラム音色によるポップス/ロック/バラード/ジャズなど多彩なリズムを内蔵しています。

1. メトロノームのオン/オフ

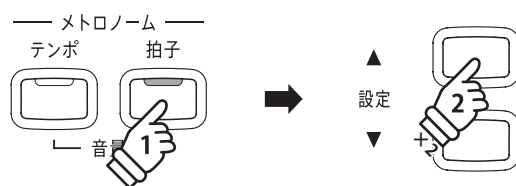
［テンポ］ボタンまたは［拍子］ボタンを押します。ボタンが点灯し、メトロノームが発音します。

ディスプレイにテンポの値、または拍子が表示されます。

再度［テンポ］ボタンまたは［拍子］ボタンを押すとメトロノームが止まり、ボタンが消灯します。

2. テンポ/拍子の設定

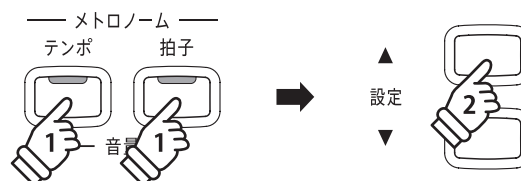
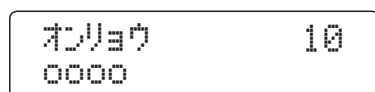
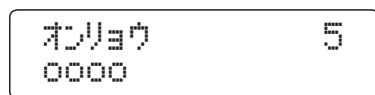
ディスプレイにテンポ画面が表示されている間に、［設定］ボタンを押してテンポを調節します。

（例）［設定▼］ボタンを長押しして、テンポを下げます。

* メトロノームのテンポは、10〜400の範囲で設定できます。（3/8、6/8、7/8、9/8、12/8拍子のときは、20〜800）

ディスプレイに拍子画面が表示されている間に、［設定］ボタンを押して拍子を選びます。

（例）［拍子］ボタンを押して拍子画面を選び、拍子が1/4のときは、［設定▲］ボタンを2回押して、3/4を選びます。

* 拍子は1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 3/8, 6/8, 7/8, 9/8, 12/8 より選択することができます。リズムは100種類より選択することができます。（110ページをご参照ください。）

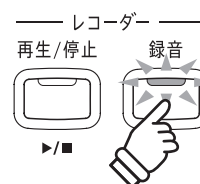
3. 音量の設定

［テンポ］ボタンと［拍子］ボタンを同時に押します。
［テンポ］ボタンと［拍子］ボタンが点灯し、メトロノームが発音し、ディスプレイに音量の値が表示されます。

* メトロノームの音量は、0〜10の範囲で設定できます。

* メトロノームの設定は、電源をオフすると初期値に戻ります。必要な変更内容はスタートアップセッティングに保存してください。（→74ページ）

■ メトロノームを使って録音する

メトロノーム発音中に［録音］ボタンを押すと録音待機状態になります。
このときメトロノームも［テンポ］ボタンまたは［拍子］ボタンが点灯したまま待機状態になります。

［再生/停止］ボタンを押すと、1小節のカウントの後、メトロノームの発音とともに録音が始まります。

* レコーダーの詳細は39ページを参照して下さい。

音色デモ曲を聴く

CN350GPには各音色ボタンごとにデモ曲を内蔵しています。それぞれの音色にあったデモ演奏をお楽しみください。内蔵デモ曲については音色デモ曲一覧（106ページ）をご参照ください。

1. 音色デモ曲の再生

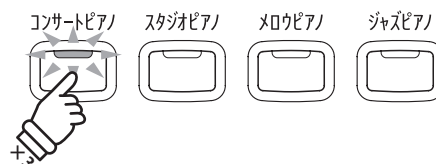
［ピアノ名曲］ボタンと［レッスン曲］ボタンを同時に押します。

［ピアノ名曲］ボタンと［レッスン曲］ボタンが点灯し、コンサートピアノのデモ曲が演奏されます。コンサートピアノのデモ曲演奏後は、各音色のデモ曲が順不同で演奏されます。

2. 音色デモ曲を選ぶ。

音色ボタンを押して聴きたいデモ曲を選びます。

選んだ音色ボタンが点滅して、デモ曲が再生されます。

押した音色ボタンに含まれる曲が再生された後、他の音色のデモ曲が順不同に再生されます。

例：［コンサートピアノ］ボタンを3回押して「コンサートグランド3」デモを選びます。

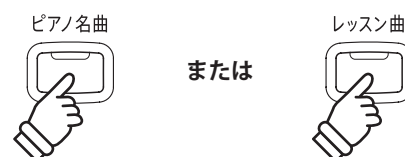
デモ
コンサート グランド3

また、［設定］ボタンでもデモ曲を選択できます。

3. 音色デモ曲の停止

［ピアノ名曲］ボタンまたは［レッスン曲］ボタンを押します。

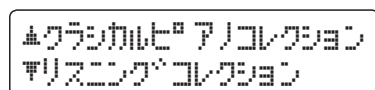
［ピアノ名曲］ボタンと［レッスン曲］ボタンが消灯し、デモ曲が止まります。

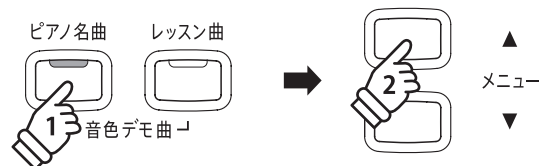
または

クラシカルピアノコレクションを聴く

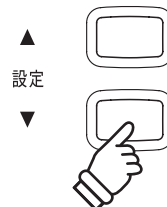
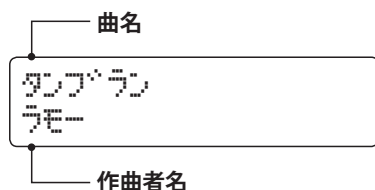
　CN350GPには発表会などでよく演奏される曲を中心に、バロック時代のラモーの作品からロマン派のショパンまでの作品29曲を内蔵しています。また対応楽譜「CLASSICAL PIANO COLLECTION」を付属しています。鑑賞や練習にご活用ください。

　曲名についてはクラシカルピアノコレクション曲一覧（107ページ）をご参照ください。

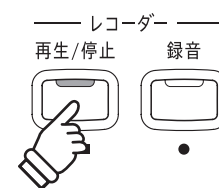
1. クラシカルピアノコレクションモードに入る

［ピアノ名曲］ボタンを押します。

［メニュー▲］ボタンでクラシカルピアノコレクションを選びます。

* ［再生/停止］ボタンを押すと曲が再生されます。

2. 曲を選択する

［設定］ボタンを押して聴きたい曲を選びます。
ディスプレイの上段に曲名、下段に作曲者名が表示されます。

3. 曲を聴く

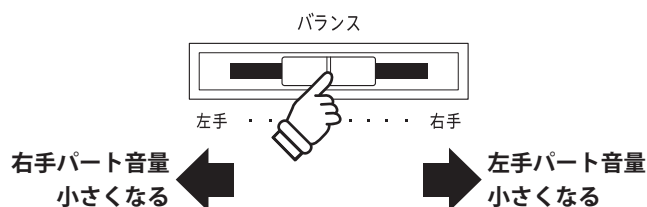
［再生/停止］ボタンを押すと曲が再生されます。
　また、レッスンの練習曲同様、片方のパートだけを再生することができます。

* 演奏を停止するまでは、曲が順不同に演奏されます。

4. 曲を停止してクラシカルピアノコレクションモードを終了する

再生中に［再生 / 停止］ボタンを押すと曲が停止します。
［ピアノ名曲］ボタンを押すとクラシカルピアノコレクションモードを終了します。

■ 右手と左手のバランスを変更する

［バランス］スライダーで練習したいパートのバランスを設定します。
　右手パートを練習したいときはスライダーを左側へ、左手パートを練習したいときは右側へ動かします。

様々な機能を楽しむ

リスニングコレクションを聴く

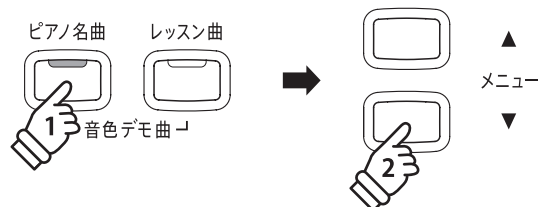
くつろぎの曲想を集めたリスニングコレクションです。
曲目についてはリスニングコレクション曲目一覧（108ページ）をご参照ください。

1. リスニングコレクションモードに入る

［ピアノ名曲］ボタンを押します。

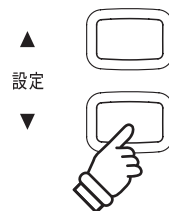
```
▲ｸﾗｼｶﾙﾋﾟｱﾉｺﾚｸｼｮﾝ
▼ﾘｽﾆﾝｸﾞｺﾚｸｼｮﾝ
```

［メニュー▼］ボタンでリスニングコレクションを選びます。

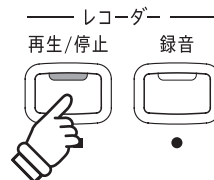
* ［再生/停止］ボタンを押すと曲が再生されます。

2. 曲を選択する

［設定］ボタンを押して聴きたい曲を選びます。

曲名

```
Gｾﾝｼﾞｮｳ ﾉ ｱﾘｱ
```

3. 曲を聴く

［再生 / 停止］ボタンを押すと曲が再生されます。

* 演奏を停止するまでは、曲が順不同に演奏されます。

4. 曲を停止してリスニングコレクションモードを終了する

再生中に［再生/停止］ボタンを押すと曲が停止します。
［ピアノ名曲］ボタンを押すとリスニングコレクションモードを終了します。

レッスン機能を楽しむ

1 練習したい曲を選ぶ

CN350GPはピアノの上達に役立つ練習曲を内蔵し、楽しみながら様々なレッスンをすることができます。

ここではレッスン機能を使ってできることと練習したい曲を選ぶ方法を説明します。レッスン曲集の種類についてはレッスン曲集一覧（108ページ）をご参照ください。

■ レッスン機能を使って

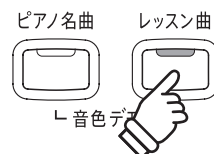
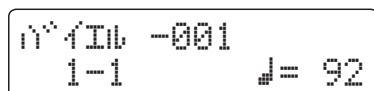
内蔵曲集から1曲を選んで次のような練習ができます。

1. 見本曲を再生して曲想を覚える。
2. 見本曲の左手（右手）パートを再生しながら右手（左手）パートを練習する。
3. テンポを変更して練習する。
4. 見本曲の左手（右手）パートを再生しながら右手（左手）パートの演奏を録音して聴いてみる。

* これら練習曲のテンポは、お子様が無理なく練習できるように一部の曲を除いて遅くしてあります。
* 設定されているテンポよりも遅くして再生した時、ブルクミュラーの一部の曲ではフェルマータの長さが変らない場合があります。
* 練習時にお子様の指に無理な負担をかけないように、チェルニーの一部の曲を除いて強打時（フォルテ）の音量を下げてあります。
* 楽譜はカワイ出版をご使用下さい。（108ページ参照）

1. レッスンモードに入る

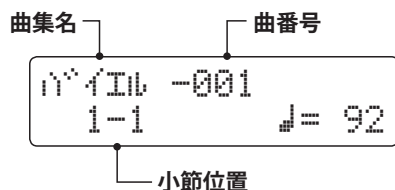
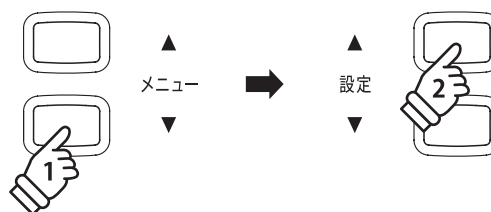
［レッスン曲］ボタンを押してレッスンモードに入ります。

```
ﾊﾞｲｴﾙ -001
  1-1      ♩= 92
```

* ［再生/停止］ボタンを押すと練習曲が再生されます。

2. 練習したい曲を選択する

練習したい曲を選びます。［メニュー］ボタンで曲集を、［設定］ボタンで曲を選択します。

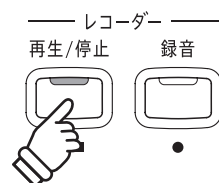
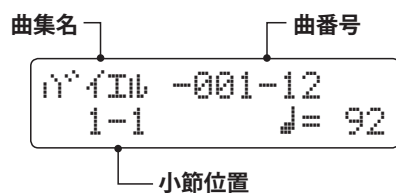
［レッスン曲］ボタンを押しながら鍵盤を押すことで曲番号の選択を行うことも可能です。

再生中でも曲選択は操作可能です。ただし練習を録音中の場合は操作できません。

2 練習曲を聴く

ここではバイエル、チェルニーなどの練習曲を聴く方法を説明します。

1. 練習曲を聴く

（前ページ、曲を選択した後）

［再生/停止］ボタンを押します。メトロノームが1小節鳴った後、見本曲が再生されます。

見本曲再生中はメトロノームが再生されませんが、メトロノームを鳴らしたい場合には､［テンポ］ボタンをオンにします。

［再生/停止］ボタンをもう一度押すと見本曲の再生が止まります。

2. レッスンモードを終了する

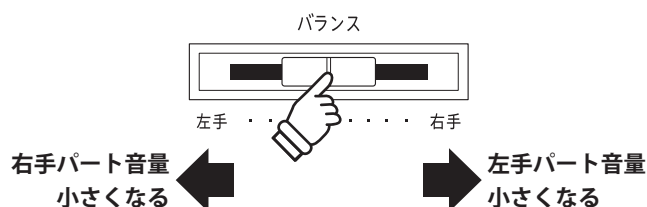
［レッスン曲］ボタンを押すとレッスンモードを終了します。

3 片手で練習する / テンポを変更する

ここでは練習曲を聴きながら右手、左手別々に練習する方法、テンポを変更する方法を説明します。

■ 片手で練習する

1. 練習曲を選択した後、［バランス］スライダーで練習したいパートのバランスを設定します。

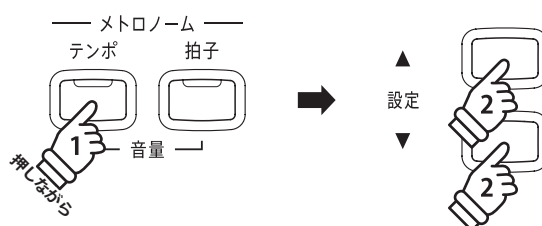
右手パートを練習したいときはスライダーを左側へ、左手パートを練習したいときは右側へ動かします。

2. ［再生/停止］ボタンを押すと1小節メトロノームが鳴った後、セットしたバランスで再生が始まりますので、見本曲に合わせて片方のパートを演奏して練習します。

* 自分のパートの見本を再生しながら合わせて演奏した場合、弾く音程やタイミングによっては音質が変化することがありますが、これは故障ではありません。気になる場合は、練習曲の再生を小さくするか消して下さい。
* バイエルの中で先生の伴奏がついている曲の場合には、左の値を大きくすると生徒のパートが小さくなり、右の値を大きくすると先生のパートが小さくなります。

■ テンポを変更する

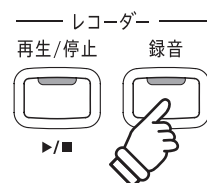
［テンポ］ボタンを押しながら［設定］ボタンを押してテンポを変更できます。

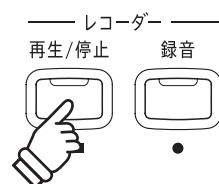
元のテンポに戻す場合には、［テンポ］ボタンを押しながら2つの［設定］ボタンを同時に押します。

様々な機能を楽しむ

4 練習曲に合わせて録音する

ここでは練習曲に合わせて練習しながらそれを聞いてチェックする方法を説明します。

1. 録音をする

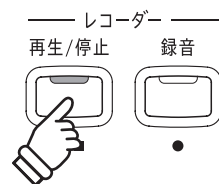
練習曲を選択し［録音］ボタンを押します。［録音］ボタンと［再生/停止］ボタンが点灯し、メトロノームが1小節鳴った後、練習曲の再生と演奏の録音が始まります。

2. 録音の終了

［再生/停止］ボタンを押して、録音を終了します。練習曲の再生と演奏の録音が終了し、［録音］ボタンと［再生/停止］ボタンが消灯します。

録音した演奏は［録音］ボタンと［再生/停止］ボタンを同時に押すと消去することができます。

* 録音した演奏は別の見本曲を選ぶと消去されます。

3. 録音した演奏を聴く

もう一度［再生/停止］ボタンを押します。メトロノームが1小節鳴ったあと見本曲と録音した演奏が再生されます。

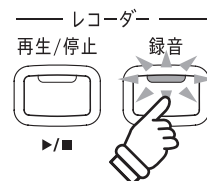
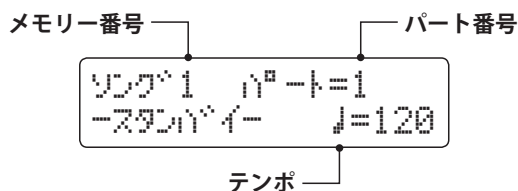
さらにもう一度［再生/停止］ボタンを押すと練習曲と練習の演奏が止まります。

Int.（内部ソング）レコーダー

CN350GP本体のメモリーに3曲まで録音することができます。自分の演奏を録音しあとでじっくり聴いたり、指導者の方にお手本に録音してもらうなど、使い方は様々です。各曲とも2パートに分けて録音できるため、左手パートを先に録音しておき、再生しながら右手パートを録音することができます。また、連弾曲やアンサンブルの曲を1パートずつ録音して完成させることもできます。

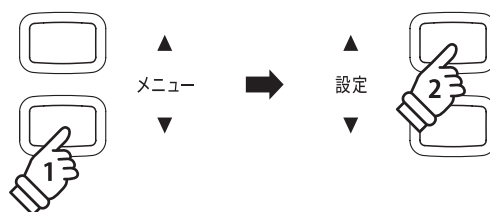
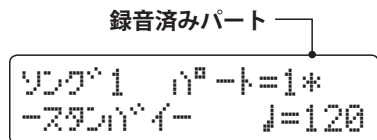
1 本体のメモリーに録音する

1. Int.レコーダーに入る

［録音］ボタンを押します。

ボタンが点滅し、Int.（内部ソング）レコーダー画面が表示されます。

* USBメモリーが接続されている場合は、［メニュー▲］ボタンを押して、「Int.レコーダー」を選びます。

2. ソング/パートを選ぶ

［メニュー］ボタンで、録音するソング番号1～3を選びます。

［設定］ボタンで、録音するパート（1または2）を選びます。

* そのパートがすでに録音されている場合は、‘*’マークが表示されます。

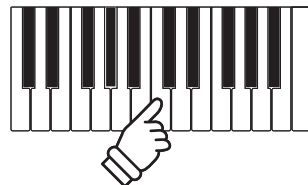
録音するメモリーやパートを選ぶ場合は、すでに録音したパートを誤って上書きしてしまわないようにご注意ください。

3. 録音を開始する

演奏を始めます。

［録音］ボタンと［再生/停止］ボタンが点灯して、録音が始まります。

現在の小節と拍数がディスプレイに表示されます。

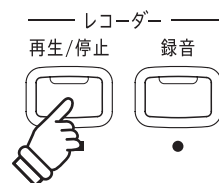
または

* 曲の始めに休みを入れたい場合は、［再生/停止］ボタンを押して録音を開始することもできます。

4. 録音を終了する

［再生/停止］ボタンを押します。［録音］ボタンと［再生/停止］ボタンが消灯して、録音が終了します。

録音した曲は内部のメモリーへ自動的に保存され、再生待機状態になります。

```
ソング1  パート=1*
  1-1      ♩=120
```

Int.レコーダーの再生については、41ページを参照してください。

* レコーダーの総記憶容量は、ソング1～3の合計で約90,000音です。ボタンやペダルの操作も、1音として扱われます。
* 録音中に記憶容量がいっぱいになると録音が中止されます。中止される直前までの演奏は録音されます。
* 録音した曲は、電源を切った後も内部メモリーへ保存されています。

■ 別のパートに録音する

別のパートに録音するときは、録音していないパートを選び、前述の手順を再度行ってください。

■ メトロノームを使って録音する

メトロノームを鳴らしながら録音すると、パートを分けて録音する場合や、正確なテンポで録音したい場合に便利です。
メトロノームの音は録音されません。

* メトロノームを使った録音の手順については30ページを参照して下さい。

■ 録音中のパネル操作に関して

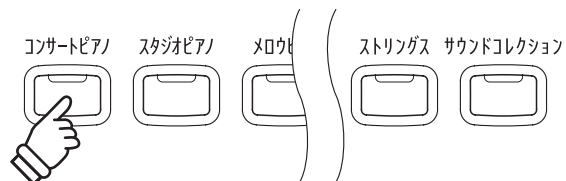
録音中に音色などを変更をしたい場合があります。レコーダーで記録されるかされないかの一覧は次のとおりです。

記録されるパネル操作
音色変更
デュアル/スプリットモードの移行
デュアル/スプリットバランスの変更

記録されないパネル操作
リバーブ設定の変更
エフェクト設定の変更
テンポ変更
トランスポーズ、チューニング、タッチカーブの変更

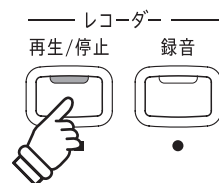
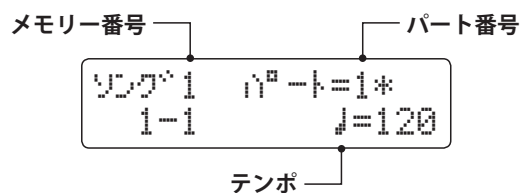
* 新しい曲を録音する前に、希望するテンポなどを選んでください。

5. レコーダーモードを終わる

音色ボタンを押すと、レコーダーモードを終了し、通常の演奏状態に戻ります。

2 内部ソングを聴く

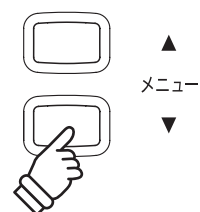
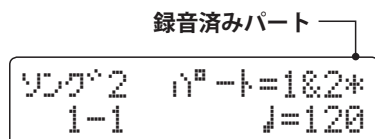
レコーダーの内部のメモリーに保存されたソングを再生します。録音したすぐ後に再生する場合は、ステップ2から初めてください。

1. Int.レコーダーに入る

［再生/停止］ボタンを押します。
Int.（内部ソング）レコーダー画面が表示されます。

* USBメモリーが接続されている場合は、［メニュー▲］ボタンを押して、「Int.レコーダー」を選びます。

2. ソングを選ぶ

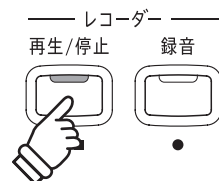
［メニュー］ボタンで、再生するソングを選びます。

録音済みパート

* 録音されているパートは、'*'マークが表示されます。

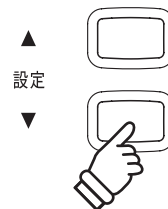
3. 再生を開始する

［再生/停止］ボタンを押します。

選んだソングの再生が始まり、現在の小節と拍数がディスプレイに表示されます。

小節 - 拍数表示

■ 再生テンポを調整する

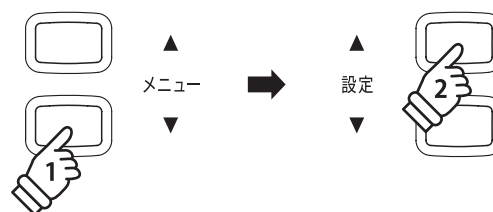
再生中に、［設定］ボタンを押して、テンポを選びます。

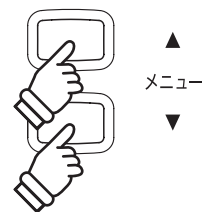
* 再生テンポは、10～400の範囲で設定できます。

■ 再生の設定を変更する

ソング音量、ソングトランスポーズ、再生パートを変更します。

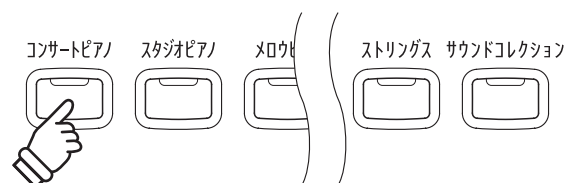
再生中に［メニュー］ボタンを押して、目的の設定のページを選びます。

［設定］ボタンを押して、設定を変更します。

```
ソング゛ オンリョウ
= 5
```

* ソング音量は、1～10の範囲で選ぶことができます。
* ソングトランスポーズは、±12半音で変更できます。
* 再生パートは、パート1、パート2、パート1&2から選びます。

［メニュー▲］と［メニュー▼］ボタンを同時に押して、再生画面へ戻ります。

4. レコーダーモードを終わる

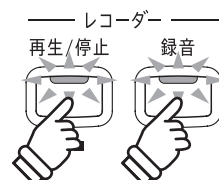
音色ボタンを押すと、レコーダーモードを終了し、通常の演奏状態に戻ります。

演奏を録音再生する

3 録音済みのパートを消去する

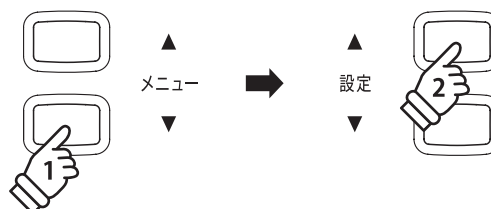
録音に失敗したり、いらなくなった内部ソングを 1 パートづつ消去することができます。
USBメモリー内の曲を消去する場合は60ページを参照してください。

1. 消去モードに入る

［録音］ボタンと［再生/停止］ボタンを同時に押します。
［録音］ボタンと［再生/停止］ボタンが点滅して、現在選ばれているメモリー番号とパート番号が消去画面に表示されます。

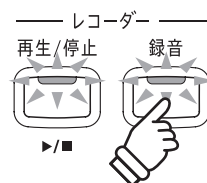
テ゛リート →ロクオン
ソンク゛1 ハ゜ート=1*

2. 消去したいソングとパートを選ぶ

［メニュー］ボタンを押して消去したいソング番号1〜3を選びます。

録音済みパート

［設定］ボタンを押して、消去したいパート番号を、1、2、1&2（曲全体）から選びます。
* 録音されているパートは、'*'マークが表示されます。

3. 消去する

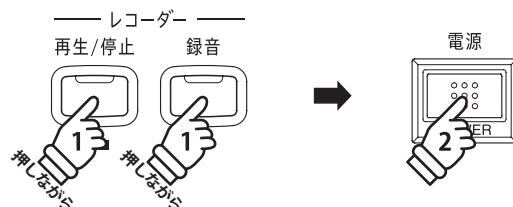
［録音］ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

シ゛ッコウシマスカ?
→セッテイ▲

レコーダー
再生/停止
録音
▶/■

［設定▲］ボタンを押すと、選択したソング/パートの消去を実行し、再生画面へ戻ります。

キャンセルしたい場合は、［再生/停止］ボタンを押します。

■ すべてのソングを消去する

［再生/停止］ボタンと［録音］ボタンを押しながら電源を入れてください。

USBレコーダー

1 オーディオファイルを録音する

MP3やWAV形式で、USBメモリーにデジタルオーディオデータとして録音することができます。他の録音機器を用意することなく楽器上でダイレクトに高品質のオーディオ録音ができ、バンドメンバーにメールで送ったり、オーディオプレイヤーで再生したり、様々な使い方ができます。

■ オーディオ録音フォーマット仕様

ファイル形式	仕様	ビットレート
MP3	44.1 kHz、16bit、ステレオ	192 kbit/s（固定）
WAV	44.1 kHz、16bit、ステレオ	1,411 kbit/s

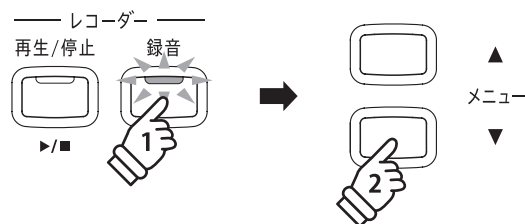
MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

MP3 codec is Copyright (c) 1995-2007, SPIRIT.

1. USBレコーダーに入る

USBメモリーを接続してください。

［録音］ボタンを押してボタンを点滅させ、［メニュー▼］ボタンを押して、「USBレコーダー」を選びます。

ディスプレイにUSBレコーダー（ファイル形式選択）画面が表示されます。

2. ファイル形式を選ぶ

［設定］ボタンを押して、録音したいファイル形式（MP3またはWAV）から選びます。

ニューソング
フォーマット = MP3

* MP3形式は、WAV形式に比べ、メモリーの容量を必要としません。
* 1Gバイトのメモリーの場合、MP3形式で12時間を越える録音ができます。

3. 録音を開始する

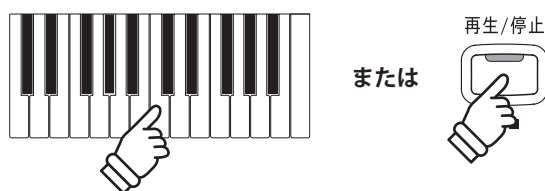
演奏を始めます。

［録音］ボタンと［再生/停止］ボタンが点灯して、録音が始まります。

録音時間がディスプレイに表示されます。

または

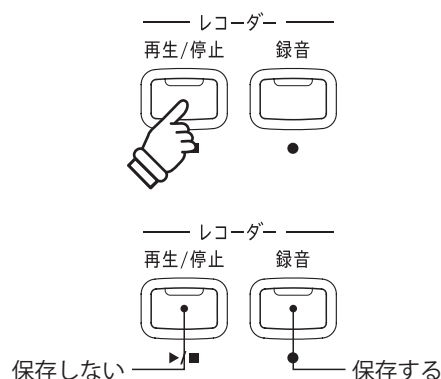
* 曲の始めに休みを入れたい場合は、［再生/停止］ボタンを押して録音を開始することもできます。

演奏を録音再生する

4. 録音を停止して保存する

演奏が終わったら［再生/停止］ボタンを押して録音を終了します。［再生/停止］ボタンと［録音］ボタンが消灯し録音が停止します。

録音した演奏をUSBメモリーに保存するか決めます。保存する場合は［録音］ボタンを、保存しない場合は［再生/停止］ボタンを押してください。

```
USBﾍ ﾎｿﾞﾝｼﾏｽｶ?
ﾊｲ→ﾛｸｵﾝ ｲｲｴ→ﾃｲｼ
```

［録音］ボタンを押すと次へ進みます。［再生/停止］ボタンを押した場合、録音結果は破棄されます。

5. ファイル名をつける

［録音］ボタンを押すと、ファイル名の編集画面が表示されます。

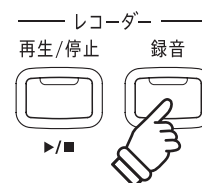
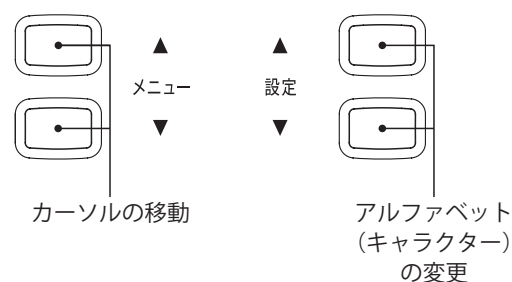
```
ﾌｧｲﾙﾈｰﾑ:    →ﾛｸｵﾝ
 Jazzy Tune  MP3
```

［メニュー］ボタンを押してカーソルを移動し、［設定］ボタンを押して、ファイル名をつけます。

［録音］ボタンを押すと、編集したファイル名でオーディオファイルに保存されます。

ディスプレイにUSBレコーダー画面が表示され、再生待機状態になります。

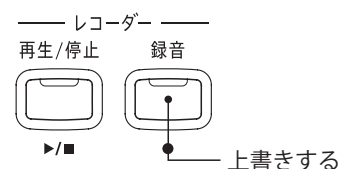
```
Jazzy Tume.MP3
 00'00"  Vol.=5
```

USBレコーダーの再生については、46ページを参照してください。

* 初期ファイル名には、“Audio-000.MP3”,“Audio-000.WAV”のように、自動的に新たな番号がつけられています。
* ファイル名は最大11文字です。
* ファイルはUSBメモリーのルートフォルダーに保存されます。異なるフォルダーへは保存できません。
* ラインインの音は録音されません。

■ ファイルの上書きについて

編集したファイル名のファイルがすでにある場合は、ディスプレイに、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

```
ｳﾜｶﾞｷｼﾏｽｶ?
ﾊｲ→ﾛｸｵﾝ ｲｲｴ→ﾃｲｼ
```

［録音］ボタンを押すと上書きされます。［再生/停止］ボタンを押した場合は、ファイル名編集画面へ戻ります。

2 オーディオファイルを聴く

USBメモリーに保存されたMP3やWAV形式のオーディオファイルを再生できます。

本格的なバッキングトラックを鳴らしながら1人でパフォーマンスしたり、曲を聞いて、コードやメロディを聞き取る作業を行うときなどに便利です。

■ オーディオ再生フォーマット仕様

ファイル形式	仕様	ビットレート
MP3	32 kHz/44.1 kHz/48 kHz、モノ/ステレオ	8〜320 kbit/s
WAV	32 kHz/44.1 kHz/48 kHz、モノ/ステレオ、16bit	ー

MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
MP3 codec is Copyright (c) 1995-2007, SPIRIT.

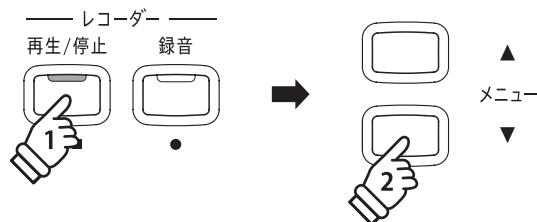
■ USBメモリーの準備

まず、用意したMP3またはWAVファイルをUSBメモリーへコピーします。

* USBメモリーは、FAT又は、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。

1. USBレコーダーに入る

USBメモリーを接続してください。

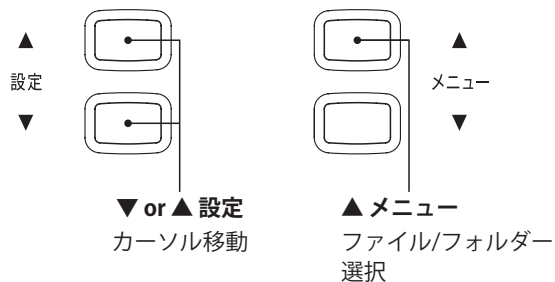
［再生/停止］ボタンを押して、［メニュー▼］ボタンを押して、「USBレコーダー」を選びます。

ディスプレイにUSBレコーダー（ファイルリスト）画面が表示されます。

■ ファイルリスト画面表示について

ファイルリスト画面は、USBメモリーに保存されているファイルとフォルダーをリスト表示します。

▶は、選択中のファイル/フォルダーを示すカーソルです。
＜　　＞は、フォルダー名です。

ファイルリスト画面は次の様になります。

実際に表示されるのは2行までですが、下記のイラストは、カーソルより上の表示イメージを拡張しています。

* フォルダーはリストのトップに、ファイルはアルファベット順に配置されます。
* USBレコーダーでは、MP3、WAV、MID、KSOファイルのみリストに表示されます。
* ファイル名は、最大11文字まで表示され、それ以降は表示されません。

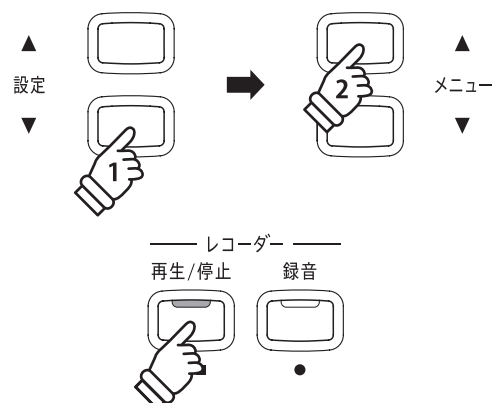
2. ファイルを選び再生を開始する

［設定］でファイルを選び、［メニュー▲］ボタンを押して決定します。

ディスプレイに再生画面が表示されます。

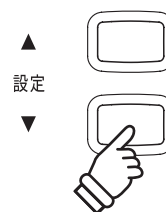
```
Man's World.mp3
 00'00"  Vol.=5
```

［再生/停止］ボタンを押します。
［再生/停止］ボタンが点灯し、選んだファイルの再生が始ります。

＜チェイン再生＞
［再生/停止］ボタンを長押しすると、ボタンが点滅し「チェイン再生」が始ります。チェイン再生は、選んだファイルの再生の後、現在のフォルダー内のリストに表示されたファイルをアルファベット順に順次再生します。

* ID3タグ等、CN350GPが認識可能なアーティスト名や曲名情報は、ファイル名に続いてディスプレイの1行目に表示されます。
* ファイル名やID3タグに日本語表記が使用されている場合は、正しく表示されません。

■ 再生の音量を調整する

再生中に、［設定］ボタンを押して音量を調節します。

* 音量は、1〜10の範囲で設定できます。
* 一般に販売されているオーディオファイルはマスタリング処理が施されている為に波形が限界まで大きくしてあるのに対し、楽器（ピアノ）はダイナミックレンジ幅が大きいため、普通に録音した波形は小さくなります。そこに大きな音量差が生まれるため、音量調整やデフォルトの音量設定が必要になります。

3. レコーダーモードを終わる

［USB］ボタンを押すと、レコーダーモードを終了し、通常の演奏画面に戻ります。

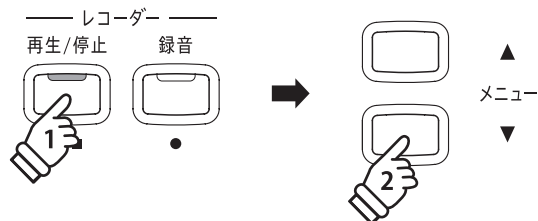
3 USBメモリ内のオーディオファイルを聴きながら演奏を重ねて録音する（オーバーダビング）

USBメモリ内のオーディオファイルを聴きながら演奏をUSBメモリに重ねて録音することができます。

1. USBレコーダーに入る

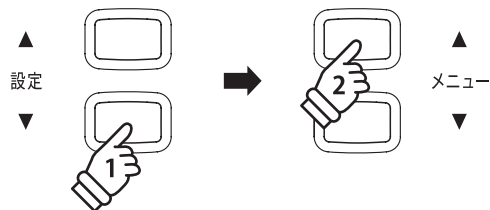
USBメモリーを接続してください。

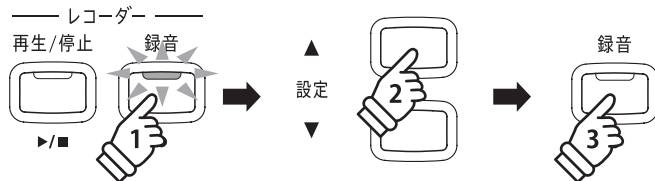
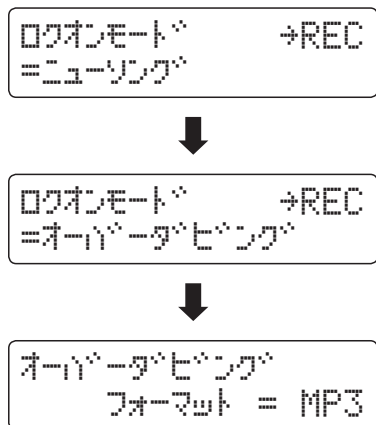
［再生/停止］ボタンを押して、［メニュー▼］ボタンを押して、「USBレコーダー」を選びます。

ディスプレイにUSBレコーダー（ファイルリスト）画面が表示されます。

2. 聴きたい曲を選ぶ

［設定］でファイルを選び、［メニュー▲］ボタンを押して決定します。

ディスプレイに再生画面が表示されます。

```
Man's World.mp3
 00'00"  Vol.=5
```

3. オーバーダビングを選ぶ

［録音］ボタンを押してボタンを点滅させ、［設定］ボタンを押して、「オーバーダビング」を選び、［録音］ボタンを押します。

* オーバーダビングではなく新たな曲を録音したい場合は「ニューソング」を選び、［録音］ボタンを押します。

4. ファイル形式を選ぶ

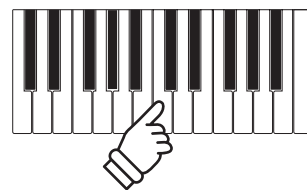
［設定］ボタンを押して、録音したいファイル形式（MP3またはWAV）を選びます。

```
ｵｰﾊﾞｰﾀﾞﾋﾞﾝｸﾞ
      ﾌｫｰﾏｯﾄ = MP3
```

5. 録音を開始する

演奏を始めます。

［録音］ボタンと［再生/停止］ボタンが点灯して、録音が始まります。

または

4 MIDIファイルを聴く

USBメモリーに保存されたMIDIファイルを再生できます。

お手持ちのSMF形式のMIDIファイルを、CN350GPの『プログレッシブハーモニックイメージング（PHI）音源』で聴くことができます。

■ MIDIファイル再生フォーマット仕様

ファイル形式	仕様
MID	フォーマット0、フォーマット1
KSO	内部ソングフォーマット

■ USBメモリーの準備

まず、用意したMIDIファイルをUSBメモリーへコピーします。

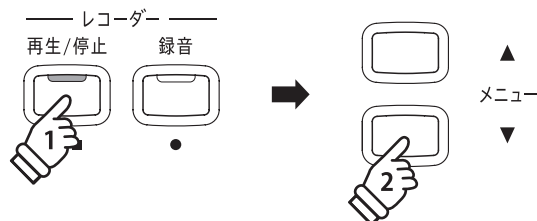
* USBメモリーは、FAT又は、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。

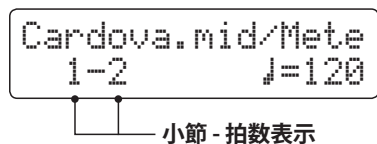
1. USBレコーダーに入る

USBメモリーを接続してください。

［再生/停止］ボタンを押して、［メニュー▼］ボタンを押して、「USBレコーダー」を選びます。

ディスプレイにUSBレコーダー（ファイルリスト）画面が表示されます。

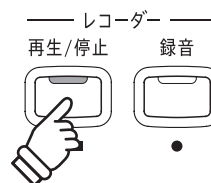
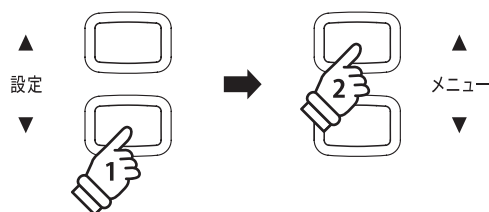
* ファイルリスト画面については、46ページを参照してください。

2. ファイルを選び再生を開始する

［設定］ボタンでファイルを選び、［メニュー▲］ボタンを押して決定します。

ディスプレイに再生画面が表示されます。

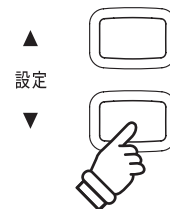
［再生/停止］ボタンを押します。

［再生/停止］ボタンが点灯し、選んだファイルの再生が始ります。

＜チェイン再生＞

［再生/停止］ボタンを長押しすると、ボタンが点滅し「チェイン再生」が始ります。チェイン再生は、選んだファイルの再生の後、現在のフォルダー内のリストに表示されたファイルをアルファベット順に順次再生します。

■ 再生のテンポを調整する

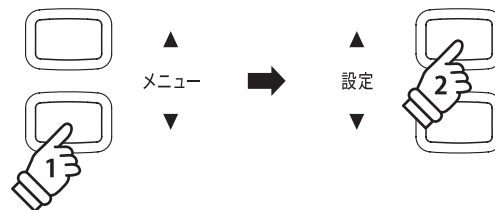
再生中に、[設定]ボタンを押してテンポを調節します。

* 再生テンポは、10〜400の範囲で設定できます。

■ 再生の設定を変更する

ソング音量、ソングトランスポーズ、マイナスワンパートを変更します。
再生中に[メニュー]ボタンを押して、目的の設定のページを選びます。

[設定]ボタンを押して、設定を変更します。

```
ソング゛ オンリョウ
= 5
```

[メニュー▲]と[メニュー▼]ボタンを同時に押して、再生画面へ戻ります。

* ソング音量は、1〜10の範囲で選ぶことができます。
* ソングトランスポーズは、±12半音で変更できます。
* マイナスワンパートは、パート1〜16、オフを選べます。

3. レコーダーモードを終わる

[USB]ボタンを押すと、レコーダーモードを終了し、通常の演奏画面に戻ります。

5 内部ソングをオーディオファイルにする

内部メモリーに録音されたMIDIソングをMP3/WAV形式に変換しながら、USBメモリーへ録音することができます。

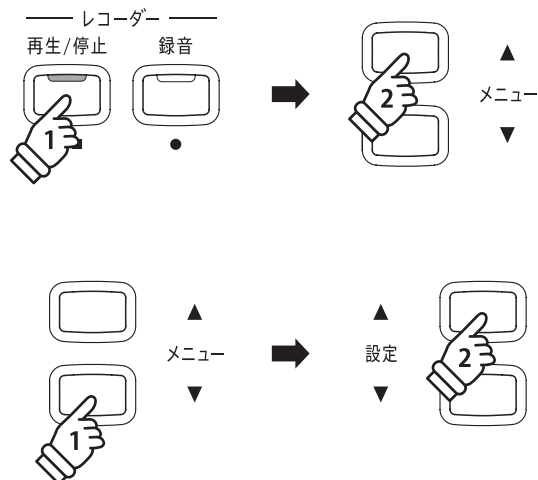
1. 内部ソングを選ぶ

USBメモリーを接続してください。

［再生/停止］ボタンを押して、［メニュー▲］ボタンを押して、「Int.レコーダー」を選びます。

ディスプレイにInt.（内部ソング）レコーダー画面が表示されます

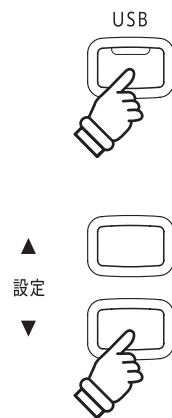
```
ｿﾝｸﾞ1  ﾊﾟｰﾄ=1*
  1-1      ♩=120
```

［メニュー］ボタンで、再生する内部ソングを選びます。

2. オーディオ変換機能を選ぶ

［USB］ボタンを押します。

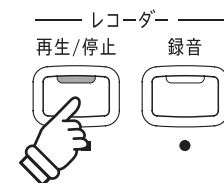
ディスプレイにオーディオ変換画面が表示されます。

```
ｵｰﾃﾞｨｵ ﾍﾝｶﾝ
     ﾌｫｰﾏｯﾄ = MP3
```

［設定］ボタンを押して、変換したいファイル形式（MP3またはWAV）から選びます。

3. 変換を開始する

［再生/停止］ボタンを押すと、変換が始まります。

ディスプレイに変換状態が表示されます。

```
ｿﾝｸﾞ1  ﾊﾟｰﾄ=1*
 00'00" ﾍﾝｶﾝﾁｭｳ
```

* 鍵盤を弾いた音もオーディオファイルへ録音されます。

* 再生が終わると変換は終了し、自動的に保存の確認画面が表示されます。

4. ファイル名をつけて保存する

45ページを参照してください。

演奏を録音再生する

6 USBメモリー内のファイルを消去する

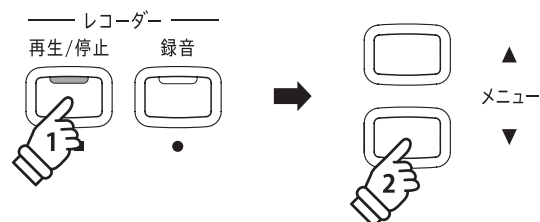
USBメモリー内のMP3/WAVファイルやMIDIソングファイルを消去することができます。一度USBメモリーから消去したファイルは、回復できません。

1. USBレコーダーに入る

USBメモリーを接続してください。

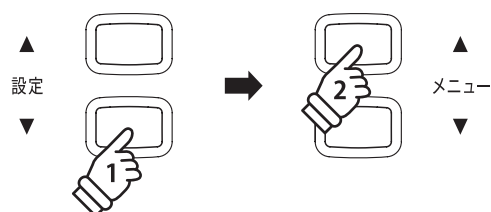
［再生/停止］ボタンを押して、［メニュー▼］ボタンを押して、「USBレコーダー」を選びます。

ディスプレイにUSBレコーダー（ファイルリスト）画面が表示されます。

* ファイルリスト画面については、46ページを参照してください。

2. ファイルを選ぶ

［設定］ボタンでファイルを選び、［メニュー▲］ボタンを押して決定します。

ディスプレイに再生画面が表示されます。

```
Audio-001.MP3
 00'00"  Vol.=5
```

3. 消去モードに入る

［録音］ボタンと［再生/停止］ボタンを同時に押します。

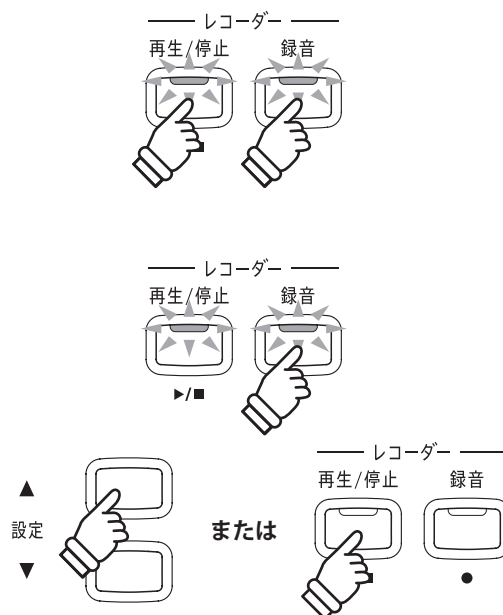
［録音］ボタンと［再生/停止］ボタンが点滅して、消去画面が表示されます。

```
デリート      →ロクオン
Audio-001     MP3
```

［録音］ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

```
ジッコウシマスカ ?
          →セッテイ▲
```

［設定▲］ボタンを押すと、選択したファイルの消去を実行し、ファイルリスト画面へ戻ります。

キャンセルしたい場合は、［再生/停止］ボタンを押します。

USBメモリーの接続

この楽器にはUSB［TO DEVICE］端子があります。USB［TO DEVICE］端子にUSB機器を接続する場合は、以下のことをお守りください。USB機器の取り扱いについては、お使いのUSB機器の取扱説明書もご参照ください。

■ 使用できるUSB機器

USB対応の記憶装置（USBメモリー、フロッピーディスクドライブ）動作確認済みUSB機器については、ご購入の前に弊社ホームページにてご確認ください。動作確認済み以外のUSB機器（マウス、コンピューターのキーボード、ハブなど）は、接続しても使えません。

■ USB機器の接続

USB［TO DEVICE］端子には、USBフロッピーディスクドライブを接続できますが、フロッピーディスクドライブは、USBレコーダーでのMP3/WAV録音には使用できません。SMF/内部ソングでの保存で使用できます。

■ USB記憶装置のフォーマット

USB記憶装置の中には、この楽器で使用する前にフォーマットが必要なものがあります。USB［TO DEVICE］端子にUSB記憶装置を接続したとき（またはUSB記憶装置にフロッピーディスクなどのメディアを挿入したとき）に、フォーマットを促すメッセージが表示された場合は、フォーマットを実行してください（61ページ）。フォーマットを実行すると、そのメディアの中身は消去されます。必要なデータが入っていないのを確認してからフォーマットしてください。

他の機器で使用したUSBメモリーには本機で表示されないデータが保存されている場合があります。フォーマットするときには十分ご注意ください。

■ USB記憶装置の抜き差し

USB記憶装置を外すときは、保存 / コピー / 削除 / フォーマットなどデータのアクセス中でないことをあらかじめ確認したうえで外してください。

* CN350GPを起動中にUSBメモリーが差し込まれると、USBメモリーによっては音が出る状態になるまでに時間が掛かる場合がありますが、故障ではありません。

* USBメモリーが差し込まれた状態で電源スイッチを押して起動すると、USBメモリーによっては音が出る状態になるまでに時間が掛かる場合がありますが、故障ではありません。

USBメニューについて

USBメモリーを接続して、本体に録音したデータをUSBメモリーに保存したり、USBメモリーをフォーマットするなどの操作を行います。

■ USBメニューの内容

ページ	項目	内容
1	ロードソング	USBメモリー内の内部フォーマットソングを本機のメモリーに読み込みます。
2	セーブSMFソング	本体に録音した曲を、パソコンなどで再生可能なSMFでUSBメモリーに保存します。
3	セーブソング	本体に録音した曲を、再ロード可能な内部フォーマットでUSBメモリーに保存します。
4	リネーム	USBメモリー内のファイル名を変更します。
5	デリート	USBメモリー内のファイルを消去します。
6	フォーマット	USBメモリーを初期化します。

1. USBメニューへ入る

USBメモリーを接続してください。

［USB］ボタンを押します。

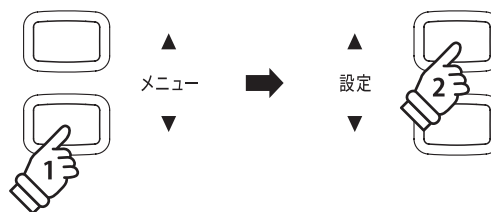
［USB］ボタンが点灯し、USBモードのメニューリスト画面が表示されます。

1 ロードソング
→セッテイ▲

2. USBメニューの機能を選ぶ

［メニュー］ボタンを押して、目的のUSBメニューの機能ページを選びます。

2 セーブSMFソング
→セッテイ▲

［設定▲］ボタンを押して、決定します。

3. USBメニューを終わる

［USB］ボタンを押すと、USBメニューを終了し、通常の演奏画面に戻ります。

1 内部ソングをロードする

USBメモリーを接続して、USBメモリー内の本機でセーブした曲を読み込む（ロードする）ことができます。読み込んだ曲はCN350GPで再生することができます。

1. 内部ソングロード機能を選ぶ

USBメモリーを接続し、［USB］ボタンを押します。

［メニュー］ボタンで、「ロード ソング」を選び、［設定▲］ボタンを押して、内部ソングのロード機能を選びます。

ディスプレイにファイルリスト画面が表示されます。

* ファイルリスト画面については、46ページを参照してください。

2. ロードするファイルを選ぶ

［設定］ボタンでファイルを選び、［メニュー▲］ボタンを押して決定します。

ディスプレイにロード先指定画面が表示されます。

▶FnkyMiracle KSO
Simple Song KSO

3. ロード先の内部メモリーを指定する

［設定］ボタンでロード先のメモリー番号を指定します。

* すでに録音されているソングには、'＊'マークがついています。

4. ロードする

［録音］ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

［設定▲］ボタンを押すと、選択したファイルのロードを実行します。
キャンセルしたい場合は、［再生/停止］ボタンを押します。

ロードした曲を聞くときは、41ページを参照してください。

ジッコウシマシタ。

5. USBメニューを終わる

［USB］ボタンを押すと、USBメニューを終了し、通常の演奏画面に戻ります。

2 SMF（MIDIファイル）形式で保存する

内部レコーダーに録音した曲を、SMF形式でUSBメモリーに保存します。

1. SMFセーブ機能を選ぶ

USBメモリーを接続し、［USB］ボタンを押します。

［メニュー］ボタンで、「セーブ SMFソング」を選び、［設定▲］ボタンを押して、SMFソングのセーブ機能を選びます。

ディスプレイにソング選択画面が表示されます。

```
2 ｾｰﾌﾞ SMFｿﾝｸﾞ
          →ｾｯﾃｲ▲
```

```
ｾｰﾌﾞSMFｿﾝｸﾞ→ﾛｸｵﾝ
= Song1*
```

2. 保存したいソングを選ぶ

［設定］ボタンで保存したいソングを選びます。

［録音］ボタンを押すと、ファイル名の編集画面が表示されます。

```
ｾｰﾌﾞSMFｿﾝｸﾞ→ﾛｸｵﾝ
= Song3*
```

```
ﾌｧｲﾙﾈｰﾑ:    →ﾛｸｵﾝ
 Song-000    MID
```

3. ファイル名をつける

［メニュー］ボタンを押してカーソルを移動し、［設定］ボタンを押して、ファイル名をつけます。

* ファイル名は最大11文字です。

* ファイルはUSBメモリーのルートフォルダーに保存されます。異なるフォルダーへは保存できません。

```
ﾌｧｲﾙﾈｰﾑ:    →ﾛｸｵﾝ
 Streetlife  MID
```

4. 保存する

［録音］ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

［設定▲］ボタンを押すと、ファイルの保存を実行します。
キャンセルしたい場合は、［再生/停止］ボタンを押します。

```
ｼﾞｯｺｳｼﾏｽｶ ?
          →ｾｯﾃｲ▲
```

```
ｼﾞｯｺｳｼﾏｼﾀ｡
```

5. USBメニューを終わる

［USB］ボタンを押すと、USBメニューを終了し、通常の演奏画面に戻ります。

3 内部ソング形式で保存する

内部レコーダーに録音した曲を、内部ソング形式でUSBメモリーに保存します。

1. 内部ソングセーブ機能を選ぶ

USBメモリーを接続し、［USB］ボタンを押します。

［メニュー］ボタンで、「セーブ ソング」を選び、［設定▲］ボタンを押して、内部ソングのセーブ機能を選びます。

ディスプレイにソング選択画面が表示されます。

3 セーブ ソング
→セッテイ▲

セーブ ソング →ロクオン
= Song1*

2. 保存したいソングを選ぶ

［設定］ボタンで保存したい内部ソングメモリーを選びます。

［録音］ボタンを押すと、ファイル名の編集画面が表示されます。

セーブ ソング →ロクオン
= Song3*

ファイルネーム: →ロクオン
Song-000 KSO

3. ファイル名をつける

［メニュー］ボタンを押してカーソルを移動し、［設定］ボタンを押して、ファイル名をつけます。

* ファイル名は最大11文字です。

* ファイルはUSBメモリーのルートフォルダーに保存されます。異なるフォルダーへは保存できません。

ファイルネーム: →ロクオン
Streetlife KSO

4. 保存する

［録音］ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

［設定▲］ボタンを押すと、ファイルの保存を実行します。
キャンセルしたい場合は、［再生/停止］ボタンを押します。

ジッコウシマスカ ?
→セッテイ▲

ジッコウシマシタ。

5. USBメニューを終わる

［USB］ボタンを押すと、USBメニューを終了し、通常の演奏画面に戻ります。

4 ファイル名を変更する

USBメモリー内のファイル名を変更することができます。

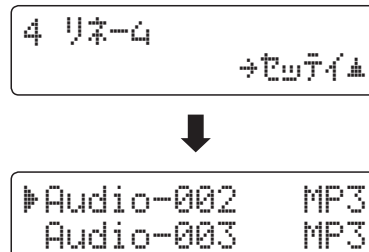
1. リネーム機能を選ぶ

USBメモリーを接続し、[USB]ボタンを押します。

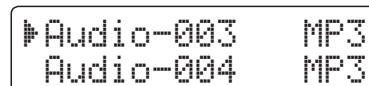
[メニュー]ボタンで、「リネーム」を選び、[設定▲]ボタンを押して、ファイル名の変更(リネーム)機能を選びます。

ディスプレイにファイルリスト画面が表示されます。

* ファイルリスト画面については、46ページを参照してください。

▶Audio-002 MP3
Audio-003 MP3

2. リネームしたいファイルを選ぶ

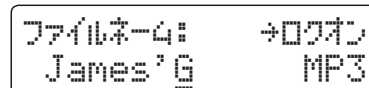
[設定]ボタンでファイルを選び、[メニュー▲]ボタンを押して決定します。

ディスプレイにファイル名の編集画面が表示されます。

▶Audio-003 MP3
Audio-004 MP3

3. ファイル名をつける

[メニュー]ボタンを押してカーソルを移動し、[設定]ボタンを押して、ファイル名をつけます。

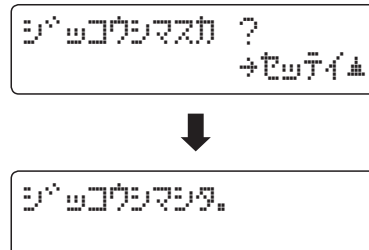
* ファイル名は最大11文字です。

ファイルネーム: →ロクオン
James'G MP3

4. リネームを実行する

[録音]ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

[設定▲]ボタンを押すと、選択したファイルのリネームを実行します。
キャンセルしたい場合は、[再生/停止]ボタンを押します。

ジッコウシマスカ ?
→セッテイ▲

ジッコウシマシタ。

5. USBメニューを終わる

[USB]ボタンを押すと、USBメニューを終了し、通常の演奏画面に戻ります。

5 ファイルを消去する

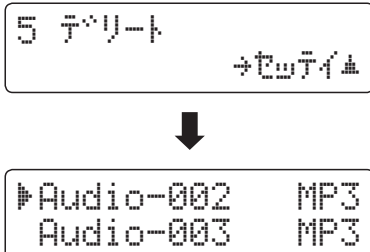
USBメモリー内のファイルを消去することができます。一度USBメモリーから消去したファイルは、回復できません。

1. デリート機能を選ぶ

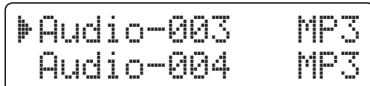
USBメモリーを接続し、[USB]ボタンを押します。

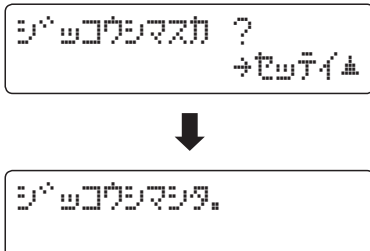
[メニュー]ボタンで、「デリート」を選び、[設定▲]ボタンを押して、ファイルの消去(デリート)機能を選びます。

ディスプレイにファイルリスト画面が表示されます。

* ファイルリスト画面については、46ページを参照してください。

2. デリートしたいファイルを選ぶ

[設定]ボタンでファイルを選び、[メニュー▲]ボタンを押して決定します。

▶Audio-003 MP3
Audio-004 MP3

3. デリートを実行する

[設定▲]ボタンを押すと、選択したファイルのデリートを実行します。
キャンセルしたい場合は、[再生/停止]ボタンを押します。

4. USBメニューを終わる

[USB]ボタンを押すと、USBメニューを終了し、通常の演奏画面に戻ります。

6 フォーマット(初期化)する

接続したUSBメモリーをフォーマットすることができます。

フォーマットを実行するとUSBメモリー内のデータがすべて消去されますので、十分ご注意ください。

1. フォーマット機能を選ぶ

USBメモリーを接続し、[USB]ボタンを押します。

[メニュー]ボタンで、「フォーマット」を選び、[設定▲]ボタンを押して、USBメモリーのフォーマット機能を選びます。

ディスプレイに確認のメッセージが表示されます。

フォーマット ?
ハイ→ロクオン イイエ→テイシ

2. 確認する

[録音]ボタンを押すと、次の確認画面へ進みます。
[再生/停止]ボタンを押した場合は、フォーマットはキャンセルされます。

3. フォーマットを実行する

[設定▲]ボタンを押すと、フォーマットを実行します。
キャンセルしたい場合は、[再生/停止]ボタンを押します。

フォーマットチュウ...
30%

ジッコウシマシタ。

4. USBメニューを終わる

[USB]ボタンを押すと、USBメニューを終了し、通常の演奏画面に戻ります。

設定メニューについて

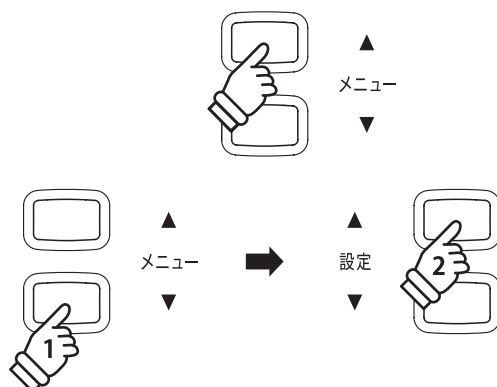
設定メニューでは、演奏を楽しむためのさまざまな設定ができます。

■ 設定メニューへ入る

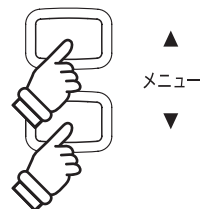
通常の演奏画面で［メニュー］ボタンを押すと、メニューリスト画面が表示されます。

1 ベーシック セッティング
→セッテイ▲

［メニュー］ボタンを押して、目的のメニューを選びます。

［設定▲］ボタンを押すと、そのメニューの設定画面へ入ります。

■ 設定メニューを終わる

2つの［メニュー］ボタンを同時に押すと、メニューリスト画面に戻ります。

再度［メニュー］ボタンを同時に押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

■ 設定メニュー 一覧

1. ベーシックセッティング
トーンコントロール、スピーカー音量、ヘッドホン音量、
ラインアウト音量、録音レベル、チューニング、
ダンパーホールド、4ハンズ、スタートアップセッティング、
ファクトリーリセット、表示言語

3. キーセッティング
ロワーオクターブシフト、ロワーペダルオン／オフ、
レイヤーオクターブシフト、レイヤーダイナミクス、

5. 電源セッティング
オートパワーオフ

2. コンサートチューナー
ボイシング、ダンパーレゾナンス、ダンパーノイズ、
ストリングレゾナンス、キーオフエフェクト、
キーアクションノイズ、ハンマーディレイ、大屋根の開閉、
ディケイタイム、ミニマムタッチ、音律の設定、
ストレッチチューニング、ストレッチカーブ、
ユーザーチューニングの設定、音律の主音の設定、
ユーザー音律の設定、88鍵ボリューム、
ハーフペダルポイント、ソフトペダルデプス

4. MIDIセッティング
MIDIチャンネル、プログラムチェンジ送信、
ローカルコントロール、プログラムチェンジ送信オン／オフ、
マルチティンバーモード、チャンネルミュート

ベーシックセッティング

ベーシックセッティングでは通常演奏時に関わる設定を操作したり、各種設定を保存したりすることができます。

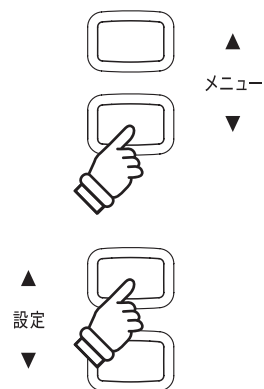
■ ベーシックセッティングの内容と工場出荷時の設定

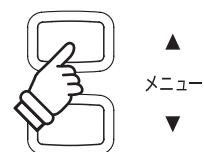
ページ	項目	内容	初期設定
1-1	トーンコントロール	全体の音質を変えます。	オフ
1-2	スピーカー音量	スピーカー出力の最大音量を変えます。	ノーマル
1-3	ヘッドホン音量	ヘッドホン出力の最大音量を変えます。	ノーマル
1-4	ラインアウト音量	ラインアウト出力のレベルを調節します。	10
1-5	録音レベル	MP3/WAVオーディオレコーダーの録音レベルを調節します。	0dB
1-6	チューニング	0.5Hz単位で、ピッチを調節します。	440.0Hz
1-7	ダンパーホールド	オルガンやストリングスの音へのサスティンペダルの効果を選びます。	オフ
1-8	4ハンズモード	「4ハンズモード」をオン／オフします。	オフ
1-9	スタートアップセッティング	電源オン時の設定として、パネル設定を保存します。	ー
1-10	ファクトリーリセット	工場出荷時の状態へ戻します。	ー
1-11	表示言語	ディスプレイに表示される言語を選びます。	ニホンゴ

■ ベーシックセッティングへ入る

メニューリスト画面に入った後、[メニュー]ボタンを押して「ベーシックセッティング」を選びます。

1 ベーシック セッティング
→セッテイ▲

[設定▲]ボタンを押すと、「ベーシックセッティング」の設定画面へ入ります。

■ 変更したい項目を選ぶ

ベーシックセッティング画面で[メニュー]ボタンを押し、変更したい項目を選びます。

1-1 全体の音質を変える（トーンコントロール）

　トーンコントロールによって演奏や設置場所に応じて、適した音質に設定することができます。トーンコントロールの種類は以下のようになっています。

■ トーンコントロールの種類

種類	効果
オフ	トーンコントロールはかかりません。
ブリリアンス	音色の明るさを調整します。
ラウドネス	小さい音量時でも通常音量時のような適切な音質が得られます。
バスブースト	低音を強調した音質です。
トレブルブースト	高音を強調した音質です。
ミッドカット	やわらかい音質です。
ユーザーEQ	自分で音質を調整できます。

1. トーンコントロールの設定に入る

　ベーシックセッティング画面（→63ページ）で［メニュー］ボタンを押し、トーンコントロールの設定ページを選びます。

1-1 ﾄｰﾝｺﾝﾄﾛｰﾙ
= ｵﾌ

2. トーンコントロールの種類を変更する

　［設定］ボタンを押すと、トーンコントロールの種類が変更されます。

* トーンコントロールの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* トーンコントロールの設定内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。（→74ページ）

1-1 ﾄｰﾝｺﾝﾄﾛｰﾙ
= ｵﾌ

1-1 ﾄｰﾝｺﾝﾄﾛｰﾙ
= ﾊﾞｽﾌﾞｰｽﾄ

3. トーンコントロールの設定を終わる

　2つの［メニュー］ボタンを同時に押すと、トーンコントロールの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

　または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

ブリリアンス

1. ブリリアンスの設定に入る

トーンコントロールの設定ページで［設定］ボタンを押して、「ブリリアンス」を選びます。

1-1 トーンコントロール
= ブリリアンス

［メニュー▲］ボタンを押すと、ブリリアンスの設定ページが表示されます。

1-1 ブリリアンス
= 0

2. ブリリアンスの設定を変更する

［設定］ボタンを押して、値を調節します。

* 値は、-10〜+10の範囲で調節できます。

1-1 ブリリアンス
= +5

3. ブリリアンスの設定を終わる

2つの［メニュー］ボタンを同時に押すと、ブリリアンスの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

ユーザーEQ

■ ユーザーEQ設定項目

周波数帯域	内容
ロー	低音域をブースト/カットします。
ミッドロー	中低音域をブースト/カットします。
ミッドハイ	中高音域をブースト/カットします。
ハイ	高音域をブースト/カットします。

1. ユーザーEQ設定へ入る

トーンコントロールの設定ページで［設定］ボタンを押して、「ユーザー」を選びます。

［メニュー▲］ボタンを押すと、ユーザーEQの設定ページが表示されます。

```
1-1 ﾄｰﾝｺﾝﾄﾛｰﾙ
= ﾕｰｻﾞｰ
```

```
1-1 ﾕｰｻﾞｰ ﾛｰ
= 0 dB
```

2. ユーザーEQを設定する

［メニュー］ボタンを押して、設定したい周波数帯域を選びます。
［設定］ボタンを押して、選んだ周波数帯域を調節します。

* 各帯域は、-6dB～+6dBの範囲で調節できます。

```
1-1 ﾕｰｻﾞｰ ﾛｰ
= 0 dB
```

```
1-1 ﾕｰｻﾞｰ ﾊｲ
= +6 dB
```

3. ユーザーEQ設定を終わる

2つの［メニュー］ボタンを同時に押すと、ユーザーEQの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

1-2 スピーカー音量

初期設定は、『ノーマル』になっています。『チイサイ』に設定すると、スピーカーの最大音量が小さくなります。大きな音量が必要ない場合は、この設定にすることで、より細かく音量調整することが可能となります。

* この設定は、ヘッドホン出力やラインアウトには効きません。

■ スピーカー音量の設定

種類	内容
ノーマル（初期設定）	通常の音量でスピーカーが鳴ります。
チイサイ	小さい音量でスピーカーが鳴ります。

1. スピーカー音量の設定に入る

ベーシックセッティング画面（→63ページ）で［メニュー］ボタンを押し、スピーカー音量の設定ページを選びます。

```
1-2 スピーカーオンリョウ
= ノーマル
```

2. スピーカー音量の設定を変更する

［設定］ボタンを押して、スピーカー音量の「ノーマル」と「チイサイ」を選択します。

* スピーカー音量の設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* スピーカー音量の設定内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。（→74ページ）

```
1-2 スピーカーオンリョウ
= ノーマル
```

```
1-2 スピーカーオンリョウ
= チイサイ
```

3. スピーカー音量の設定を終わる

2つの［メニュー］ボタンを同時に押すと、スピーカー音量の設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

1-3 ヘッドホン音量

初期設定は、『ノーマル』になっています。『オオキイ』に設定にすると、ヘッドホンの最大音量が大きくなります。音量の小さいヘッドホンを使用するときなどに有効です。

* この設定は、スピーカー出力やラインアウトには効きません。

■ ヘッドホン音量の設定

種類	内容
ノーマル（初期設定）	通常の音量でヘッドホンが鳴ります。
オオキイ	大きい音量でヘッドホンが鳴ります。

1.ヘッドホン音量の設定に入る

ベーシックセッティング画面（→63ページ）で［メニュー］ボタンを押し、ヘッドホン音量の設定ページを選びます。

```
1-3 ヘッドホンオンリョウ
= ノーマル
```

2.ヘッドホン音量の設定を変更する

［設定］ボタンを押して、ヘッドホン音量の「ノーマル」と「オオキイ」を選択します。

* ヘッドホン音量の設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* ヘッドホン音量の設定内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。（→74ページ）

```
1-3 ヘッドホンオンリョウ
= ノーマル
```

```
1-3 ヘッドホンオンリョウ
= オオキイ
```

3.ヘッドホン音量の設定を終わる

2つの［メニュー］ボタンを同時に押すと、ヘッドホン音量の設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

1-4 ラインアウト音量

ラインアウトの音量を調節します。

ラインアウト音量と全体音量（→12ページ）は独立して効きますので、PA機器に接続した場合など、ライン出力と内蔵スピーカーのモニター音量をそれぞれ調節することができます。

* この設定は、スピーカー/ヘッドホン出力には効きません。

1. ラインアウト音量の設定に入る

ベーシックセッティング画面（→63ページ）で［メニュー］ボタンを押し、ラインアウト音量の設定ページを選びます。

```
1-4 ラインアウトオンリョウ
= 10
```

2. ラインアウト音量の設定を変更する

［設定］ボタンを押して、ラインアウト音量を調節します。

* ラインアウト音量は、0〜10の範囲で調節できます。
* ラインアウト音量の設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* ラインアウト音量の設定内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。（→74ページ）

```
1-4 ラインアウトオンリョウ
= 10
```

```
1-4 ラインアウトオンリョウ
= 3
```

3. ラインアウト音量の設定を終わる

2つの［メニュー］ボタンを同時に押すと、ラインアウト音量の設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

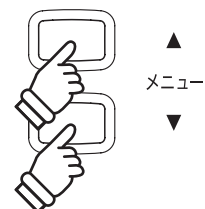
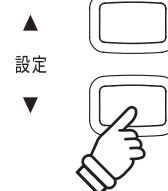
■ 演奏中のラインアウト音量の調節

演奏中などに素早くラインアウト音量を調節したい場合は、次の手順で調節します。

通常画面で［メニュー］ボタンを同時に押すと、ラインアウト音量調節画面が表示されます。

```
ラインアウトオンリョウ
= 10
```

［設定］ボタンを押して、ラインアウト音量を調節します。

音色ボタンを押すか、そのまま数秒すると元の画面へ戻ります。

1-5 オーディオ録音レベル

一般に販売されているオーディオファイルはマスタリング処理が施されている為に波形が限界まで大きくしてあるのに対し、楽器（ピアノ）はダイナミックレンジ幅が大きいため、普通に録音した波形は小さくなります。ここでは、MP3/WAVオーディオレコーダーの録音レベルを+15dBまで上げることができます。

1. オーディオ録音レベルの設定に入る

ベーシックセッティング画面（→63ページ）で［メニュー］ボタンを押し、オーディオ録音レベルの設定ページを選びます。

```
1-5 ﾛｸｵﾝ ﾚﾍﾞﾙ
= +9 dB
```

2. オーディオ録音レベルの設定を変更する

［設定］ボタンを押して、オーディオ録音レベルを調節します。

* オーディオ録音レベルは、0〜+15dBの範囲で調節できます。
* オーディオ録音レベルを上げると、大きな音やフォルティッシモでの演奏で録音が歪むことがありますのでご注意ください。
* オーディオ録音レベルの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* オーディオ録音レベルの設定内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。（→74ページ）

```
1-5 ﾛｸｵﾝ ﾚﾍﾞﾙ
= +9 dB
```

```
1-5 ﾛｸｵﾝ ﾚﾍﾞﾙ
= +10 dB
```

3. オーディオ録音レベルの設定を終わる

2つの［メニュー］ボタンを同時に押すと、オーディオ録音レベルの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

1-6 チューニング

チューニングとは他の楽器とピッチ（音程）を合わせるときに行います。合奏のときやCDの再生に合わせて演奏するときなど、音程を合わせたいときに使用します。

1. チューニングの設定に入る

ベーシックセッティング画面（→63ページ）で［メニュー］ボタンを押し、チューニングの設定ページを選びます。

```
1-6 ﾁｭｰﾆﾝｸﾞ
= 440.0 Hz
```

2. チューニングの設定を変更する

［設定］ボタンを押して、チューニングを、0.5Hz単位で調節します。

* チューニングは、427.0Hzから453.0Hzの範囲で調節できます。
* チューニングの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* チューニングの設定内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。（→74ページ）

```
1-6 ﾁｭｰﾆﾝｸﾞ
= 440.0 Hz
```

```
1-6 ﾁｭｰﾆﾝｸﾞ
= 437.5 Hz
```

3. チューニングの設定を終わる

2つの［メニュー］ボタンを同時に押すと、チューニングの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

1-7 ダンパーホールドのON/OFF

ダンパーホールドとは、ストリングアンサンブルのような持続音色（鍵盤を押しつづけている間鳴りつづける音色）に対して、ダンパーペダルを踏んで鍵盤を弾いたときに鍵盤から手を離した後も音を持続させる機能です。

■ ダンパーホールドの設定

種類	内容
オフ（初期設定）	ダンパーペダルを踏んで持続音色を弾いた時に、鍵盤から手を離した後、音が減衰します。
オン	ダンパーペダルを踏んで持続音色を弾いた時に、鍵盤から手を離した後も音が持続します。

1. ダンパーホールドの設定に入る

ベーシックセッティング画面（→63ページ）で［メニュー］ボタンを押し、ダンパーホールドの設定ページを選びます。

1-7 ﾀﾞﾝﾊﾟｰ ﾎｰﾙﾄﾞ
= ｵﾌ

2. ダンパーホールドの設定を変更する

［設定］ボタンを押して、ダンパーホールドをオン/オフします。

* ダンパーホールドの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* ダンパーホールドの設定内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。（→74ページ）

1-7 ﾀﾞﾝﾊﾟｰ ﾎｰﾙﾄﾞ
= ｵﾌ

1-7 ﾀﾞﾝﾊﾟｰ ﾎｰﾙﾄﾞ
= ｵﾝ

3. ダンパーホールドの設定を終わる

2つの［メニュー］ボタンを同時に押すと、ダンパーホールドの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

1-8 4ハンズモードのON/OFF

4ハンズモードのオン/オフができます。4ハンズモードの操作は[スプリット]ボタンとペダルを使って入ったときと同様です。初期設定ではスプリットポイントはF4(ファ)に設定されています。

* 4ハンズモードについては、19ページを参照してください。

■ 4ハンズモードの設定

種類	内容
オフ(初期設定)	4ハンズモードをオフします。
オン	4ハンズモードをオンします。

1. 4ハンズモードの設定に入る

ベーシックセッティング画面(→63ページ)で[メニュー]ボタンを押し、4ハンズモードの設定ページを選びます。

```
1-8 4ﾊﾝｽﾞ ﾓｰﾄﾞ
= ｵﾌ
```

2. 4ハンズモードの設定を変更する

[設定]ボタンを押して、4ハンズモードをオン/オフします。

* 4ハンズモードをオンにすると、[スプリット]ボタンが点滅します。

* 4ハンズモードの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* 4ハンズモードの設定内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。(→74ページ)

```
1-8 4ﾊﾝｽﾞ ﾓｰﾄﾞ
= ｵﾌ
```

```
1-8 4ﾊﾝｽﾞ ﾓｰﾄﾞ
= ｵﾝ
```

3. 4ハンズモードの設定を終わる

2つの[メニュー]ボタンを同時に押すと、4ハンズモードの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

1-9 スタートアップセッティングの使い方

自分の好みの設定を本体に記憶することで、電源を入れ直してもその設定で演奏することができます。その操作をスタートアップセッティングと言います。記憶される内容は以下のとおりです。

■ スタートアップセッティングに記憶される内容

パネル
音色（デュアル・スプリットの音色設定を含む）
スプリットポイント
リバーブ、エフェクト
タッチ、トランスポーズ（キートランスポーズのみ）
メトロノーム設定

設定メニュー
ベーシックセッティング
コンサートチューナー
キーセッティング
MIDIセッティング

* 電源セッティングは自動的に記憶されます。

1. スタートアップセッティング機能を選ぶ

ベーシックセッティング画面（→63ページ）で［メニュー］ボタンを押し、スタートアップセッティング機能ページを選びます。

1-9 ｽﾀｰﾄｱｯﾌﾟ ｾｯﾄ
ﾎｿﾞﾝｼﾏｽｶ?　→ﾛｸｵﾝ

2. スタートアップセッティングに保存する

［録音］ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。
［設定▲］ボタンを押すと、保存を実行します。

保存が終わると、自動的に通常の演奏画面へ戻ります。

* 電源セッティングは、スタートアップセッティングには記憶されません。電源オフ時に、自動的に記憶されます。

ｼﾞｯｺｳｼﾏｽｶ?
→ｾｯﾃｲ▲

ｼﾞｯｺｳｼﾏｼﾀ｡

1-10 ファクトリーリセットの使い方

ファクトリーリセットを行うとスタートアップセッティングで設定した内容を全て消去し、購入時の設定に戻すことができます。

* この機能は、レコーダーの内容は消去しません。

1. ファクトリーリセット機能を選ぶ

ベーシックセッティング画面(→63ページ)で[メニュー]ボタンを押し、ファクトリーリセット機能ページを選びます。

```
1-10 ファクトリー リセット
リセットシマスカ?   →ロクオン
```

2. リセットを実行する

[録音]ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。
[設定▲]ボタンを押すと、リセットを実行します。

リセットが終わると、自動的に通常の演奏画面へ戻ります。

* レコーダーのデータを全て消去して購入時の状態に戻すには43ページを参照してください。

```
ジッコウシマスカ?
            →セッテイ▲
```

```
ジッコウシマシタ。
```

1-11 表示言語の設定

ディスプレイに表示される言語を日本語と英語の 2 言語より選択できます。

1. 表示言語の設定ページに入る

ベーシックセッティング画面(→63ページ)で[メニュー]ボタンを押し、表示言語の設定ページを選びます。

```
1-11 ヒョウジゲンゴ
= ニホンゴ
```

2. 表示言語を選択する

[設定]ボタンを押して、日本語か英語かを選びます。

```
1-11 Language
= English
```

3. 表示言語の設定を終わる

2つの[メニュー]ボタンを同時に押すと、表示言語の設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

```
 コンサート グランド1
```

コンサートチューナー

ピアノ調律師はアコースティックピアノには欠くことができません。調律師は調律/整調/整音作業により、ピアニストの趣好に合わせてピアノの調整をします。

「コンサートチューナー」はこれらの作業を電子的にシミュレートし、演奏者の好みに近いピアノに調整することができます。

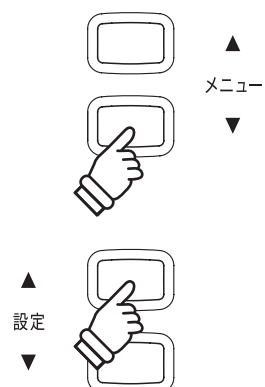
■ コンサートチューナーの内容と工場出荷時の設定

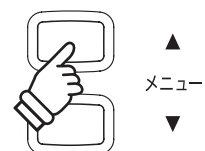
ページ	項目	内容	初期設定
2-1	ボイシング	ピアノの弦を叩くハンマーの状態を調整します。	ノーマル
2-2	ダンパーレゾナンス	ダンパーペダルを踏んだときのピアノ全体の共鳴効果音の量を調整します	5
2-3	ダンパーノイズ	ダンパーペダルを踏んだときと、離したときに発生するノイズの音量を調整します。	5
2-4	ストリングレゾナンス	ピアノの弦の共鳴効果音の量を調整します。	5
2-5	キーオフエフェクト	ピアノの鍵盤を強く弾いてから離したときのダンパーが弦に触れる音の音量を調整します	5
2-6	キーアクションノイズ	鍵盤のアクションが戻るときの音の音量を調整します	5
2-7	ハンマーディレイ	ハンマーが弦を叩くタイミングの遅れを調整します。	5
2-8	大屋根の開閉	グランドピアノの大屋根の開き具合による音の違いを調整します。	オープン3
2-9	ディケイタイム	鍵盤を弾いたあとの音の減衰の長さを調整します。	5
2-10	ミニマムタッチ	一番小さい音が出るタッチの強さを調整します。	1
2-11	音律の設定	音律を選択します。	平均律
	ストレッチチューニング	ストレッチチューニングのオン/オフを設定します。	ピアノオンリー
	ストレッチカーブ	ストレッチチューニングでの低音側及び高音側のチューニング幅を選びます。	ノーマル
	ユーザーチューニング	88鍵それぞれのチューニングを調整します。	0
	音律の主音の設定	平均律以外の音律は調号に合わせた音律ですので、音律の主音を設定します。	C
	ユーザー音律の設定	オリジナルの音律を設定できます。	–
2-12	88鍵ボリューム	88個の鍵盤それぞれのボリュームを調整します。	0
2-13	ハーフペダルポイント	ハーフペダルが掛かり始めるポイントを調整します。	5
2-14	ソフトペダルデプス	ソフトペダルの効き具合を調整します。	5

■ コンサートチューナーへ入る

　メニューリスト画面に入った後、[メニュー]ボタンを押して「コンサートチューナー」を選びます。

2 コンサート チューナー
→セッテイ▲

　[設定▲]ボタンを押すと、「コンサートチューナー」の設定画面へ入ります。

■ 変更したい項目を選ぶ

　コンサートチューナー画面で[メニュー]ボタンを押し、変更したい項目を選びます。

2-1 ボイシング

アコースティックピアノにおける、弦を叩くハンマーの状態をシミュレートしたもので、6種類のハンマータイプが選べます。

■ ハンマーの状態の種類

種類	効果
ノーマル	通常の設定です。
メロウ1	やわらかめのハンマーをシミュレートしたソフトな音色になります。
メロウ2	メロウ1よりやわらかなハンマーをシミュレートした音色になります。
ダイナミック	タッチの強弱に応じてソフトな音色からブライトな音色までダイナミックに変化します。
ブライト1	硬めのハンマーをシミュレートしたブライトな音色になります。
ブライト2	ブライト1より硬めのハンマーをシミュレートした音色になります。

1. ボイシングの設定に入る

コンサートチューナー画面(→77ページ)で[メニュー]ボタンを押し、ボイシングの設定ページを選びます。

2-1 ボイシング
=ノーマル

2. ボイシングの設定を変更する

[設定]ボタンを押して、ボイシングの設定を選びます。

2-1 ボイシング
=ノーマル

2-1 ボイシング
=ダイナミック

* ボイシングの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* ボイシングの設定内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。(→74ページ)

3. ボイシングの設定を終わる

2つの[メニュー]ボタンを同時に押すと、ボイシングの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

2-2 ダンパーレゾナンス

　ダンパーペダルを踏んだときのピアノ全体の共鳴効果をシミュレートしたもので、この共鳴音の音量を調整することができます。

* ダンパーレゾナンスはピアノ音色にのみ効果があります。

1. ダンパーレゾナンスの設定に入る

　コンサートチューナー画面（→77ページ）で［メニュー］ボタンを押し、ダンパーレゾナンスの設定ページを選びます。

2-2 ﾀﾞﾝﾊﾟｰﾚｿﾞﾅﾝｽ
= 5

2. ダンパーレゾナンスの設定を変更する

　［設定］ボタンを押して、ダンパーレゾナンスの設定を選びます。

* ダンパーレゾナンスは、オフ、1～10の範囲で調節できます。
* ダンパーレゾナンスの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* ダンパーレゾナンスの設定内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。（→74ページ）

2-2 ﾀﾞﾝﾊﾟｰﾚｿﾞﾅﾝｽ
= 5

2-2 ﾀﾞﾝﾊﾟｰﾚｿﾞﾅﾝｽ
= 2

3. ダンパーレゾナンスの設定を終わる

　2つの［メニュー］ボタンを同時に押すと、ダンパーレゾナンスの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

　または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

2-3 ダンパーノイズ

ダンパーペダルを踏んだときと、離したとき、ダンパーヘッドが弦に触れたり、離れたりする際のノイズ音が発生します。このノイズの音量を調整します。

* ダンパーノイズはピアノ音色にのみ効果があります。

1. ダンパーノイズの設定に入る

コンサートチューナー画面（→77ページ）で［メニュー］ボタンを押し、ダンパーノイズの設定ページを選びます。

2-3 ﾀﾞﾝﾊﾟｰﾉｲｽﾞ
= 5

2. ダンパーノイズの設定を変更する

［設定］ボタンを押して、ダンパーノイズの値を設定します。

値は1〜10、またはオフがあります。「1」がもっとも小さく、「10」がもっとも大きくなります。「オフ」の場合はダンパーノイズは鳴りません。

* ダンパーノイズの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* ダンパーノイズの設定内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。（→74ページ）

2-3 ﾀﾞﾝﾊﾟｰﾉｲｽﾞ
= 5

2-3 ﾀﾞﾝﾊﾟｰﾉｲｽﾞ
= 2

3. ダンパーノイズの設定を終わる

2つの［メニュー］ボタンを同時に押すと、ダンパーノイズの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

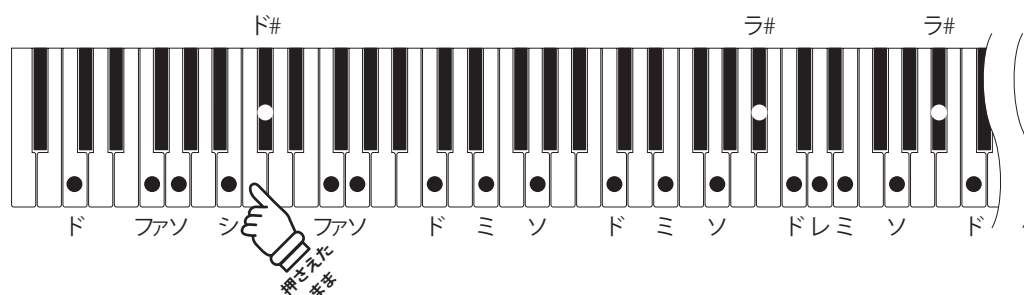
または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

2-4 ストリングレゾナンス

ピアノの弦の共鳴効果（ストリングレゾナンス）をシミュレートしたもので、この共鳴音の音量を好みに合わせて調整することができます。

* ストリングレゾナンスはピアノ音色にのみ効果があります。

■ ストリングレゾナンスとは？

ピアノは各鍵盤毎に弦が張られています。ある鍵盤を押さえた状態で他の鍵盤を弾くと、2つの鍵盤の音程の関係によって弦の共鳴が発生して音が出ます。これが「ストリングレゾナンス」です。
例えばドの鍵盤を押さえたままの時、下図の鍵盤を弾くとドの鍵盤の弦が共鳴して音が出ます。ドの鍵盤をそっと押さえたままにして下図の鍵盤を弾いてすぐに止めると共鳴音が鳴っていることが良くわかります。

1. ストリングレゾナンスの設定に入る

コンサートチューナー画面（→77ページ）で［メニュー］ボタンを押し、ストリングレゾナンスの設定ページを選びます。

2-4 ｽﾄﾘﾝｸﾞﾚｿﾞﾅﾝｽ
= 5

2. ストリングレゾナンスの設定を変更する

［設定］ボタンを押して、ストリングレゾナンスの設定を選びます。

* ストリングレゾナンスは、オフ、1～10の範囲で調節できます。
* ストリングレゾナンスの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* ストリングレゾナンスの設定内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。（→74ページ）

2-4 ｽﾄﾘﾝｸﾞﾚｿﾞﾅﾝｽ
= 5

2-4 ｽﾄﾘﾝｸﾞﾚｿﾞﾅﾝｽ
= 8

3. ストリングレゾナンスの設定を終わる

2つの［メニュー］ボタンを同時に押すと、ストリングレゾナンスの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

2-5 キーオフエフェクト

キーオフエフェクトは、特に低音でピアノの鍵盤を強く弾いてから離したときに、音が止まる直前にダンパーが弦に触れる音をシミュレートしたものです。この音量をお好みに合わせて調整することができます。

* キーオフエフェクトは、ピアノ音色、ハープシコード音色、クラシック E. ピアノ、60'sエレクトリックピアノ、クラシック E. ピアノ 2、クラシック E. ピアノ 3に効果があります。

1. キーオフエフェクトの設定に入る

コンサートチューナー画面（→77ページ）で［メニュー］ボタンを押し、キーオフエフェクトの設定ページを選びます。

2-5 キーオフエフェクト
= 5

2. キーオフエフェクトの設定を変更する

［設定］ボタンを押して、キーオフエフェクトの設定を選びます。

2-5 キーオフエフェクト
= 5

2-5 キーオフエフェクト
= 10

* キーオフエフェクトは、オフ、1〜10の範囲で調節できます。
* キーオフエフェクトの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* キーオフエフェクトの設定内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。（→74ページ）

3. キーオフエフェクトの設定を終わる

2つの［メニュー］ボタンを同時に押すと、キーオフエフェクトの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

2-6 キーアクションノイズ

鍵盤を離したときの、鍵盤アクションが戻った時に発生する音をシミュレートしたものです。この音量をお好みに合わせて調整することができます。

* キーアクションノイズは、ピアノ音色にのみ効果があります。

1. キーアクションノイズの設定に入る

コンサートチューナー画面(→77ページ)で[メニュー]ボタンを押し、キーアクションノイズの設定ページを選びます。

2-6 キーアクションノイズ゛
= 5

2. キーアクションノイズの設定を変更する

[設定]ボタンを押して、キーアクションノイズの設定を選びます。

2-6 キーアクションノイズ゛
= 5

2-6 キーアクションノイズ゛
= オフ

* キーアクションノイズは、オフ、1〜10の範囲で調節できます。
* キーアクションノイズの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* キーアクションノイズの設定内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。(→74ページ)

3. キーアクションノイズの設定を終わる

2つの[メニュー]ボタンを同時に押すと、キーアクションノイズの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

2-7 ハンマーディレイ

　ピアノでは、ピアニシモ（最弱打）で弾いた際、ハンマーが弦を叩くタイミングがわずかに遅くなります。ハンマーディレイはこのハンマーの遅れをシミュレートしたもので、演奏しやすいタイミングに調整することができます。

* ハンマーディレイはピアノ音色にのみ効果があります。

1.ハンマーディレイの設定に入る

　コンサートチューナー画面（→77ページ）で［メニュー］ボタンを押し、ハンマーディレイの設定ページを選びます。

2-7 ﾊﾝﾏｰﾃﾞｨﾚｲ
= 5

2.ハンマーディレイの設定を変更する

　［設定］ボタンを押して、ハンマーディレイの値を設定します。

　値は1～10、またはオフがあります。「1」がもっともハンマー遅れが小さく、「10」がもっともハンマー遅れが大きくなります。「オフ」の場合はハンマーディレイは発生しません。

2-7 ﾊﾝﾏｰﾃﾞｨﾚｲ
= 5

2-7 ﾊﾝﾏｰﾃﾞｨﾚｲ
= 2

* ハンマーディレイの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* ハンマーディレイの設定内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。（→74ページ）

3.ハンマーディレイの設定を終わる

　2つの［メニュー］ボタンを同時に押すと、ハンマーディレイの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

　または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

2-8 大屋根の開閉

グランドピアノの大屋根の開き具合による音の違いをシミュレートします。

* 大屋根の開閉はピアノ音色にのみ効果があります。

種類	効果
オープン3	大屋根を一番開いた状態を再現します。
オープン2	大屋根を中程度開いた状態を再現します。
オープン1	大屋根を少し開いた状態を再現します。
クローズ	大屋根を閉じた状態を再現します。

1. 大屋根の開閉の設定に入る

コンサートチューナー画面（→77ページ）で［メニュー］ボタンを押し、大屋根の開閉の設定ページを選びます。

2-8 ｵｵﾔﾈｶｲﾍｲ
= ｵｰﾌﾟﾝ3

2. 大屋根の開閉の設定を変更する

［設定］ボタンを押して、大屋根の開閉の設定を選びます。

* 大屋根の開閉の設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* 大屋根の開閉の設定内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。（→74ページ）

2-8 ｵｵﾔﾈｶｲﾍｲ
= ｵｰﾌﾟﾝ3

2-8 ｵｵﾔﾈｶｲﾍｲ
= ｸﾛｰｽﾞ

3. 大屋根の開閉の設定を終わる

2つの［メニュー］ボタンを同時に押すと、大屋根の開閉の設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

2-9 ディケイタイム

鍵盤を弾いたあとの音の減衰の長さを調整します。

1. ディケイタイムの設定に入る

コンサートチューナー画面（→77ページ）で［メニュー］ボタンを押し、ディケイタイムの設定ページを選びます。

```
2-9 ﾃﾞｨｹｲﾀｲﾑ
= 5
```

2. ディケイタイムの設定を変更する

［設定］ボタンを押して、ディケイタイムの値を設定します。

値は1〜10があります。「1」がもっとも減衰が短く、「10」がもっとも減衰が長くなります。

```
2-9 ﾃﾞｨｹｲﾀｲﾑ
= 5
```

```
2-9 ﾃﾞｨｹｲﾀｲﾑ
= 9
```

* ディケイタイムの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* ディケイタイムの設定内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。（→74ページ）
* ディケイタイムの設定は音色ごとに設定可能です。

3. ディケイタイムの設定を終わる

2つの［メニュー］ボタンを同時に押すと、ディケイタイムの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

2-10 ミニマムタッチ

ピアノによって、一番小さい音が出るタッチの強さは異なります。ミニマムタッチは、この一番小さい音がでるタッチの強さを設定することができます。

* ミニマムタッチは、ピアノ音色、クラシック E. ピアノ、60'sエレクトリックピアノ、クラシック E. ピアノ 2、クラシック E. ピアノ 3に効果があります。

1. ミニマムタッチの設定に入る

コンサートチューナー画面（→77ページ）で［メニュー］ボタンを押し、ミニマムタッチの設定ページを選びます。

```
2-10 ミニマムタッチ
= 1
```

2. ミニマムタッチの設定を変更する

［設定］ボタンを押して、ミニマムタッチの値を設定します。

値は1～20があります。「1」がもっともミニマムタッチが小さく、非常に弱いタッチでも音がでます。「20」がもっともミニマムタッチが大きくなり、非常に弱いタッチだと音が出なくなります。

```
2-10 ミニマムタッチ
= 1
```

```
2-10 ミニマムタッチ
= 9
```

* ミニマムタッチの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* ミニマムタッチの設定内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。（→74ページ）

3. ミニマムタッチの設定を終わる

2つの［メニュー］ボタンを同時に押すと、ミニマムタッチの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

2-11 音律の設定

CN350GPではピアノの調律法として最も一般的な平均律だけでなく、ルネッサンス、バロック等の時代に用いられた古典音律にも設定することができます。

■ 音律の種類

音律名	音律の説明
平均律 （Equal）	平均律です。どのように移調しても和音の響きが変らないという特徴があります。
純正律〈長調/短調〉 （Pure Major/minor）	3度と5度のうなりをなくした調律法で、合唱音楽では現在でも随所にこの音律に基づいた演奏が行われています。 純正律は、長調と短調で異なります。長調と同様の効果を短調でも得られます。
ピタゴラス音律 （Pythagorean）	5度のうなりをなくした調律法で、和音よりもメロディーを演奏すると非常に美しいのが特徴です。
中全音律 （Meantone）	3度のうなりをなくした調律法で純正律の特徴の5度が著しく不協和であることを改良したもので、平均律よりも和音が美しく響きます。
ヴェルクマイスター第Ⅲ法 （Werkmeister） キルンベルガー第Ⅲ法 （Kirnberger）	調号の少ない調は、和音の美しい中全音律に近く、調号が増えるに従って、緊張感が高く、メロディーが美しいピタゴラス音律に近づけていくもので、古典音楽の作曲家の意図した"調性の性格"を反映することのできる調律法です。
ユーザー音律 （USER）	オリジナルの音律を設定できます。

1. 音律の設定に入る

　コンサートチューナー画面（→77ページ）で［メニュー］ボタンを押し、音律の設定ページを選びます。

2-11 ｵﾝﾘﾂ ｾｯﾃｲ
= ﾍｲｷﾝﾘﾂ

2. 音律の設定を変更する

　［設定］ボタンを押して、音律の設定を選びます。

* 音律の設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* 音律の設定内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。（→74ページ）

2-11 ｵﾝﾘﾂ ｾｯﾃｲ
= ﾍｲｷﾝﾘﾂ

2-11 ｵﾝﾘﾂ ｾｯﾃｲ
= ﾁｭｳｾﾞﾝｵﾝﾘﾂ

3. 音律の設定を終わる

　2つの［メニュー］ボタンを同時に押すと、音律の設定が終わりメニューリスト画面に戻ります。

　または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

ストレッチチューニング

ストレッチチューニングとは通常の平均律に比べ低音側は低く、高音側は高くするピアノ特有の調律のことです。CN350GPはそのストレッチチューニングを設定することができます。この機能は音律で平均律が選ばれているときのみ有効な機能です。

1. ストレッチチューニングの設定に入る

コンサートチューナー画面（→77ページ）で［メニュー］ボタンを押し、ストレッチチューニングの設定ページを選びます。

2-11 ストレッチチューニング
= ピアノオンリー

2. ストレッチチューニングの設定を変更する

［設定］ボタンを押して、ストレッチチューニングを選択します。

2-11 ストレッチチューニング
= ピアノオンリー

2-11 ストレッチチューニング
= オフ

設定は「ピアノオンリー」、「オン」、「オフ」があります。
「ピアノオンリー」はピアノ音色が選択されているとストレッチチューニングが効く設定です。

* ストレッチチューニングの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* ストレッチチューニングの設定内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。（→74ページ）

3. ストレッチチューニングの設定を終わる

2つの［メニュー］ボタンを同時に押すと、ストレッチチューニングの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

ストレッチカーブ

　ストレッチカーブではストレッチチューニングでの低音側及び高音側のチューニング幅を選ぶことができます。

　CN350GPはユーザー4種類を含む6種類のストレッチチューニングから選ぶことができます。この機能は音律で平均律が選ばれ、かつストレッチチューニングで「オン」又は「ピアノオンリー」を選んでいるときのみ有効な機能です。

1. ストレッチカーブの設定に入る

　コンサートチューナー画面（→77ページ）で［メニュー］ボタンを押し、ストレッチカーブの設定ページを選びます。

2-11 ｽﾄﾚｯﾁｶｰﾌﾞ
= ﾉｰﾏﾙ

2. ストレッチカーブの設定を変更する

　［設定］ボタンを押して、ストレッチカーブを選択します。

2-11 ｽﾄﾚｯﾁｶｰﾌﾞ
= ﾉｰﾏﾙ

2-11 ｽﾄﾚｯﾁｶｰﾌﾞ
= ﾜｲﾄﾞ

　設定は「ノーマル」、「ワイド」、「ユーザー1～4」があります。「ワイド」にすると低音側はより低く、高音側はより高くなります。

* ストレッチカーブの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* ストレッチカーブの設定内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。（→74ページ）
* ストレッチカーブの設定は音色ごとに設定可能です。

3. ストレッチカーブの設定を終わる

　2つの［メニュー］ボタンを同時に押すと、ストレッチカーブの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

　または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

ユーザーチューニングの設定

ストレッチカーブでユーザー1～4を選択している時に88鍵分のチューニングが設定できます。
この機能は音律で平均律が選ばれているときのみ有効な機能です。

1. ユーザーチューニングの設定に入る

コンサートチューナー画面（→77ページ）で［メニュー］ボタンを押し、ストレッチカーブの設定ページでユーザー1～4を選び、［録音］ボタンを押します。

2-11 ｽﾄﾚｯﾁｶｰﾌﾞ
= ﾕｰｻﾞｰ1 →ﾛｸｵﾝ

ﾕｰｻﾞｰﾁｭｰﾆﾝｸﾞ A0
=0 →ﾃｲｼ

2. ユーザーチューニングを設定する

チューニングしたい鍵盤を押さえ、［設定］ボタンを押して、チューニング値を設定します。

［メニュー］ボタンを押してチューニングする鍵盤を選ぶこともできます。

値は-50セント～+50セントまで設定できます。

ﾕｰｻﾞｰﾁｭｰﾆﾝｸﾞ A0
=0 →ﾃｲｼ

ﾕｰｻﾞｰﾁｭｰﾆﾝｸﾞ C#2
=-4 →ﾃｲｼ

3. ユーザーチューニングの設定を終わる

［再生/停止］ボタンを押すまたは、2つの［メニュー］ボタンを同時に押すと、ユーザーチューニングの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

* ユーザーチューニングの設定は自動的に保存されます。

音律の主音の設定

平均律以外の音律は調号に合わせた音律ですので、音律の主音を設定します。演奏する曲の調号に合わせます。
この機能は平均律以外が選ばれている時のみディスプレイに表示されます。

■ 音律の主音の設定を変更する

音律で平均律以外が選ばれている時に、［メニュー］ボタンを押して、音律の主音の設定ページを選びます。

［設定］ボタンを押して、音律の主音を変更します。

* 音律の主音は、C音からB音の12音の範囲で選びます。

2-11 ｵﾝﾘﾂ ｼｭｵﾝ
= C

2-11 ｵﾝﾘﾂ ｼｭｵﾝ
= F

ユーザー音律の設定

音律でユーザーが選ばれているときのみ、各音のセント値（100セント＝半音）が設定できます。

1. ユーザー音律の設定に入る

コンサートチューナー画面（→77ページ）で［メニュー］ボタンを押し、音律の設定ページでユーザーを選びます。さらに音律の主音を選び、［メニュー］ボタンを押します。

```
2-11ユーザ゛ーオンリツ C
= 0
```

2. 音律のセント値を調整する

［メニュー］ボタンを押して調整する鍵盤を選び、［設定］ボタンを押して、セント値を設定します。

値は-50セント〜+50セントまで設定できます。

```
2-11ユーザ゛ーオンリツ C
= 0
```

```
2-11ユーザ゛ーオンリツ E
= 5
```

* ユーザー音律の設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* ユーザー音律の設定内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。（→74ページ）

3. ユーザー音律の設定を終わる

2つの［メニュー］ボタンを同時に押すと、ユーザー音律の設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

2-12 88鍵ボリューム

88鍵ボリュームでは、88個の鍵盤それぞれのボリューム調整を行う事ができます。

1. 88鍵ボリュームの設定に入る

コンサートチューナー画面（→77ページ）で［メニュー］ボタンを押し、88鍵ボリュームの設定ページを選びます。

```
2-12 88ｹﾝﾎﾞﾘｭｰﾑ
= ｵﾌ
```

2. 88鍵ボリュームを選択する

［設定］ボタンを押して、88鍵ボリュームを選択します。

88鍵ボリュームはユーザー1～4まで4つの設定を持つ事ができます。

```
2-12 88ｹﾝﾎﾞﾘｭｰﾑ
= ｵﾌ
```

```
2-12 88ｹﾝﾎﾞﾘｭｰﾑ
= ﾕｰｻﾞｰ1    →ﾛｸｵﾝ
```

3. ユーザー番号を選択する

［録音］ボタンを押して、88鍵それぞれのボリュームを設定する画面へ移ります。

```
2-12 88ｹﾝﾎﾞﾘｭｰﾑ
= ﾕｰｻﾞｰ1    →ﾛｸｵﾝ
```

```
ﾕｰｻﾞｰﾎﾞﾘｭｰﾑ   A0
= 0          →ﾃｲｼ
```

4. 88鍵ボリュームを設定する

変更したい鍵盤を押さえ、［設定］ボタンを押して、ボリュームの値を設定します。

```
ﾕｰｻﾞｰﾎﾞﾘｭｰﾑ   C#1
=+5          →ﾃｲｼ
```

［メニュー］ボタンを押して変更する鍵盤を選ぶこともできます。

* 88鍵ボリュームの設定は音色ごとに設定可能です。

5. 88鍵ボリュームの設定を終わる

［再生/停止］ボタンを押すまたは、2つの［メニュー］ボタンを同時に押すと、88鍵ボリュームの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

* 88鍵ボリュームの設定は自動的に保存されます。

2-13 ハーフペダルポイント

　ハーフペダルポイントでは、ダンパーペダルにおいてハーフペダルが掛かり始めるポイント（音が伸び始めるポイント）を調整することができます。

1. ハーフペダルポイントの設定に入る

　コンサートトチューナー画面（→77ページ）で［メニュー］ボタンを押し、ハーフペダルポイントの設定ページを選びます。

2-13 Hﾍﾟﾀﾞﾙﾎﾟｲﾝﾄ
= 5

2. ハーフペダルポイントの設定を変更する

　［設定］ボタンを押して、ハーフペダルポイントの値を設定します。

　値は1～10があります。「1」がもっともハーフペダルスタートが早く、「10」がもっとも遅くなります。

* ハーフペダルポイントの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* ハーフペダルポイントの設定内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。（→74ページ）

2-13 Hﾍﾟﾀﾞﾙﾎﾟｲﾝﾄ
= 5

2-13 Hﾍﾟﾀﾞﾙﾎﾟｲﾝﾄ
= 9

3. ハーフペダルポイントの設定を終わる

　2つの［メニュー］ボタンを同時に押すと、ハーフペダルポイントの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

　または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

2-14 ソフトペダルデプス

ソフトペダルデプスでは、ソフトペダルにおいてソフトペダルの効き具合を調整することができます。

1. ソフトペダルデプスの設定に入る

コンサートチューナー画面（→77ページ）で［メニュー］ボタンを押し、ソフトペダルデプスの設定ページを選びます。

2-14 Sﾍﾟﾀﾞﾙﾃﾞﾌﾟｽ
= 5

2. ソフトペダルデプスの設定を変更する

［設定］ボタンを押して、ソフトペダルデプスの値を設定します。

値は1～10があります。「1」がもっともソフトペダルの効きが弱く、「10」がもっとも強くなります。

* ソフトペダルデプスの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* ソフトペダルデプスの設定内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。（→74ページ）

2-14 Sﾍﾟﾀﾞﾙﾃﾞﾌﾟｽ
= 5

2-14 Sﾍﾟﾀﾞﾙﾃﾞﾌﾟｽ
= 9

3. ソフトペダルデプスの設定を終わる

2つの［メニュー］ボタンを同時に押すと、ハーフペダルポイントの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

キーセッティング

キーセッティングではデュアル演奏やスプリット演奏時における、音色のオクターブ設定やダンパーの設定を行います。

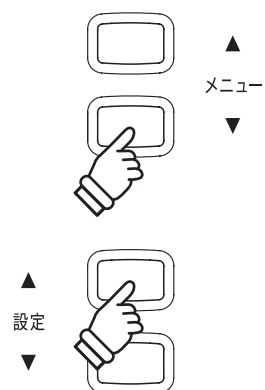
■ キーセッティングの内容

ページ	種類	説明	初期設定
3-1	ロワーオクターブ	スプリット演奏時、低音側の鍵盤のピッチをオクターブ単位で上げます。	0
3-2	ロワーペダル	スプリット演奏時、低音側の鍵盤のペダル機能をオン/オフします。	オフ
3-3	レイヤーオクターブ	デュアル演奏時、重ねる音色のピッチをオクターブ単位で上げ下げします。	0
3-4	レイヤーダイナミクス	デュアル演奏時、重ねる音色のタッチ変化を調整します。	10

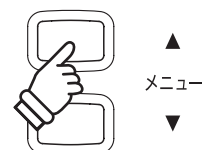
■ キーセッティングへ入る

メニューリスト画面に入った後、［メニュー］ボタンを押して「キーセッティング」を選びます。

3 ｷｰ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ
→ｾｯﾃｲ▲

［設定▲］ボタンを押すと、「キーセッティング」の設定画面へ入ります。

■ 変更したい項目を選ぶ

キーセッティング画面で［メニュー］ボタンを押し、変更したい項目を選びます。

様々な設定を操作する

3-1 ロワーオクターブシフト

ロワーオクターブシフトとは、スプリット演奏時に低音側鍵盤の音域をオクターブ単位で移動することです。

1. ロワーオクターブシフトの設定に入る

キーセッティング画面（→96ページ）で［メニュー］ボタンを押し、ロワーオクターブシフトの設定ページを選びます。

3-1 ﾛﾜｰ ｵｸﾀｰﾌﾞ
= 0

2. ロワーオクターブシフトの設定を変更する

［設定］ボタンを押して、ロワーオクターブシフトを設定します。

* 低音側の鍵盤のピッチを3オクターブまで上げることができます。
* ロワーオクターブシフトの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* ロワーオクターブシフトの設定内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。（→74ページ）

3-1 ﾛﾜｰ ｵｸﾀｰﾌﾞ
= 0

3-1 ﾛﾜｰ ｵｸﾀｰﾌﾞ
= +3

3. ロワーオクターブシフトの設定を終わる

2つの［メニュー］ボタンを同時に押すと、ロワーオクターブシフトの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

3-2 ロワーペダルのON/OFF

スプリット演奏時にペダルを使用した際、低音側鍵盤の音にペダル機能のオン/オフを設定できます。高音側鍵盤のペダル機能は常にオンとなります。

■ ロワーペダルの設定

種類	内容
オフ（初期設定）	低音側鍵盤の音にはペダル機能が働かず、高音側鍵盤の音にのみペダル機能が働きます。
オン	ペダルを踏んで演奏したときに低音側鍵盤の音にもペダル機能が働きます。

1. ロワーペダルの設定に入る

キーセッティング画面（→96ページ）で［メニュー］ボタンを押し、ロワーペダルの設定ページを選びます。

3-2 ﾛﾜｰ ﾍﾟﾀﾞﾙ
= ｵﾌ

2. ロワーペダルの設定を変更する

［設定］ボタンを押して、ロワーペダルをオン/オフします。

* ロワーペダルの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* ロワーペダルの設定内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。（→74ページ）

3-2 ﾛﾜｰ ﾍﾟﾀﾞﾙ
= ｵﾌ

3-2 ﾛﾜｰ ﾍﾟﾀﾞﾙ
= ｵﾝ

3. ロワーペダルの設定を終わる

2つの［メニュー］ボタンを同時に押すと、ロワーペダルの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

3-3 レイヤーオクターブシフト

　レイヤーオクターブシフトとはデュアル演奏で2つの音色を重ねて弾くときに、片側の音色(レイヤー音色：ディスプレイの 2 行目に表示されている音色)の音域をオクターブ単位で移動することです。

　例えば「コンサートグランドピアノ1」と「ストリングアンサンブル」をデュアルで重ねて演奏するときに、ストリングアンサンブルの音色だけをオクターブ上げて(あるいは下げて)演奏することができます。

1. レイヤーオクターブシフトの設定に入る

　キーセッティング画面(→96ページ)で[メニュー]ボタンを押し、レイヤーオクターブシフトの設定ページを選びます。

```
3-3 レイヤー オクターブ
= 0
```

2. レイヤーオクターブシフトの設定を変更する

　[設定]ボタンを押して、レイヤーオクターブシフトを設定します。

* レイヤー音色のピッチを上下2オクターブまで変更することができます。
* レイヤーオクターブシフトの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* レイヤーオクターブシフトの設定内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。(→74ページ)

```
3-3 レイヤー オクターブ
= 0
```

```
3-3 レイヤー オクターブ
= +2
```

3. レイヤーオクターブシフトの設定を終わる

　2つの[メニュー]ボタンを同時に押すと、レイヤーオクターブシフトの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

　または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

3-4 レイヤーダイナミクス

レイヤーダイナミクスとはデュアル演奏で2つの音色を重ねて弾くときに、片側の音色（レイヤー音色：ディスプレイの 2 行目に表示されている音色）のタッチ変化の仕方を調整することです。

例えば、「コンサートグランドピアノ1」と「ストリングアンサンブル」をデュアルで重ねて演奏するときに、通常の設定ではどちらの音色も同じように強弱が変化しますが、「ストリングアンサンブル」のタッチ変化の度合いを少なくすることにより、ダイナミックなピアノ音色をより強調した演奏をすることができます。

1. レイヤーダイナミクスの設定に入る

キーセッティング画面（→96ページ）で［メニュー］ボタンを押し、レイヤーダイナミクスの設定ページを選びます。

```
3-4 ﾚｲﾔｰ ﾀﾞｲﾅﾐｸｽ
= 10
```

2. レイヤーダイナミクスの設定を変更する

［設定］ボタンを押して、レイヤーダイナミクスの設定を選びます。

* レイヤーダイナミクスは、オフ、1～10の範囲で調節できます。
* レイヤーダイナミクスの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* レイヤーダイナミクスの設定内容は、スタートアップセッティングに保存することができます。（→74ページ）

```
3-4 ﾚｲﾔｰ ﾀﾞｲﾅﾐｸｽ
= 10
```

```
3-4 ﾚｲﾔｰ ﾀﾞｲﾅﾐｸｽ
= 5
```

3. レイヤーダイナミクスの設定を終わる

2つの［メニュー］ボタンを同時に押すと、レイヤーダイナミクスの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

電源オン / オフの設定

4-1 電源セッティング

CN350GPでは、何も動作していない状態が続いた場合、電源を自動で切る設定を行うことができます。

■ 電源セッティングの設定内容

種類	内容
オフ	電源が切れない設定です。初期値はオフに設定されています。
30min	30分何も動作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。
60min	60分何も動作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。
120min	120分何も動作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。

1. 電源セッティングの設定に入る

メニューリスト画面に入った後、[メニュー]ボタンを押して「デンゲンセッティング」を選びます。

[設定▲]ボタンを押すと、「デンゲンセッティング」の設定画面へ入ります。

オートパワーオフの設定ページが表示されます。

```
5 デンゲン セッティング
          →セッテイ▲
```

2. 電源セッティングの設定を変更する

[設定]ボタンを押して、オートパワーオフの設定を変更します。

```
5-1 オートパワーオフ
= オフ
```

```
5-1 オートパワーオフ
= 60 min.
```

3. 電源セッティングの設定を終わる

2つの[メニュー]ボタンを同時に押すと、オートパワーオフの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

他の機器との接続

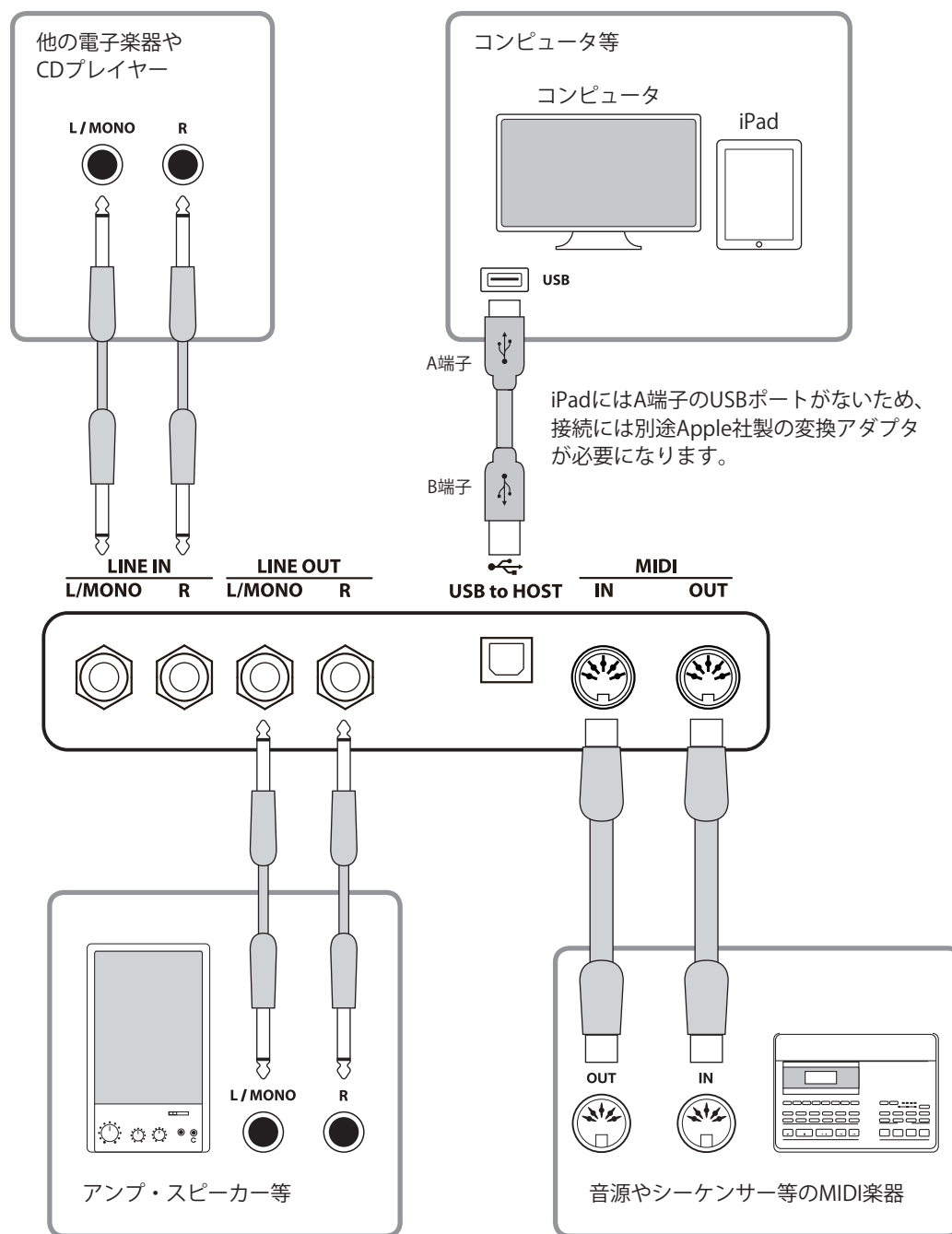
CN350GPの本体底面には、MIDI機器、コンピューター、スピーカー、およびミキサーと接続することができる各種の端子を搭載しています。また、外部のオーディオのソース（MP3プレーヤー、タブレット機器、CDプレーヤーなど）をCN350GPのスピーカーシステムと接続することができます。下図は、代表的な接続例です。

他の電子楽器や
CDプレイヤー
L / MONO R

コンピュータ等
コンピュータ
iPad
USB
A端子
B端子
iPadにはA端子のUSBポートがないため、
接続には別途Apple社製の変換アダプタ
が必要になります。

LINE IN
L/MONO R
LINE OUT
L/MONO R
USB to HOST
MIDI
IN OUT

L / MONO R
アンプ・スピーカー等

OUT IN
音源やシーケンサー等のMIDI楽器

- 他の機器と接続する時はCN350GPの電源を切ってから行ってください。電源が入っている時に行うとノイズ音が発生し、アンプの保護回路が働き音が出なくなることがあります。出なくなった場合はもう一度電源を入れ直して下さい。

- CN350GPのラインイン（LINE IN）とラインアウト（LINE OUT）を直接ケーブルで接続しないで下さい。発振音が発生し、故障の原因になります。

- 過大入力が入らないようにご注意ください。過大入力は故障の原因になります。

■ USBドライバーについて

コンピュータとデジタルピアノをUSB接続してデータをやりとりするためには、デジタルピアノを正しく動作させるためのソフトウェア（USB-MIDIドライバー）がコンピュータに組み込まれている必要があります。
お使いのコンピュータのOSによって使用するUSB-MIDIドライバーが異なりますので、下記の説明をよく読んでお使いください。

OS	
Windows ME Windows XP（SPなし, SP1, SP2, SP3） Windows XP 64-bit Windows Vista（SP1, SP2） Windows Vista 64-bit（SP1, SP2） Windows 7 Windows 7 64-bit Windows 8 Windows 8 64-bit Windows 8.1 Windows 8.1 64-bit	Windowsに搭載されている標準USB-MIDIドライバーを使用しますので、パソコンと接続すると自動的にこのUSB-MIDIドライバーがインストールされます。アプリケーションソフトで本機とMIDI通信する場合はMIDIデバイスとしてWindows ME / XP / XP 64bitの場合は「USBオーディオデバイス」を、Windows Vista / Vista 64-bit / 7 / 7 64-bit / 8 / 8 64-bit / 8.1 / 8.1 64-bitの場合は「USB-MIDI」を指定してください。
Windows 98 SE Windows 2000 Windows Vista（SPなし）	指定の専用USB-MIDIドライバーをコンピュータに追加する必要があります。下記のカワイホームページより専用USBドライバーをダウンロードしコンピュータにインストールしてください。*Windows Vistaの場合は必ずXP互換モードでインストールしてください。 **http://www.kawai.co.jp/download_demo/driver/** ・パソコンと接続する前に説明書をよく読んで、必ずインストール作業を行ってください。この作業を行わずに接続すると、USB-MIDIドライバーが動作しない場合があります。万一動作しなくなった場合は、OSの「ドライバーの更新」機能によって正しいUSB-MIDIドライバーをインストールするか、「ドライバーの削除」で削除してからインストール作業をやり直してください。 ・アプリケーションソフトで本機とMIDI通信する場合はMIDIデバイスとして「KAWAI USB MIDI IN」、及び「KAWAI USB MIDI OUT」を指定してください。
Windows Vista 64-bit（SPなし）	USB-MIDIをサポートしておりません。SP1、またはSP2にアップグレードをしてください。
Macintosh OS X	Macintosh OS Xでは自動的にUSB-MIDIデバイスとして認識されますので、特別なドライバーは必要ありません。アプリケーションソフトで本機とMIDI通信する場合は「USB-MIDI」を指定してください。
OS9以前のMacintosh	OS9以前のMacintoshにはサポートしておりません。市販のMIDIインターフェイスを使用して、MIDI接続してください。

■ iPadについて

CN350GPはiPadと接続し、楽器に対応したiPadアプリケーションを使ってお楽しみいただけます。
ご使用の前に、下記のカワイホームページよりiPad、各アプリケーションの最新の対応状況・動作環境情報を必ずご確認ください。

http://www.kawai.co.jp

■ USBに関するご注意

MIDIとUSBが同時に接続された場合、USBが優先されます。
デジタルピアノとコンピュータをUSBケーブルで接続する場合は、まずUSBケーブルを接続してからデジタルピアノの電源を入れてください。
デジタルピアノとコンピュータをUSB接続した場合、通信を開始するまでしばらく時間がかかることがあります。
デジタルピアノとコンピュータをハブ経由で接続し動作が不安定な場合は、コンピュータのUSBポートに直接接続してください。
下記の動作中、デジタルピアノの電源オン / オフ、USBケーブルの抜き差しを行うと、コンピュータやデジタルピアノの動作が不安定になる場合があります。 **「ドライバーのインストール中」「コンピュータの起動中」「MIDIアプリケーションが動作中」「コンピュータと通信中」「省電力モードで待機中」**
お使いのコンピュータの設定によっては、USBが正常に動作しない場合があります。ご使用になるコンピュータの取扱説明書をよくお読みの上、適切な設定を行ってください。

* “MIDI”は、社団法人音楽電子事業協会（AMEI）の登録商標です。

* Windowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。

* MacintoshとiPadは、Apple Computer.Inc.の登録商標です。

* その他、本取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

付録

困ったときは？

	症状	考えられる原因と解決方法	参照ページ
電源	電源が入らない	電源コードが正しく接続されていますか？ コンセント側と本体側の両方をご確認ください。 接続されていても、抜けかかっていることがあります。 一度抜いて接続しなおしてみてください。	P. 10
	電源が突然切れた	「オートパワーオフ」機能が設定されていませんか？ （「電源セッティング」をご確認ください。）	P. 101
発音	電源が入っているのに、音が出ない	音量が0になっていませんか？	P. 12
		ヘッドホンが接続されていませんか？	P. 12
		ローカルコントロールがオフになっていませんか？	『CN350GP MIDI 設定マニュアル』P. 5
	特定の演奏、特定の音域で音が歪む	音量を大きくすると、演奏によっては音が歪む場合があります。その場合、音量を小さくして使用してください。 ラインアウト端子を使って外部ミキサー等を使用している場合は、ベーシックセッティングの「ラインアウト音量」の設定を、使用する外部機器に合わせて調節してください。	P. 69
	特定のピアノ音色で音程や音質がおかしい	内蔵のピアノ音色は、ピアノ本来の音を可能な限り忠実に再現しています。ピアノ音は複雑な響きを持っているため、聴く位置や環境によって音の感じ方が変わります。また単音で強打した場合と曲の流れの中で弾いた場合でも音の感じ方は変わります。そのため音域によっては倍音が強く聴こえ、音程や音質が異質に感じられる場合があります。これは異常ではありません。 音程や音質が気になる場合は次の項目を調整してみてください。	
		トーンコントロール	P. 64
		ストレッチカーブ	P. 90
		88鍵ボリューム	P. 93
ペダル	高音でダンパーが効かない	ピアノにおいて、鍵盤G6(ソ)から最高音のC8（ド）には、″ダンパー″という止音装置が付いておりません。CN350GPではその機構を忠実に再現しているため、その鍵盤についてはダンパーペダルを踏んでも踏まなくても音が伸びますので、その場合は故障ではありません。	–
ヘッドホン	ヘッドホンの音量が小さい	ご使用のヘッドホンの仕様をご確認の上、ヘッドホンのインピーダンスが100Ω以下の場合は、ベーシックセッティングの「ヘッドホン音量」を、「オオキイ」に設定してください。	P. 68
USB	USBメモリーが認識されない、または動作しない	動作確認されているUSBメモリーをご使用下さい。（弊社ホームページから使用できるUSB装置を確認出来ます。）	P. 54
	USBメモリーを挿したとき、しばらく時間がかかる	8Gバイト以上などの大容量のUSBメモリーを挿したとき、認識に時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。	P. 54
MP3／WAV／SMFオーディオ	曲（MP3,WAVE）を再生しても音が出ない	USB AUDIO PLAYERの音量が1になっていませんか？	P. 46
		再生不可能なデータフォーマットである可能性があります。″オーディオ再生フォーマット仕様″の表をご確認ください。	P. 46
	USBメモリーに保存されている曲が再生できない	再生不可能なデータフォーマットである可能性があります。″オーディオ再生フォーマット仕様″の表をご確認ください。	P. 46
		お使いのUSBメモリーの転送スピードが、オーディオファイル再生には不十分な可能性があります。USB2.0Hi-Speed規格に対応した他のUSBメモリーをお試しください。	P. 54
	MP3/WAVで録音したオーディオファイルの音量が小さすぎる、または大きすぎる（歪んでいる）	ベーシックセッティングの「オーディオ録音レベル」の設定を調節してください。	P. 70

音色デモ曲一覧

■ デモ曲

音色名	曲名	作曲者名
コンサートピアノ		
コンサートグランド 1	夢想	ドビュッシー
コンサートグランド 2	英雄ポロネーズ	ショパン
コンサートグランド 3	トルコ行進曲	モーツァルト
スタジオピアノ		
スタジオグランド 1	オリジナル	カワイ
スタジオグランド 2	オリジナル	カワイ
スタジオグランド 3	オリジナル	カワイ
スタジオグランド 4	オリジナル	カワイ
メロウピアノ		
メロウグランド 1	愛の夢	リスト
メロウグランド 2	トロイメライ	シューマン
メロウグランド 3	エリーゼのために	ベートーベン
ジャズピアノ		
ジャズグランド 1	オリジナル	カワイ
ジャズグランド 2	オリジナル	カワイ
ジャズグランド 3	エンターティナー	ジョプリン
ポップピアノ		
ポップグランド 1	オリジナル	カワイ
ポップグランド 2	オリジナル	カワイ
ポップグランド 3	オリジナル	カワイ
エレクトリックピアノ		
クラシックE.ピアノ	オリジナル	カワイ
モダンE.ピアノ	オリジナル	カワイ
ストリングス		
スローストリングス	オリジナル	カワイ
シンセストリングス	オリジナル	カワイ
ストリングアンサンブル	四季“春”	ヴィヴァルディ
サウンドコレクション		
ジャズオルガン	オリジナル	カワイ
ブルースオルガン	オリジナル	カワイ
ドローバーオルガン	オリジナル	カワイ
チャーチオルガン	コラール前奏曲“目覚めよ、と呼ぶ声あり”	バッハ
ディアパソン	主よ人の望みの喜びよ	バッハ
フルアンサンブル	オリジナル	カワイ
ハープシコード	フランス組曲第6番	バッハ
ビブラフォン	オリジナル	カワイ
クラビ	オリジナル	カワイ
クワイア 1	ロンドンデリーの歌	アイルランド民謡
クワイア 2	オリジナル	カワイ
ファンタジー	オリジナル	カワイ
ウッドベース	オリジナル	カワイ
フレットレスベース	オリジナル	カワイ
W. ベース＆シンバル	オリジナル	カワイ

クラシカルピアノコレクション曲一覧

■ クラシカルピアノコレクション

ナンバー	曲名	作曲者
1	タンブラン	ラモー
2	調子のよいかじ屋	ヘンデル
3	メヌエットト長調（BWV.Anh.114）	バッハ
4	メヌエットト短調（BWV.Anh.115）	
5	メヌエットト長調（BWV.Anh.116）	
6	かっこう	ダカン
7	ガヴォット	ゴセック
8	メヌエット	ボッケリーニ
9	主題と変奏「ピアノ・ソナタ第11番K.331」より第1楽章	モーツァルト
10	トルコ行進曲「ピアノ・ソナタ第11番K.331」より第3楽章	
11	メヌエット	
12	ピアノ・ソナタ「月光」より第1楽章	ベートーベン
13	ピアノ・ソナタ「悲愴」より第2楽章	
14	エリーゼのために	
15	ロンド・ファヴォリ	フンメル
16	即興曲　作品90の4	シューベルト
17	楽興の時　作品94の3	
18	間奏曲	
19	即興曲　作品142の3	
20	歌の翼に	メンデルスゾーン
21	春の歌	
22	ロンド・カプリッチョーソ	
23	別れの曲	ショパン
24	雨だれの前奏曲	
25	子犬のワルツ	
26	ノクターン第2番	
27	幻想即興曲	
28	軍隊ポロネーズ	
29	英雄ポロネーズ	

リスニングコレクション/レッスン曲集一覧

■ リスニングコレクション

ナンバー	曲名	作曲者
1	G線上のアリア	バッハ
2	平均律クラヴィーア曲集第1巻より　“プレリュードハ長調”	
3	フランス組曲　第1番より　”アルマンド”	
4	フランス組曲　第3番より　”アルマンド”	
5	フランス組曲　第5番より　”アルマンド”	
6	フランス組曲　第5番より　”ガヴォット”	
7	フランス組曲　第6番より　”アルマンド”	
8	イギリス組曲　第3番より　”ガヴォット”	
9	ピアノソナタ第28番イ長調 Op.101　第1楽章	ベートーベン
10	ピアノソナタ第14番　“月光”　第1楽章	
11	ピアノソナタ第14番　“月光”　第2楽章	
12	ピアノソナタ第8番　“悲愴”　第2楽章	
13	6つの小品Op.118より　第2番 間奏曲 イ長調	ブラームス
14	ワルツ集 Op39より　第15番 変イ長調	
15	ベルガマスク組曲より　“月の光”	ドビュッシー
16	ベルガマスク組曲より　“前奏曲”	
17	夢想	
18	3つの無言歌Op.17より　第3番 変イ長調	フォーレ
19	ノクターン第10番 ホ短調	フィールド
20	ノクターン第5番 変ロ長調	
21	無言歌集 第1巻より　“甘い思い出”　Op.19b-1	メンデルスゾーン
22	無言歌集 第8巻より　“そよぐ風”　Op.102-4	
23	ピアノソナタ イ長調　「トルコ行進曲付き」 K331 第1楽章	モーツァルト
24	ピアノソナタ ハ長調　K545 第3楽章	
25	ピアノソナタ ト長調　K283 第1楽章	
26	ピアノソナタ ト長調　K283 第2楽章	
27	ピアノソナタ ト長調　K283 第3楽章	
28	ピアノソナタ ヘ長調　K547a 第2楽章	
29	アヴェ・マリア	シューベルト
30	謝肉祭より　“ショパン”	シューマン
31	謝肉祭より　“コケット”	
32	謝肉祭より　返事(応答)ースフィンクス	
33	幻想小曲集 Op.12より　“夕べに”	
34	子供の情景 Op.15より　“おねだり”	
35	子供の情景 Op.15より　“トロイメライ”	
36	子供の情景 Op.15より　“怖がらせ”	
37	子供の情景 Op.15より　“見知らぬ国と人びとについて”	
38	子供の情景 Op.15より　“満足”	
39	子供の情景 Op.15より　“むきになって”	
40	子供の情景 Op.15より　“眠っている子供”	
41	四季より　“舟歌”(6月)	チャイコフスキー
42	くるみ割り人形より　”アラビアの踊り”	

■ レッスン曲集

1. バイエルピアノ教則本　全曲(ただし予備練習、付録を除く)(カワイ出版)
2. ブルクミュラー25の練習曲　全曲　(カワイ出版)
3. チェルニー100番練習曲　全曲　(カワイ出版)
4. チェルニー30番練習曲　全曲　(カワイ出版)

各音色に対応する送受信プログラムナンバー一覧

音色名	マルチティンバーオフ、オン1の時	マルチティンバー2の時		
	プログラムナンバー	プログラムナンバー	バンクMSB	バンクLSB
コンサートピアノ				
コンサート グランド1	1	1	121	0
コンサート グランド2	2	1	95	16
コンサート グランド3	3	2	95	8
スタジオピアノ				
スタジオ グランド1	4	1	121	1
スタジオ グランド2	5	1	95	17
スタジオ グランド3	6	2	121	1
スタジオ グランド4	7	2	121	0
メロウピアノ				
メロウ グランド1	8	1	121	2
メロウ グランド2	9	1	95	18
メロウ グランド3	10	2	95	9
ジャズピアノ				
ジャズ グランド1	11	1	95	8
ジャズ グランド2	12	1	95	19
ジャズ グランド3	13	4	121	0
ポップピアノ				
ポップ グランド1	14	2	95	10
ポップ グランド2	15	2	95	13
ポップ グランド3	16	2	95	14
エレクトリックピアノ				
クラシック E.ピアノ	17	5	121	0
モダン E.ピアノ	18	6	121	0
60's E.ピアノ	19	5	121	3
クリスタル E.ピアノ	20	6	95	1
ストリングス				
スロー ストリングス	21	45	95	1
メロウ ストリングス	22	49	95	1
シンセ ストリングス	23	49	95	8
ストリング アンサンブル	24	49	121	0
サウンドコレクション				
ジャズ オルガン	25	18	121	0
ブルース オルガン	26	17	121	0
ドローバー オルガン	27	17	95	1
チャーチ オルガン	28	20	121	0
ディアパソン	29	20	95	7
フル アンサンブル	30	21	95	1
ハープシコード	31	7	121	0
ビブラホン	32	12	121	0
クラビ	33	8	121	0
クワイア 1	34	53	121	0
クワイア 2	35	54	95	53
ファンタジー	36	89	121	0
ウッド ベース	37	33	121	0
エレクトリック ベース	38	34	121	0
フレットレス ベース	39	36	121	0
W.ベース & シンバル	40	33	95	1

リズム一覧

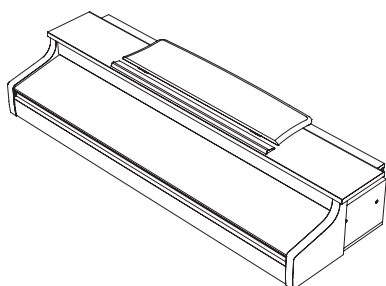
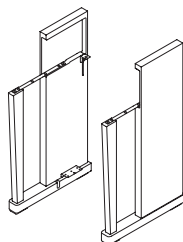
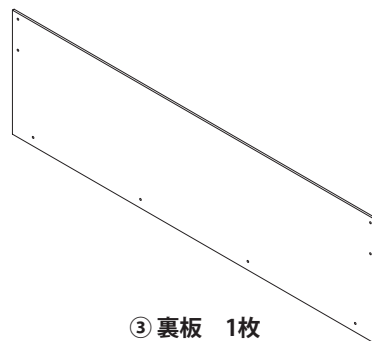
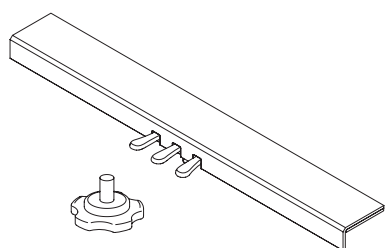
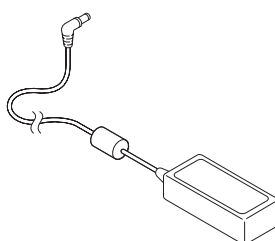
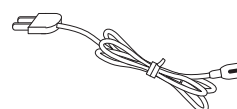
No.	リズム名
1	8ビート 1
2	8ビート 2
3	8ビート 3
4	16ビート 1
5	16ビート 2
6	16ビート 3
7	16ビート 4
8	16ビート 5
9	16ビート 6
10	ロック ビート 1
11	ロック ビート 2
12	ロック ビート 3
13	ハード ロック
14	ヘヴィ ビート
15	サーフ ロック
16	2ndライン
17	50ウェイズ
18	バラード 1
19	バラード 2
20	バラード 3
21	バラード 4
22	バラード 5
23	ライト ライド 1
24	ライト ライド 2
25	スムース ビート
26	リム ビート
27	スロー ジャム
28	ポップ 1
29	ポップ 2
30	エレクトロ ポップ 1
31	エレクトロ ポップ 2
32	ライド ビート 1
33	ライド ビート 2
34	ライド ビート 3
35	ライド ビート 4
36	スリップ ビート
37	ジャズ ロック
38	ファンキー ビート 1
39	ファンキー ビート 2
40	ファンキー ビート 3
41	ファンキー 1
42	ファンキー 2
43	ファンキー 3
44	ファンク シャッフル 1
45	ファンク シャッフル 2
46	バズ ビート
47	ディスコ 1
48	ディスコ 2
49	ヒップ ホップ 1
50	ヒップ ホップ 2

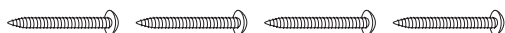
No.	リズム名
51	ヒップ ホップ 3
52	ヒップ ホップ 4
53	テクノ 1
54	テクノ 2
55	テクノ 3
56	ヘヴィ テクノ
57	8シャッフル 1
58	8シャッフル 2
59	8シャッフル 3
60	ブギ
61	16シャッフル 1
62	16シャッフル 2
63	16シャッフル 3
64	Tシャッフル
65	トリプレット 1
66	トリプレット 2
67	トリプレット 3
68	トリプレット 4
69	トリプレット バラード 1
70	トリプレット バラード 2
71	トリプレット バラード 3
72	モータウン 1
73	モータウン 2
74	ライド スウィング
75	H.H. スウィング
76	ジャズ ワルツ 1
77	ジャズ ワルツ 2
78	5/4スウィング
79	タム スウィング
80	ファースト 4ビート
81	H.H. ボサノバ
82	ライド ボサノバ
83	ビギン
84	マンボ
85	チャ チャ
86	サンバ
87	ライト サンバ
88	スルド サンバ
89	ラテン グルーブ
90	アフロ キューバン
91	ソンゴ
92	ベンベ
93	アフリカン ベンベ
94	メレンゲ
95	レゲエ
96	タンゴ
97	ハバネラ
98	ワルツ
99	ラグタイム
100	カントリー&ウエスタン

CN350GPの組み立て方

組立作業は必ず2人で行ってください。
本機を移動するときは、水平に持ち上げるようにし、手をはさんだり、足の上に落とさないよう十分注意してください。

■ 部品の確認

組み立てる前に、部品がそろっていることを確認してください。また、＋ドライバーをご用意下さい。

① 本体　**② 側板　2枚（左右）**　**③ 裏板　1枚**

④ ペダル土台　1個／ペダルアジャスター　1個　**⑤ ACアダプター　1個**　**⑥ 電源コード　1本**

⑦ ネジ（平ワッシャー・スプリングワッシャー付き）　4本

⑧ タッピングネジ（黒長）4本

⑨ タッピングネジ（黒中）4本

⑩ タッピングネジ（銀短）4本

⑪ ヘッドホンフックセット　1セット

付録

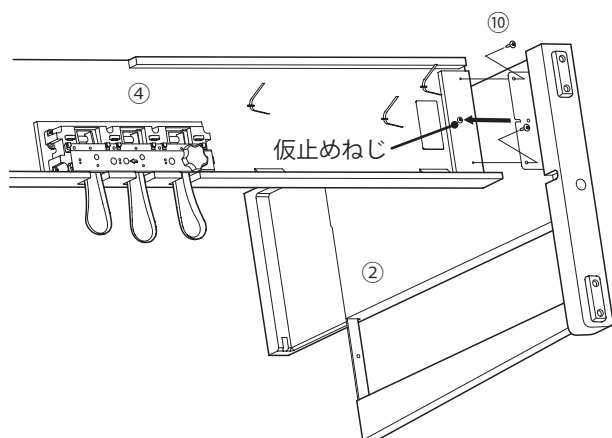
次のページへ→

CN350GPの組み立て方

1.「②側板」と「④ペダル土台、アジャスター」を組み立てる

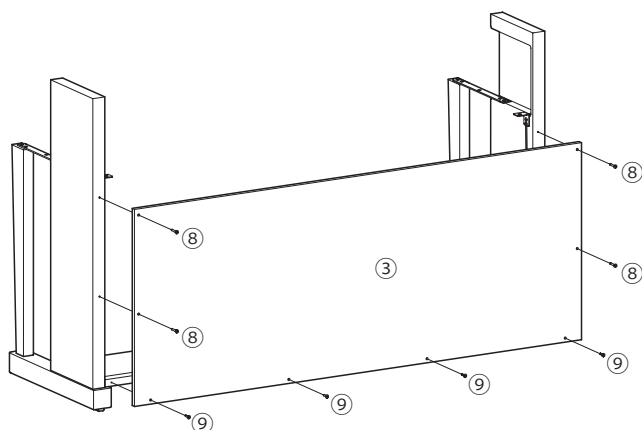
「④ペダル土台」に結ばれているペダル接続コード(1箇所のみ)をほどいて、ペダル接続コードを引き出しておいてください。

「④ペダル土台」に仮止めされているネジを側板の金属の溝にはめ込み、「②側板」とペダル土台をぴったりと押しあてて仮止めねじを締めます。「②側板」は、左右あるので組み合わせに注意してください。残りのネジ穴に先の尖った銀色のネジ⑩で固定します。

ここがポイント！
・側板(左／右)とペダル土台をしっかり密着させて下さい。

2.「③裏板」を固定する

ペダル土台を下向きにして起こします。

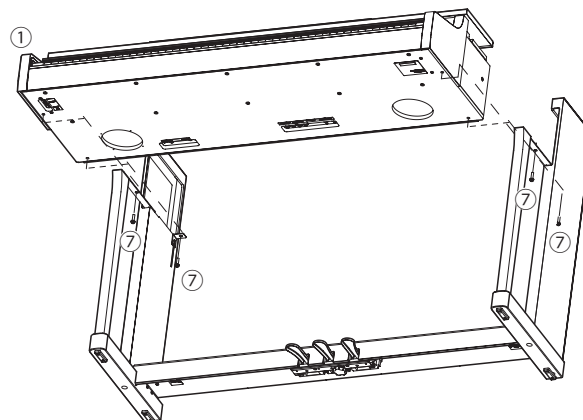
このとき、床に楽譜や部品がないことを確認ください。

「③裏板」を「②側板」に取り付けます。「⑧タッピングネジ(黒長)」で裏板上部を固定します。次に４本の「⑨タッピングネジ(黒中)」で下部を固定します。この時、側板と裏板にスキがないように密着させて取り付けてください。

3.「①本体」と「②側板」を組み合わせる

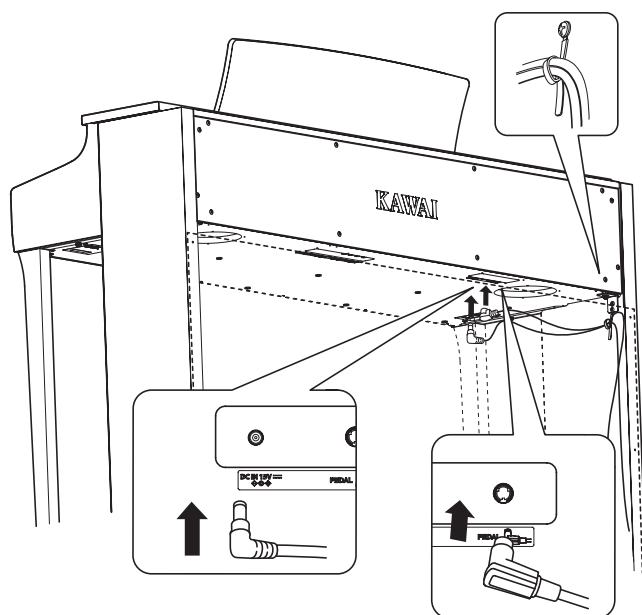
組み立てた側板を壁にそわせ、スタンドが後ろに動かないようにし、２人以上で十分注意しながら、「①本体」をゆっくりスライドして入れます(側板を壁に沿わせずに「①本体」を挿入する場合は、側板が後方に動かないよう、足で押さえながら作業してください)。

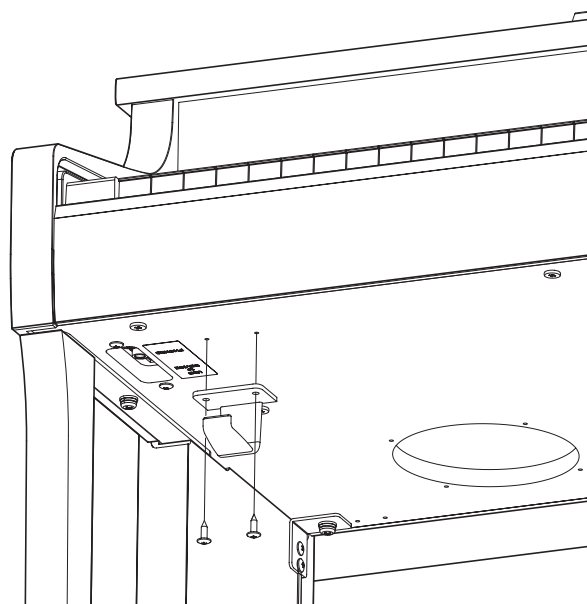
本体とスタンドの間で手をはさまないよう注意してください。

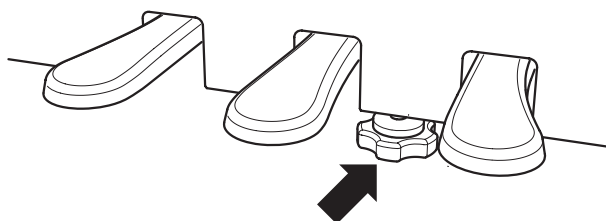
本体と側板を「⑦ネジ(平ワッシャー・スプリングワッシャー付き)」4本で固定します。
まず、ネジを軽く締めて、４本のネジがすべてまっすぐ入るように本体の位置を調整してから、きちんとネジを締めるようにしてください。この時、スプリングワッシャーがつぶれるまでしっかり締めてください。

付録

4. コード類を接続する

ペダル土台から出ているペダル接続コードを本体のペダル端子に差し込み、コードが適当な位置になるような場所にコード類をコードクランプで固定します。「⑤ACアダプター」の端子をAC INに差込み、裏板上の隙間よりプラグを後ろに通してください。

ここがポイント！
- **端子部の向きに注意して下さい。**
- **コネクターはまっすぐ差し込んで下さい。無理に押し込むと故障の 原因になります。**

5. ヘッドホンフックを取り付ける

ヘッドホンフックは同じ袋に入っている２本のタッピングネジで図の穴に固定してください。

6. アジャスターを回す

ペダル土台の裏にはめたアジャスターを、床にピッタリ付くまで回してペダル土台を補強します。

アジャスターボルトをしっかり床に付けないとペダル土台が壊れる恐れがあります。
尚、移動の際は、引きずらないで、必ず床から持ち上げて移動してください。

付録

CN350GP仕様

鍵盤	88鍵　レスポンシブ・ハンマー・アクションIII（RH III） アイボリータッチ、レットオフフィール	
音源	プログレッシブ・ハーモニック・イメージング（PHI）　88鍵ステレオサンプリング	
音色	ピアノ：	16音色
	その他：	24音色
同時発音数	最大256音（音色により異なる）	
演奏モード	デュアル、スプリット、4ハンズ（連弾演奏）　*音量バランス調整可	
リバーブ	タイプ：	ルーム、ラウンジ、スモールホール、コンサートホール、ライブホール、カテドラル
エフェクト	タイプ：	ステレオディレイ、ピンポンディレイ、トリプルディレイ、コーラス、クラシックコーラス、トレモロ、 クラシックトレモロ、フェイザー、ロータリー1、ロータリー2、ロータリー3、 コンビネーションエフェクトx2
コンサートチューナー	ボイシング、ダンパーレゾナンス、ダンパーノイズ、ストリングレゾナンス、キーオフエフェクト、キーアクションノイズ、 ハンマーディレイ、大屋根の開閉、ディケイタイム、ミニマムタッチ、ストレッチ/ユーザーチューニング、音律設定、 88鍵ボリューム、ハーフペダルポイント、ソフトペダルデプス	
タッチカーブ	ライト+、ライト、ノーマル、ヘビー、ヘビー+、オフ、ユーザー1/2	
内部レコーダー	2パート x 3ソング、総記憶音数　約90,000音	
USBファンクション	再生：	MP3（ビットレート：8k〜320kbps、サンプリング周波数：44.1kHz，48kHz，32kHz）、 WAV（44.1kHz、16bit）、SMF
	録音：	MP3（ビットレート：192kbps固定、サンプリング周波数：44.1kHz）、 WAV（44.1kHz，16bit）、SMF
	その他：	オーディオ変換、内部ソング セーブ/ロード、SMF セーブ、ファイルリネーム、ファイルデリート、 フォーマット、オーバーダビング
メトロノーム	1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、3/8、6/8、7/8、9/8、12/8拍子、リズム100種類、 *ボリューム/テンポ調整可	
レッスン曲	281曲：	バイエル（126）、ブルクミュラー25（25）、チェルニー100（100）、チェルニー30（30）
デモ曲	全36曲	
ピアノ名曲	全71曲（クラシカルピアノコレクション 29曲 ＋ リスニングコレクション 42曲）	
その他機能	キー/ソングトランスポーズ、トーンコントロール、スピーカー音量、ヘッドホン音量、ラインアウト音量、 オーディオ録音レベル、チューニング、ダンパーホールド、4ハンズ、スタートアップセッティング、ファクトリーリセット、 ロワーオクターブシフト、ロワーペダル、レイヤーオクターブシフト、レイヤーダイナミクス、MIDIチャンネル、 プログラムナンバー送信、ローカルコントロール、プログラムチェンジ送信のON/OFF、マルチティンバーモード、 チャンネルミュート、オートパワーオフ、	
ペダル	ダンパー（ハーフペダル対応）、ソフト、ソステヌート	
キーカバー	スライド式	
譜面台	可倒式（角度調整機能：3段階）	
ディスプレイ	16 文字 x 2 行　液晶ディスプレイ（LCD）	
外部端子	ヘッドホン（2系統）、MIDI（IN，OUT）、USB端子（TO HOST，TO DEVICE）、LINE OUT（L/MONO，R）、LINE IN（L/MONO，R）	
スピーカー	スピーカー：	13 cm x 2、8 x 12 cm x 2
	出力：	20 W x 2
定格電圧	AC100V，50/60Hz	
消費電力	30 W	
寸法	138.5（W）x 47.5（D）x 89.5（H）cm　（譜面台を倒した状態）	
重量	55 kg	
同梱品	本体 / スタンド / 高低自在椅子 / ACアダプター / 電源コード / 取扱説明書（本書）/ ヘッドホン / ヘッドホンフック / スタンド組立図 / 保証書 /カワイデジタルピアノ ユーザー登録のご案内 / クラシカルピアノコレクション（楽譜集）	

※仕様は告知なしに変更される場合があります。

◇アフターサービスのご案内◇

ご使用中、万一故障等異常が発生した場合は、お買上げ店、あるいはお納めした担当員、またはお近くの弊社フィールドサポート担当へご連絡ください。

1） 保証期間内に万一故障が発生した場合は、保証書をご提示の上、修理をご依頼ください。無料修理規定により無料修理致します。

2） 遠隔地へ転居されても、新しいご住居の近くのカワイが引続き責任をもってアフターサービスを担当させていただきます。
引越しの際の楽器運送について、あるいは転居後のアフターサービスについてなど、何なりとお近くのカワイにご相談ください。

フィールドサポート担当所在地

受付
本社コールセンター　月～金曜日 8：00～17：00
その他フィールドサポート担当　火～土曜日 9：00～17：00

※下記は技術者駐在先名称です。

担当	〒	住所	電話
本社コールセンター	〒430-8665	浜松市中区寺島町200番地	☎(053)457-1295
フィールドサポート北海道地区担当	〒060-0052	札幌市中央区南2条東2丁目16番地	☎(011)231-8675
フィールドサポート仙台地区担当	〒980-0811	仙台市青葉区一番町4-3-28	☎(022)223-3181
盛岡	〒020-0021	盛岡市中央通1-11-15 村上第2ビル7F	☎(019)651-6627
秋田	〒010-0001	秋田市中通2-1-32	☎(018)834-2137
フィールドサポート東京地区担当	〒151-0053	東京都渋谷区代々木1-36-4 全理連ビル	☎(03)3379-3374
宇都宮	〒321-0904	宇都宮市陽東6-4-20	☎(028)663-3211
前橋	〒371-0023	前橋市本町2-10-1	☎(027)243-1331
神奈川	〒246-0001	横浜市瀬谷区卸本町9279-66	☎(045)921-7001
フィールドサポート名古屋地区担当	〒465-0008	名古屋市名東区猪子石原3-502	☎(052)779-1679
富山	〒930-0083	富山市総曲輪3-5-11	☎(0764)23-8986
フィールドサポート大阪地区担当	〒541-0051	大阪市中央区備後町3-3-9 静岡県産業ビル	☎(06)6262-5090
広島	〒738-0034	廿日市市宮内1-3-3	☎(0829)39-0501
四国	〒790-0001	愛媛県松山市一番町1丁目11-5	☎(089)947-1213
フィールドサポート九州地区担当	〒813-0023	福岡県東区蒲田2-37-8 日西物流福岡営業所2F	☎(092)663-2562

カワイ独自のサービスシステム QSS（クイック・サービス・ステーション）でアフターサービスも完ぺき。

カワイQSSは、お客様の要望に敏速・誠実にお応えするカワイ独自のサービス機関です。全国のカワイショップやお納めした担当員を窓口として、全国体制でサービスを行っています。楽器の修理・調整・調律のご相談など何でもお電話1本でお応えいたします。

カワイQSS所在地

カワイでは、アフターサービスについては万全を期しておりますが、万一、至らぬ点やお気づきのことなどございましたら下記の(株)河合楽器製作所支社内QSS支部、または本社QSS本部へご連絡ください。

QSS本部	〒430-8665	静岡県浜松市中区寺島町200番地	☎(053)457-1311
関東支社	〒151-0053	東京都渋谷区代々木1-36-4 全理連ビル	☎(03)3379-2221
中部支社	〒460-0002	愛知県名古屋市中区丸の内3-5-33 名古屋有楽ビル8F	☎(052)957-3911
関西支社	〒541-0051	大阪府大阪市中央区備後町3-3-9 静岡県産業ビル	☎(06)6262-2131

付録

株式会社 河合楽器製作所
電　子　楽　器　事　業　部
〒430-8665　浜 松 市 中 区 寺 島 町200番 地
TEL. 053-457-1277 / FAX. 053-457-1279
h t t p : / / w w w . k a w a i . c o . j p /

■ お問合せ先について

ご不明な点などがございましたら、下記のお客様相談室をご利用下さい。

◆お客様相談室

TEL. 053-457-1311 / E-mail. customer@kawai.co.jp
電話受付時間　9：00〜12：00 / 13：00〜17：00
（土曜、日曜、祝日及び弊社規定の休日を除きます。）

◆お客様サポート・お問合せフォーム

http://www.kawai.co.jpの「お客様サポート」よりお進みください。

故障と思われる場合については、お買い求めいただいた販売店、もしくはお近くのフィールドサポート担当までご連絡ください。
詳細は同梱の「アフターサービスと音楽教室のご案内」の冊子をご参照ください。

818099
KPSZ-0723 R102
Printed in Indonesia